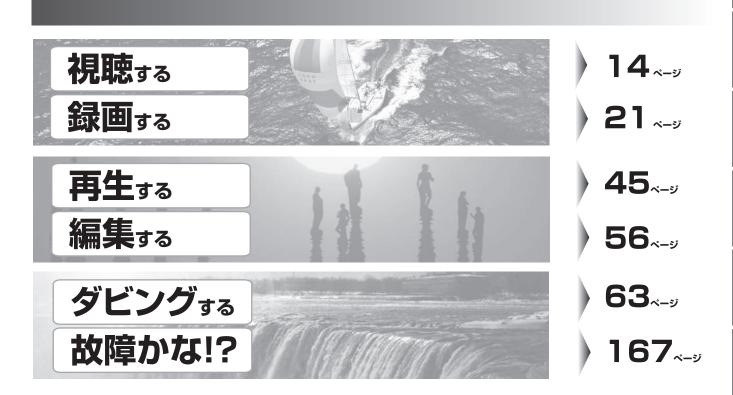
取扱説明書

CATV デジタル
セットトップボックス

品番 TZ-BDW900M
TZ-BDW900F
TZ-BDW900P

安全上のご注意
視聴
録画
再生
編集
ダビング
他の機器と
写真
音楽
便利機能
接続・設定
必要なとき

このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださいまして、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」(188～191ページ)を必ずお読みください。**
  この取扱説明書は大切に保管してください。
- 本書はTZ-BDW900M、TZ-BDW900F、TZ-BDW900P用の取扱説明書ですが、機種によって接続や設定内容が一部異なります。

VQT2J04-3

本機の特長

デジタル放送を楽しむ

地上デジタル　BSデジタル　CATVデジタル

本機は、地上･BSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を受信するCATV用デジタルセットトップボックスです。

サービス内容により放送内容が異なります。
詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

ハイビジョンで楽しむ

ハイビジョンで HDDに

デジタル放送のハイビジョン番組をハイビジョン画質そのままに録画できます。

➜ 21、24ページ

ハイビジョンで ディスクに

ブルーレイディスクやDVDディスクにハイビジョン画質で記録することができます。

➜ 25ページ

録画が便利!

2番組同時録画

見たいデジタル放送の番組が重なっても両方録画できます。

➜ 42ページ

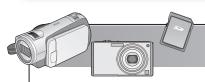
ブルーレイディスクに記録

大容量 で長時間記録

片面2層(50 GB)のブルーレイディスクの場合、DVD(4.7 GB)の約10枚分記録できます。

モバイル機器に持ち出す

録画した番組を携帯電話などのモバイル機器に持ち出して楽しむことができます。

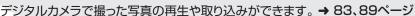
➜ 98ページ

思い出を見よう! 残そう!

ディスクやSDカードから

ハイビジョンで撮影した動画(AVCHD)の再生や取り込みができます。 ➜ 46、82ページ

SDビデオカメラなどで撮影した映像(MPEG2)の取り込みができます。➜ 71ページ

デジタルカメラで撮った写真の再生や取り込みができます。➜ 83、89ページ

■ **機種ごとの相違点について**

相違点 / 機種	デジタル放送の変調方式	ケーブルモデム
TZ-BDW900M	トランスモジュレーション※1	あり
TZ-BDW900F	トランスモジュレーション※1 パススルー※2	あり
TZ-BDW900P	トランスモジュレーション※1 パススルー※2	なし

※ 1　トランスモジュレーションとは、CATV 局で受信した放送波の変調方式や周波数を変換して送出する方法のことをいいます。地上デジタル放送の場合、OFDM を 64QAM に変換して送出します。

※ 2　パススルーとは、CATV 局で受信した放送波の変調方式を変えずに送出する方法のことをいいます。

もくじ 「安全上のご注意」を必ずお読みください(➜188～191ページ)

番組

視聴

録画

再生

編集

ダビング

(➜ 次ページにつづく)

もくじ（つづき）

他の機器と

写真

音楽

便利機能

接続・設定

「安全上のご注意」を必ずお読みください(➜188～191ページ)

必要なとき

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。
この制限機能をご使用の場合は、下記の設定を行ってください。

[パスワードロック機能]
パスワード(暗証番号)を設定することで、インターネットへのアクセスを制限することができます。

- ●パスワード(暗証番号)設定方法
  (➜147「制限項目設定」)
- ●インターネットへのアクセス制限設定(ブラウザ制限を[ブラウザ]ボタンを押したときに暗証番号の入力が必要となる設定にする)
  (➜95、147「ブラウザ制限」)

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- ●本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

[電源⏻/I]を3秒以上押す

本機がリセットされ、電源が切れます。

電源 ⏻/I

故障かな !? と思った場合 ➜ 167

本機を返却するときは

162ページをご覧ください。

- ●**本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。**
  本機の受信周波数帯域(90 MHz～770 MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やケーブルテレビ宅内線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像･音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- ●**視聴記録の送信について**
  IC カードに記録されている視聴記録データは、定期的に本機に内蔵のケーブルモデムや電話回線を通じ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料です。電話回線でデータ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。
- ●**本機は性能向上のためダウンロードを行う場合があります。ダウンロードを実行するには、本機の電源を「切」にしてください。**
  電源プラグをはずしたり、電源「入」にしているとダウンロードが実行されません。ダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。
- ●本機に組み込まれているソフトウェアの解析、変更、改造などを行わないでください。
- ●メールや購入記録、データ送信のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- ●国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- ●B-CASカードおよびC-CASカードは地上･BS･CSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- ●本機から電話回線を通じて通信を行うと、通信料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

●この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを(➜○○)で示しています。
●ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。
例) -R と表示されている場合、AVCREC 方式、VR 方式、ビデオ方式の DVD-R 共通の動作を指しています。

<table>
<tr><th rowspan="2">ディスクなど</th><th rowspan="2">表示マーク</th><th colspan="4">ディスクなどの記録方式による表示マーク</th></tr>
<tr><th>AVCREC 方式</th><th>VR 方式</th><th>ビデオ方式</th><th>AVCHD</th></tr>
<tr><td>HDD</td><td>HDD</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>BD-RE※1</td><td>BD-RE</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="2">AVCHD※2</td></tr>
<tr><td>BD-R※1</td><td>BD-R</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>BD ビデオ※3</td><td>BD-V</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>DVD-RAM</td><td>RAM</td><td>RAM(AVCREC)</td><td>RAM(VR)</td><td>—</td><td rowspan="4">AVCHD</td></tr>
<tr><td>DVD-R</td><td>-R</td><td>-R(AVCREC)</td><td>-R(VR)</td><td>-R(V)(ファイナライズ前)
DVD-V(ファイナライズ後)</td></tr>
<tr><td>DVD-R DL</td><td>-R DL</td><td>-R DL(AVCREC)</td><td>-R DL(VR)</td><td>-R DL(V)(ファイナライズ前)
DVD-V(ファイナライズ後)</td></tr>
<tr><td>DVD-RW</td><td>-RW</td><td>—</td><td>-RW(VR)</td><td>-RW(V)(ファイナライズ前)
DVD-V(ファイナライズ後)</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオ</td><td rowspan="4">DVD-V</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>+R</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="3">AVCHD</td></tr>
<tr><td>+R DL</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>+RW</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>CD</td><td>CD</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>SD カード</td><td>SD</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>AVCHD</td></tr>
</table>

※1 DL も含みます。ブルーレイディスクの「DL」とは片面 2 層(50 GB)のディスクのことを表します。
※2 他機器でハイビジョン動画(AVCHD)を記録した BD-RE、BD-R を指します。
※3 市販の映画などが記録されたブルーレイディスクのことです。

リモコンの準備

電池の入れかた

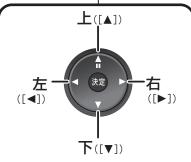
●⊕⊖ を確認してください。
●入れたあとは、ふたを ⊖ 側から先に入れて元どおり閉じてください。
●不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

●本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が狭くなることがあります。
●リモコンと本機の間に障害物を置かないでください。
●リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

各部のはたらき

リモコン

- 本機の電源
- 情報を表示する(➜18)
- 番組内容を表示する(➜18)
- ブラウザを表示する(➜94)
- データ放送の画面を表示する(➜20)
- HDD/BD/SDを切り換える
- 使用しません
- 録画一覧/ディスクメニューを表示する(➜45、47)
- 予約一覧画面を表示する(➜36)
- サブメニューを表示する
- 放送を切り換える(➜14)
  - ●押すとボタンが数回点滅します。
  - ●ご加入のケーブルテレビ局によりサービス内容が異なります。サービスされていない放送には、切り換わりません。
- チャンネルなどを番号で選ぶ/番号や文字を入力する
- 予約の取り消し(➜36)
- テレビ/STB切換スイッチ(➜136)
  - ●テレビ側にすると、チャンネルや数字ボタンでテレビの操作ができます。
- 3けた番号を入力してチャンネルを選局する(➜15)
- チャンネルを切り換え前に戻す(➜19)
- テレビ操作部(➜136)
  - ●本機のリモコンでテレビの操作をすることができます。
- 画面上の指示に応じて使用(色ボタンについて➜下記)
- 番組表を表示する(➜26)
- 操作一覧を表示する(➜181)
- 前の画面に戻る
- VOD(ビデオ・オン・デマンド)を使用するときに押す
  - ●サービス内容によりこの機能が使用できない場合があります。
  - ●VOD操作時の使用方法についてはご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
- 時間を指定して飛び越す(➜51)
- テレビの音量を調節する
- チャンネルを順に選ぶ
- 約30秒飛び越す/約15秒前へ戻す(➜50)
- 録画や再生時の基本操作(➜50、51)

●画面上での選択/決定:
選択: 上下左右
([▲][▼][◀][▶])を押す
決定: 決定 を押す

ふたを開けると

- 録画する(➜21)
- 録画モードを選ぶ(➜21)
  - ●HDDドライブ選択中のみできます。
- スキップする(➜50)
- お好み選局を表示する(➜15)
- 音声を切り換える(➜18、52)
- 字幕を表示する(➜18)
- 外部接続機器に入力を切り換える[DV、i.LINK(TS)](➜76、80)
- チャプターマークを作成する(➜60)
- 消去する (➜62)
  - ●番組の消去や予約の取り消しなどができます。
- 再生方法を設定する(➜54)
- ディスクトレイを開/閉する(➜9)

色ボタンについて

画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用します。

例: 番組表の場合

画面に表示されている色に応じたリモコンの色ボタンを押すと、表示されている内容を実行することができます。

市販やレンタルのBDビデオやDVDビデオで使用するボタンについて

BDビデオ: 「ポップアップメニュー」→[録画一覧]
DVDビデオ: 「リターン」→[戻る]
「トップメニュー」→[録画一覧]
ボタンで操作します。

各部のはたらき（つづき）

本体（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています）

前面

ディスクトレイ

i.LINK 機器や DV 機器と接続する（➜76、78、80）

本体表示窓(➜下記)

録画中に点灯表示
● 点滅表示される場合(➜167)

リモコン受信部

ディスクトレイを開閉する

B-CAS/C-CAS カード挿入口 (➜127)

電源を切／入する
本機が操作を受けつけなくなった場合は、3秒以上押してください。
本機がリセットされ、電源が切れます。

SDカードを入れる

放送を切り換える

チャンネルを順に選ぶ

録画する/録画終了時間を指定する

停止する

再生する

前面とびらの開け方
▶横に指をかけ、下に向けて倒してください。

背面

AC入力端子 (➜128)

HDMI出力端子 (➜118、122)

LAN端子(➜124)

電話回線(➜123)

D出力端子(➜120)

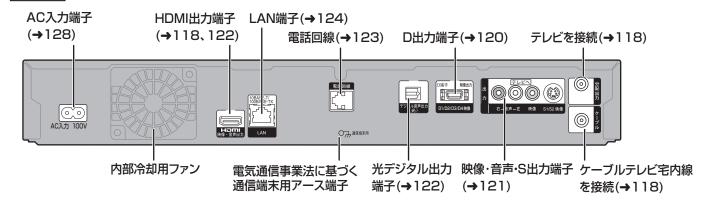
テレビを接続(➜118)

内部冷却用ファン

電気通信事業法に基づく通信端末用アース端子

光デジタル出力端子(➜122)

映像・音声・S出力端子 (➜121)

ケーブルテレビ宅内線を接続(➜118)

●最新の番組情報の取得とダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。
●電源を切っていても、デジタル放送からの情報受信や視聴記録の送信を自動的に行っていますので、IC カードの抜き差し時や異常時以外は電源コードを抜かないでください。

本体表示窓

SDカードの読み書き時に点滅表示

ディスク挿入時に点灯表示

番組表データなどの受信表示/録画モード変換中（電源切時のみ）/持ち出し番組作成中（電源切時のみ）/アクトビラからダウンロード中に点灯表示

電話回線使用時に点灯表示

未読の放送メールがあるとき/ドアホン録画が実行されると点滅表示

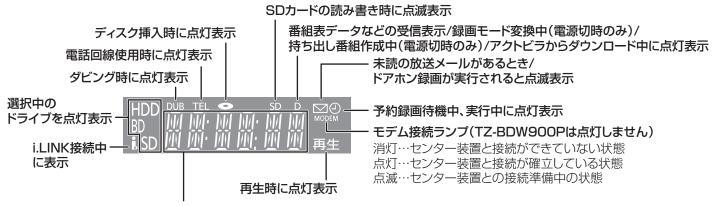
ダビング時に点灯表示

選択中のドライブを点灯表示

予約録画待機中、実行中に点灯表示

i.LINK接続中に表示

モデム接続ランプ（TZ-BDW900Pは点灯しません）
消灯…センター装置と接続ができていない状態
点灯…センター装置と接続が確立している状態
点滅…センター装置との接続準備中の状態

再生時に点灯表示

チャンネル、録画や再生の経過時間、時刻表示などを表示
こんな表示が出たら（➜164）
電源切時：時刻表示
● [初期設定「本体表示窓の明るさ」(➜152)が「オート」のときやECOスタンバイ(➜153)が有効なときは表示されません]

ディスク・SDカードを入れる

ディスク

開/閉 [⏏](リモコンのふた内部)を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、トレイが閉まります。
- 本体の [⏏開/閉] でも操作できます。

- 電源が切れていても取り出せます。ただし、電源「入」になります。

お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側のラベル面を上にして入れてください。両面にまたがって記録または再生することはできません。

カートリッジ付きディスクについて

- カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
- DVD-RAM や8 cmのディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイにのせてください。(TYPE1 は使えません)
  使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、カートリッジに収めて保管してください。

カートリッジ付きディスクの取り出しかた例

カートリッジからの取り出しかたはディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合

(図 1)
ロックピン(左右 2 ヵ所)
先のとがった硬いものでロックピンを取り除く

(図 2)
先のとがった硬いものでくぼみを押す

(図 3)
開閉ふた
そのまま引き下げる

1 **本体前面のとびらを開ける**
2 **カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む**

3 **本体前面のとびらを閉じる**

カードを取り出すには

上記手順 2 で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

本体表示窓の“SD”(➜8)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりする恐れがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。

- miniSDカード、microSD カードや microSDHC カードは、必ず専用のアダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例)

ディスクや SD カードを入れると、入れたメディアに合わせて自動的にドライブを切り換えます。
それぞれ取り出すと、HDD に切り換わります。

記録できるブルーレイディスクについて

本機で記録できるブルーレイディスクは?

※1 DLも含みます。
ブルーレイディスクの「DL」とは
片面2層(50 GB)のディスクのことを表します。
※2 LTH typeも含みます。

■BD-REに関してのお知らせ

本機では、カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。
(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
Blu-ray Disc Rewritable Format Version 2.1に準拠したBD-REをお使いください。

ブルーレイディスクに記録すると…

ブルーレイディスクは、従来のDVDに比べて記録容量が大幅に多くなりました。

例えば

ブルーレイディスク(片面2層 50 GB)と
DVD(4.7 GB)では…

2時間映画だと…(SPモードで記録時)

ブルーレイディスクは、デジタル放送の高画質・高音質のハイビジョン映像を放送されたそのままの状態で
記録することができます。

放送された映像を
そのままの画質で記録できます
(DRモードで記録時)

放送された映像を
そのままの画質では記録できません
(DRモードでは記録できません)

放送されたデータを圧縮してハイビジョン画質で
記録することはできます。(HG、HX、HE、HL、HMモードで記録時)

ブルーレイディスクの特徴は?

記録できる放送は?	地上·BS·CATV デジタル放送
記録できる画質は?	ハイビジョン画質　標準画質　(➜179「デジタルハイビジョン」)
記録できる録画モードは? (➜40「録画モードについて」)	すべての録画モード
予約録画は?	できる(予約は1番組のみ)
BD機器での再生は?	BD-RE(Ver.2.1)、BD-R に対応した機器で再生できます。 ●LTH type の BD-R に記録した場合、LTH type に対応していないと再生できないときがあります。 ●片面2層(50 GB)のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。 ·2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。 ●当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、BD-RE(Ver.2.1)、BD-R に対応していないため、再生できません。 ●HG、HX、HE、HL、HMモードの番組や、本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)は、再生できない場合があります。

こんなとき
どうしたらいいの?

BD-REとBD-Rのどちらのディスクを使えばいいですか?

ディスクは繰り返し
使いたい

ディスクには1度しか
記録しない
保存用として使う

ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

はじめに

記録できるDVDディスクについて

本機で記録できるDVDディスクは?

デジタル放送を記録するには…
CPRM※2対応の
ディスクか確かめて
ください。

※1 カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)
※2 CPRMとは、デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術のことです。

DVDディスクに記録する前に…

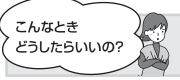
本機では、3種類の記録方式があります。
記録する放送やディスクの用途により記録方式を決めてください。

AVCREC方式? VR方式? ビデオ方式?

それぞれの記録方式の特徴は?

	AVCREC方式	VR方式	ビデオ方式
	ハイビジョン番組をハイビジョン画質でDVDに記録できる方式です。	(DVDビデオレコーディング規格) DVDにテレビ放送などを記録・編集するために作られた方式です。	(DVDビデオ規格) 市販されているDVDビデオと同じ方式です。
記録できる放送は?	地上・BS・CATV デジタル放送	地上・BS・CATV デジタル放送	デジタル放送は記録できません※3
対応ディスクは?	DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL (DVD-RW ×)	DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW	DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW (DVD-RAM ×)
記録できる画質は?	ハイビジョン画質 (➔179「デジタルハイビジョン」)	標準画質	標準画質
記録できる録画モードは? (➔40 「録画モードについて」)	HG、HX、HE、HL、HM	XP、SP、LP、EP、FR	XP、SP、LP、EP、FR
予約録画は?	できる (予約は1番組のみ)	できる (予約は1番組のみ)	できない
DVD機器での再生は?	記録したディスクのAVCREC方式の再生に対応している必要があります。 対応機器には AVCREC™ が付いています。 対応機器以外で使用しないでください。ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 -R -R DL はファイナライズ(➔115)が必要です。	記録したディスクのVR方式の再生に対応している必要があります。(➔75) ・デジタル放送の番組の場合、その機器がCPRMに対応している必要があります。	記録後、ファイナライズ(➔115)をすれば、DVD機器で再生できます。

記録方式を選ぶには(➔112) ・フォーマットをして選びます。

※3 コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。

お客様の使いかたに合わせてDVDディスク、記録方式を選んでください。

デジタル放送を記録

- ディスクは繰り返し使いたい
  - ハイビジョン画質で記録したい → CPRM対応の DVD-RAM **AVCREC方式**
  - たくさん記録したい（標準画質） → CPRM対応の DVD-RAM DVD-RW **VR方式**
- ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う
  - ハイビジョン画質で記録したい → CPRM対応の DVD-R DVD-R DL **AVCREC方式**
  - たくさん記録したい（標準画質） → CPRM対応の DVD-R DVD-R DL **VR方式**

ハイビジョンビデオカメラのハイビジョン動画（AVCHD）を記録

- ハイビジョン画質で記録したい → DVD-RAM DVD-R DVD-R DL **AVCREC方式**
- たくさん記録したい（標準画質）※ → DVD-RAM DVD-R DVD-R DL DVD-RW **VR方式** **ビデオ方式**（DVD-RAMを除く）

※ HDDにダビングしたあと、ディスクにダビングします。

お知らせ

ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

テレビ放送を見る

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

- 本機のリモコンでテレビの電源を入れたり、入力切換を行うことができます。(➜136)

画質や音声効果をお好みに設定するには(➜55)

暗証番号の入力画面が表示されたら(➜147「制限項目設定」)

電源を切るには

電源 を押す

本体表示窓　例)

PLEASE WAIT

 または

時刻表示　表示なし

お知らせ

- 本機でワンセグ放送を視聴することはできません。
- 1 倍速でのダビング中やファイナライズを行う高速ダビング中は視聴できません。
- 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、ケーブルテレビ局で電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。

本体表示窓でのチャンネル表示について

本体表示窓では、現在選んでいるチャンネルが下記のように表示されます。

地上デジタル放送 例)011	
BSデジタル放送 例)101	
CATVデジタル放送 例)200	
DV入力	
i.LINK(TS)入力	TS

1 電源 を押して、本機の電源を入れる

2 [地上] [BS] [CATV] を押して、放送を選ぶ

- 押すとボタンが数回点滅します。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により視聴できない放送がある場合があります。

[地上]:　地上デジタル放送
[BS]:　BS デジタル放送
[CATV]:　CATV デジタル放送(CATV の放送が複数ある場合は、押すたびに切り換わります)

3 [1]〜[12] または [チャンネル ∧∨] を押して、チャンネルを選ぶ

その他の選局方法は(➜15)

数字ボタンを使ってチャンネルを選ぶ場合:
放送設定「選局入力方式」(➜148)の設定に従って選局されます。

- **「プリセット」に設定されているとき:**
  数字ボタンを押すとボタンに割り当てられた放送局を選局
  ・3 けた入力で選局したい場合は、はじめに [3 桁入力] を押してから選局してください。(➜15)
- **「3 桁入力」に設定されているとき:**
  3 けたのチャンネル番号を入力して選局
  例)地上デジタル 101:[1]➜[10]➜[1]
  ・数字ボタンを押して 3 秒以上経つか [決定] を押すと、押したボタンで(プリセット)選局されます。
  ・3 けた入力時に同じチャンネル番号の放送が複数ある場合は、[▲][▼]で見たい放送を選んで [決定] を押してください。

LOGO 地上D 101
LOGO BS 101

リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局(➜148、186)

数字ボタンで選べる放送局を変更するには(➜129 〜 130)

[チャンネル ∧,∨] で選べる放送局を変更するには(➜148 放送設定「選局対象」、「チャンネルアップダウン」)

その他の選局方法

番組表から選局

1 [番組表] を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で放送中の番組を選び、[決定]を押す

☞ **別の放送の番組表を見るには**
[地上][BS][CATV] を押す
●[◀][▶] を押し続けても、別の放送に切り換わります。

3 [◀][▶]で「今すぐ見る」を選び、[決定]を押す

例)全チャンネル表示

☞ **番組表の表示設定(➜27)**

お好み選局から選局

お好み選局は、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく１つのリストに登録できるため、よく見るチャンネルを登録しておくと、選局時に便利です。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

1 テレビ画面表示中に、[お好み選局](ふた内部)を押す

2 [▲][▼]で放送局を選び、[決定]を押す

放送局のロゴは表示されない場合もあります。
登録した順番に、上から表示されます。

チャンネルの登録	① 登録したい放送局を視聴中に、[お好み選局](ふた内部)を押す ② [サブ メニュー]を押す ③ [▲][▼]で「登録」を選び、[決定]を押す ④ [◀][▶] で「はい」を選び、[決定]を押す ●登録した放送局は、お好みチャンネルの一番下に登録されます。(最大 48 チャンネル)
チャンネルの取り消し	① [お好み選局](ふた内部) を押す ② [▲][▼] で取り消したい放送局を選び、[サブ メニュー]を押す ③ [▲][▼]で「取消」を選び、[決定]を押す ④ [◀][▶] で「はい」を選び、[決定]を押す

●お好み選局で表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。

３けたチャンネル番号を入力して選局

1 [3桁入力]を押す

2 [1]～[10]を押して、チャンネルを入力する

例)101 の場合…[1]→[10]→[1]

●入力画面が表示されている間に入力してください。

3 同じチャンネル番号の放送が複数ある場合:
[▲][▼]で見たい放送局を選び、[決定]を押す

☞ **枝番号の異なる放送を選局するには**
(➜17「枝番選局」)

テレビ放送を見る(つづき)

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

1 [サブメニュー] を押す

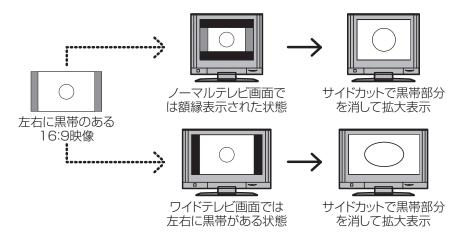
- ビエラリンク (HDMI)(➔106)をお使いの場合は、再生時には、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

画面モード切換
放送メニュー
HDD/BD/SD
青 番組内容 赤 録画一覧 緑 放送切換 黄 操作一覧

2 [▲][▼]で「画面モード切換」を選び、[決定]を押す

3 [◀][▶]で画面モードを選ぶ

ノーマル　:通常の出力となります。

サイドカット　:ワイド映像(16:9映像)の左右の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、左右の映像がカットされますので、お気をつけください。

サイドカット固定　:設定を変えるまで、上記の「サイドカット」された画面のままになります。

ズーム　:ノーマル映像(4:3 映像)の上下の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、上下の映像がカットされますので、お気をつけください。

お知らせ

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。(「サイドカット固定」の場合は戻りません)
  - ・他のチャンネルを選局
  - ・番組の再生を始める、または終了する
  - ・電源を切/入
- BD-V DVD-V 「サイドカット」「サイドカット固定」は効果がありません。
- **初期設定**「TVアスペクト」(**➔153**)を「4:3」にしている場合、
  - ・「サイドカット固定」が選択できるようになり、「ズーム」は選択できなくなります。
- テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

番組視聴中に、

1 **を押す**

2 [▲][▼]で「放送メニュー」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、決定を押す（➜ 下記へ）

●視聴している番組により表示される項目が変わります。

例）
放送内容などの設定		
	視聴制限一時解除	「制限項目設定」(➜147)の暗証番号を入力して視聴制限を一時解除します。
	データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
	信号切換	デジタル放送の番組で、映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 / マルチビュー 主番組 / 映像 映像1 / 音声 日本語 / 二重音声 主 / データ データ1 / 字幕 オン オフ / 字幕言語 日本語 英語 / 項目選択 / 設定変更 / 戻る **[▲][▼]で設定する項目を選び、[◀][▶]で設定する** ●番組により、選べる項目が変わります。 ●設定内容が 1つしかないときは切り換えできません。 ●切り換えた映像が有料の場合もあります。 ●「DR」以外の録画モードで録画する場合、音声や字幕などは設定された内容で録画され再生時に切り換えできません。
	受信レベル	受信している信号の強さなどを表示します。 ●表示は簡易表示であり、確認の目安です。
	枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、3けたチャンネル番号に追加される番号のことです。 (例:「011-0」、「011-1」、「011-2」) 3けたチャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **[▲][▼]で放送局を選び、[決定]を押す** 枝番選局 3 桁番号：011 / 011-0 LOGO ○○○○○ 主選局 / 011-1 ○○○○○ / 011-2 ○○○○○ / 枝番切換 / 選局 / 戻る / 青 / 赤 / 緑 主選局変更 / 黄 **3けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには** [▲][▼]で主選局にしたい放送局を選び、[緑]を押す

テレビ放送を見る(つづき)

番組視聴中の便利な機能(つづき)

視聴中の番組の内容を見る	**[番組内容] を押す** 表示マーク(➜176) ☞ **番組の詳しい内容(属性)を見るには** [赤] を押す([青] を押すと番組内容に戻ります) ☞ **選んでいる番組に関連した番組を検索するには** (➜31) ☞ **番組内容の表示を消すには** [番組内容] を押す
見ている番組の情報を表示	**[画面表示] を押す** 例)「HDD」選択中、地上デジタル放送を見ているとき 放送開始時刻と終了時刻 / 受信中の放送局名･番組名 / ドライブ判別表示 LOGO 10:00 10:15 ○○○○○○○○ ○○○○○○○○ / HDD / 1 地上D 011 放送局のロゴ(表示されない場合もあります) / 放送の種類とチャンネル ☞ **情報表示を消すには** [画面表示] を数回押す
音声を切り換える	**[音声切換](ふた内部)を押す** ●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。 例)二重放送 二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副) → (二重L(主)へ戻る) 例)マルチ音声放送 ステレオLR 日本語 → ステレオL 日本語 → ステレオ　R 日本語 → ステレオLR 英語 → ステレオL 英語 → ステレオ　R 英語 → (ステレオLR 日本語へ戻る) ●録画中に音声を切り換えても、記録される音声に影響はありません。 ●切り換えた音声が有料の場合もあります。 ☞ **多重音声の記録について(➜44)**
字幕を表示する	視聴している番組が字幕付きの番組の場合、字幕を表示できます。 **[字幕](ふた内部)を押す** ●押すごとに、字幕の表示の入切を切り換えます。
テレビの音量を調節する	**[+ 音量 −] を押す** ●本機のリモコンでテレビの音量を調節するには設定が必要です。(➜136)

チャンネルを切り換え前に戻す	チャンネルを切り換えたあと、もう一度切り換える前のチャンネルに戻ることができます。 ●切り換える前のチャンネルは、3 秒以上視聴していたときに有効になります。 **[前選局 一時停止] を押す** ●[**録画●**]（ふた内部）を押して録画している番組を視聴中のときは、録画を一時停止します。
音声の出力先を切り換える	本機をビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビとアンプに HDMI で接続すると、本機の音声出力先を切り換えることができます。 ●切り換えるには、**初期設定**「ビエラリンク制御」を「入」にしてください。**(➜153)** **1 [サブメニュー S] を押す** ●ビエラリンク (HDMI)**(➜106)**をお使いの場合は、再生時には「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。 **2 [▲][▼]で「スピーカー切換」を選び、[決定]を押す** **3 [▲][▼]で音声出力先を選び、[決定]を押す** お知らせ ●ビエラリンク（HDMI）を使用するには、接続したテレビ側、アンプ側の設定が必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。 ●HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

データ放送/有料番組(ペイ・パー・ビュー)を見る

データ放送は

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

●**本機では、データ放送を録画できません。**

有料番組は

デジタル放送には、無料と有料のものがあります。有料チャンネルを見るには、ご加入のケーブルテレビ局との契約が必要です。

●ペイ・パー・ビュー(番組単位で購入できる)の番組を視聴・録画するには、ご加入のケーブルテレビ局とペイ・パー・ビューの契約と画面上での購入操作が必要です。

●IC カードの挿入が必要です。

●電話回線の接続または、LAN ケーブルでケーブルモデムなどとの接続が必要な場合があります。(➜123、124)

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

お知らせ

●データ放送のサービスの種類によっては電話回線の接続が必要です。(➜123)

●電話回線での通信中は、本体表示窓に "TEL" が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがありますが、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。"TEL" が消えるまでしばらくお待ちください。

●電話回線の使用時には、回線接続料がかかります。

●有料番組について

・デジタル放送には、ビデオデッキなどで録画できないようにしている(コピーガードのある)番組があります。その番組は正常に録画できません。コピーガードを解除できない番組は「録画購入」の項目が表示されません。

・購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。また、番組予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されます。

データ放送を見る

1 データ放送のある番組を選局し、[データ d] を押す

●表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

2 見たい項目を選び、[決定] を押す

① 選び
② 決定する

例)

●画面の指示に従って、**[青]**、**[赤]**、**[緑]**、**[黄]** や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには

[データ d] を押す

●画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。(➜17)

有料番組を見る

1 ペイ・パー・ビューの番組を選局し、[決定] を押す

●番組によってはプレビュー(購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービス)画面が表示されます。

2 項目を選び、[決定] を押す

●番組により、選べる項目が変わります。

① 選び
② 決定する

購入金額

購入する：番組を購入したことになり、視聴できます。ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

購入しない：番組を購入しません。

視聴購入：(料金を払うと視聴できるときのみ表示)番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

録画購入：(料金を払うと録画できるときのみ表示)番組を購入したことになり視聴および録画ができます。

確認画面が出た場合は、表示内容を確認し操作してください。

購入した有料番組の確認/送信結果を確認するには(➜145)

録画する

HDD

この操作では HDDにのみ録画できます。

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

お知らせ

●ディスクへは録画できません。
・予約録画はできます。(ビデオ方式は除く)
ディスクに録画するには(➜25)
●予約録画が始まると、以下の場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
・デジタル放送の 2 番組を録画中
・録画モード「DR」以外で録画中に、録画モード「DR」以外での予約録画が始まった場合
●長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録します。

必要に応じて

●**録画モードについて ➜40**
●**2 番組同時録画について ➜42**
●**記録の制限について ➜43**
●**多重音声の記録について ➜44**
●**録画中にできる操作 ➜160**

1 ドライブ切換 を押して、「HDD」を選ぶ

●本体表示窓の表示を確認してください。

2 地上 BS CATV を押して、放送を選ぶ

3 1 ～ 12 または チャンネル を押して、チャンネルを選ぶ

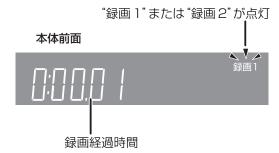
選局方法については(➜14、15)

4 録画モード（ふた内部）を押して、録画モードを選ぶ

●押すごとに、切り換わります。
●表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。
（[決定] を押すと、早く切り換えることができます）

例）

※ デジタル放送の番組でも、標準画質の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画すると、ダビング画面ではハイビジョン画質の番組と同じく、HD が表示されますが、画質は標準画質です。

5 録画（ふた内部）を押す

●録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
●録画中の番組の録画モードは、[画面表示]を2回押すと確認することができます。(➜52)（本体表示窓には表示されません）
●番組表(➜26)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。

6 録画を止めるときは、停止■ を押す

●録画停止画面が出たら、[◀] [▶]で「はい」を選び、[決定] を押してください。

録画する(つづき)

録画中のいろいろな操作

<table>
<tr><td>録画中の番組の確認</td><td>[画面表示] を押す
例)2 番組同時録画中
テレビ画面に表示されている録画番組
テレビ画面に表示されていない録画番組

</td></tr>
<tr><td>録画中の番組をテレビ画面に表示</td><td>一時停止などの操作をする場合、操作前に録画中の番組をテレビ画面に表示させてください。
●放送を切り換えていた場合: [地上] [BS] [CATV] を押す
●チャンネルを切り換えていた場合: [チャンネル] を押す
●ドライブを切り換えていた場合: [ドライブ切換] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ</td></tr>
<tr><td>録画を止める</td><td>2 番組同時録画中のときは、録画を止めたい番組をテレビ画面に表示させてください。(➜ 上記)
[停止■] を押す
●録画停止画面が出たら、[◀] [▶] で「はい」を選び、[決定] を押してください。
●停止した位置までを1番組として記録します。
予約録画を止めるには(➜36)</td></tr>
<tr><td>一時停止する</td><td>録画を一時停止させたい番組をテレビ画面に表示させてください。(➜ 上記)
[一時停止II] を押す
●もう一度押す、または [録画●] (ふた内部)を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
●録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」で録画中に一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になります。</td></tr>
<tr><td>放送の切り換え</td><td>[地上] [BS] [CATV] を押す</td></tr>
<tr><td>他のチャンネルに切り換え</td><td>[1] ～ [12] または [チャンネル] を押して、チャンネルを選ぶ
選局方法については(➜14、15)</td></tr>
<tr><td>2 番組同時録画</td><td>21 ページの手順1 ～ 5で別の番組を録画する
2 番組のうち 1 番組は「DR」モードで録画してください。
2 番組同時録画の状態
本体前面

テレビ画面
HDD / 録画2 ● / 8 地上D 081 / 地上D 011 録画1●
テレビ画面に表示されている録画番組
テレビ画面に表示されていない録画番組
●2 番組同時録画中のチャンネル / 放送切換は、録画中の 2 番組間でのみ行われます。
2 番組同時録画について(➜42)</td></tr>
<tr><td>録画の終了時間の指定
(終了時間予約録画)</td><td>本体の [●] (●録画)を押す
●押すごとに本体表示窓の録画終了時間が変わります。
録画経過時間→30 分後→ 1 時間後→ 1 時間30分後
↑── 4時間後←─ 3時間後←─ 2時間後 ←┘
録画経過時間　1:30.01 ➡ 30分後停止　OFF 0:30
お知らせ
●リモコンの[録画●](ふた内部)ではできません。
●ぴったり録画(➜23)や予約録画では指定できません。
●録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源も切れます。
終了時間の設定を取り消すには
本体の[●録画]を数回押し、“録画経過時間” を選ぶ
(録画は続けられます)</td></tr>
</table>

録画しながら再生する

追っかけ再生：HDD録画中に、HDD 録画中の番組を先頭から再生します。
同時録画再生：HDD録画中やディスク予約録画中に、録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

1 [ドライブ切換] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ
●本体表示窓の表示を確認してください。

2 [録画一覧] を押す

3 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定] を押す

例）HDD

☞ **録画一覧画面を消すには**
[録画一覧] を押す

☞ **再生を止めるには**
[停止 ■] を押す

HDD からダビング時にディスク容量ぴったりになるように録画する

ぴったり録画：録画した番組を新品のDVD（4.7 GB)にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせて「XP」～「EP」の中から自動的に最適な画質でHDDに録画します。(➜40「FR」)

1 チャンネルを選ぶ(➜ 21 ページ手順 2 ～ 3)

2 [操作一覧] を押す

3 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、[決定] を押す

5 [▲][▼][◀][▶]で“時間”または“分”を選び、録画時間を設定する

最大録画時間
EP(8 時間) モードで計算した残量時間

●8時間を超えて設定することはできません。

6 [◀][▶]で「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で [決定] を押す

●録画中にぴったり録画はできません。

☞ **録画を止めるには**
(➜22)

☞ **録画せずに画面を消すには**
[戻る] を数回押す

☞ **録画の残り時間を確認するには**
●確認したい番組をテレビ画面に表示させてください。(➜22)
[画面表示] を押す

例）

録画の残り時間

予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

お知らせ
- 番組表は設置後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。(➜132)
- 電源の入／切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。

前の画面に戻るには

を押す

必要に応じて
- 録画モードについて ➜40
- 2 番組同時録画について ➜42
- 記録の制限について ➜43
- 多重音声の記録について ➜44
- 録画中にできる操作 ➜160

番組表を使って HDD に予約録画する

1 を押す

2 番組を選ぶ

例)全チャンネル表示

別の放送の番組表を見るには
[地上] [BS] [CATV] を押す
- [◀] [▶] を押し続けても、別の放送に切り換わります。

(お好み番組表の場合)
① [サブ メニュー] を押す
② 「放送切換」で「お好み」を選び、[決定] を押す

番組表の見かた(➜26)

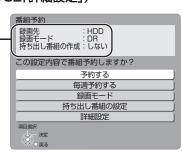
3 決定 を押す

決定 の代わりに 赤 を押すと、
現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。
(予 が表示されます)
- 手順4～5の操作は不要です。
- 現在の録画モードは手順2の画面で確認できます。

4 「番組予約へ」を選び、決定 を押す

5 項目を選び、決定 を押す

予約する	:予約を登録
毎週予約する	:毎週同じ曜日に予約を登録
録画モード	:録画モードを変更(変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください)
持ち出し番組の設定	:モバイル機器へ持ち出すための番組を作成(➜98)
詳細設定	:録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更(変更後、「予約を登録する」を選んで予約を登録してください)(➜32「詳細設定」)

予約内容を確認してください。

番組表を使ってディスクに予約録画する

ディスクは、1 番組のみ予約できます

DVDにデジタル放送を録画する場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。

カートリッジ付きのディスクについて
- ●BD-REは使えません。
- ●DVD-RAM はカートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)

DVD に予約録画する記録方式を選ぶには

記録方式を選ぶには、フォーマット(➜112)する必要があります。

ハイビジョン画質で記録できます。(デジタル放送のみ可能)
●-RW では選べません。

標準画質で記録するため、長時間記録できます。

予約録画できません。

AVCREC 方式のディスクについて

他の機器で再生する場合、再生するディスクの AVCREC方式に対応している必要があります。
対応機器には

AVCREC™

が付いています。
対応機器以外で使用しないでください。ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
-R -R DL はファイナライズ(➜115)が必要です。

1 ディスクを入れる

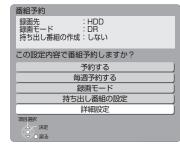
●右記のような画面が表示されますので、[戻る]を押して画面を消してください。

例) BD-RE

BD-RE
かんたんダビング

2 24 ページの手順 1 ～ 4 を行う

●24 ページの手順3では、[決定] を押してください。

3 「詳細設定」を選び、決定 を押す

4 録画先を「BD」にする

●DVDの場合は、「BD」を選んでください。

5 「録画モード」を設定する

●ディスクや記録方式によって録画できるモードは異なります。

BD-RE BD-R :すべての録画モード
RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) :「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) :「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」

録画モードについて(➜40)

6 「予約を登録する」を選び、決定 を押す

- ●フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。
- ●予約完了のメッセージ画面は、[決定] を押すと、早く消すことができます。

録画

予約録画する

予約録画する(つづき)

番組表の見かた

新聞のテレビ欄のような一覧表から番組を選ぶことができます。
この機能を使うには、**番組表の受信が必要です。**(➜132)

番組表について

●番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、**[決定]** を押すと表示されます。(数分かかることもあります)

番組表 を押す

例)全チャンネル表示

※ HDD やディスクの残量は、現在の録画モード(右側に表示されたモード)で計算された残量表示になります。

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ/特撮)を色分け表示しています。

番組表の表示設定

別の放送の番組表を表示

[地上] [BS] [CATV] を押す

●[◀][▶] を押し続けても、別の放送に切り換わります。

別の日の番組表を表示

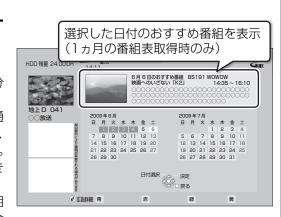
●全チャンネル表示時のみ

1 [青]を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で日付を選び、[決定]を押す

お知らせ

●本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
さらに、本機をネットワークに接続し、**放送設定**「通信によるGガイド受信」(➜133)を「オン」にすると、1ヵ月の番組情報を取得することができます。
(2009年10月現在、1ヵ月の番組情報を取得できる放送局はWOWOWのみです)

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境により、ご利用いただけない場合があります。

指定のチャンネルの番組表を3けたチャンネル番号で表示

1 [3桁入力]を押す

2 [1]～[10]を押して、チャンネルを入力する

例)101の場合…[1]→[10]→[1]

●入力画面が表示されている間に入力してください。

3 同じチャンネル番号の放送が複数ある場合:
[▲][▼]で見たい放送局を選び、[決定]を押す

チャンネル別の番組表を表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

1 [▲][▼][◀][▶]で表示したいチャンネルの番組を選ぶ

2 [黄]を押す

全チャンネル表示に切り換えるには
[黄]を押す

●1ヵ月の番組表を取得している場合、9日目以降の番組表の表示には時間がかかります。

別のチャンネルを表示

チャンネル別表示中に

1 [青]を押す

●次ページのチャンネルを表示させる場合は、もう一度[青]を押してください。

2 [▲][▼]でチャンネルを選び、[決定]を押す

チャンネル選択 1／20ページ
地上D 011 ○○○○○
地上D 021 ○○○○○
地上D 031 ○○○○○
地上D 041 ○○○○○
地上D 051 ○○○○○
地上D 061 ○○○○○
地上D 071 ○○○○○
地上D 101 ○○○○○
青 次ページ
項目選択
決定
戻る

予約録画する（つづき）

番組表の表示設定（つづき）

1 サブメニュー **(S) を押す**

2 [▲][▼]で項目を選ぶ（➜下記へ）

●表示される内容は放送によって異なります。

項目	内容
番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、録画したい番組を検索します。(➜30) **[決定] を押す**
録画モード	録画モードを変更します。(➜40) **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	全チャンネル表示中に、1 画面に表示するチャンネル数を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	チャンネル別表示中に、1 画面に表示する日数を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す** ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されているPo１～36までのチャンネルを表示 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
放送切換	別の放送の番組表を表示します。（お好み番組表を含む） **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す** ●「お好み」に設定した場合のみ、次回番組表を開いたときも「お好み」に設定されたままです。 **お好み番組表について** ●「お好み選局」(➜15)で登録されている放送局が表示されます。 ●お好み番組表に切り換えた場合、切り換える前に視聴していた放送局が現在視聴中の番組になります。そのため、登録していない放送局が番組表に表示されるときがあります。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① [▲][▼] でメインジャンルを選び、**[決定]** を押す ② [▲][▼] でサブジャンルを選び、**[決定]** を押す **ジャンル別の表示をやめるには** ① [サブ メニュー] を押す ② [▲][▼] で「全ジャンル表示」を選び、**[決定]** を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	「制限項目設定」(➜147)の暗証番号を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

注目番組一覧から予約録画する 地上デジタル BS デジタル

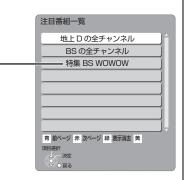
放送局がおすすめする番組を一覧表示することができます。

番組表表示中に

1 [緑] を押す

2 [▲][▼] で放送を選び、[決定] を押す

- 地上 D、BS の全チャンネルを選んだ場合、手順4へ進んでください。

ネットワークに接続し、**放送設定「通信によるGガイド受信」(➜133)**を「オン」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。(2009年10月現在、注目番組の情報を取得できる放送局は WOWOW のみです)

3 [ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局(2009年10月現在、WOWOWのみ)を選んだときのみ]
[▲][▼] でカテゴリーを選び、[決定] を押す

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには
[赤] を押す
- 予 が表示され、予約は完了します。
- 録画された番組は、まとめ 番組になります。

放送を変更するには
[緑] を押す(➜ 手順 2 へ)

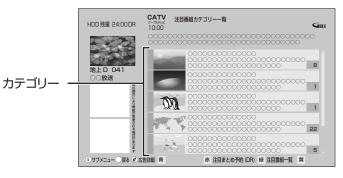
4 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定] を押す

他のカテゴリーを表示するには
① [青] を押す
② [▲][▼] でカテゴリーを選び、[決定] を押す

放送を変更するには
[緑] を押す(➜ 手順 2 へ)

録画モードを変更するには
① [サブ メニュー] を押す
② [◀][▶] で録画モードを選び、[決定] を押す

5 [◀][▶] で「番組予約へ」を選び、[決定] を押す
(➜24「番組表を使って HDD に予約録画する」手順 5)
(➜34「録画時間を指定して予約録画する(時間指定予約)」手順 3)

放送中の番組を視聴するには
[◀][▶] で「今すぐ見る」を選び、[決定] を押す

予約録画する（つづき）

番組を検索して予約録画する

番組表表示中に

1 サブメニュー(S) **を押す**

2 **[▲][▼]で「番組表の検索」を選び、決定を押す**

3 **[▲][▼]で検索方法を選び、決定を押す**

（➜下記へ）

複数の検索条件から登録・検索する

フリーワード検索

「フリーワード」の複数の検索条件を登録し、1つでも条件を満たす番組を検索することができます。

- 登録できる検索条件は5件までです。
- 英数で文字入力した場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

検索条件を登録する

4 緑 **を押す**

- 文字を入力し（➜117）、登録してください。

上記手順 4 を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録した検索条件を変更するには

① [▲][▼]で検索条件を選び、[決定]を押す
② [▲][▼]で「フリーワード編集」を選び、[決定]を押す
③ 文字を入力する（➜117）

登録した検索条件を削除するには

① [▲][▼]で検索条件を選び、[黄]を押す
② [◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す

検索する

4 検索する放送種別を変更する場合：

① 赤 **を押す**
② **[▲][▼][◀][▶]で検索したい放送を「入」に設定し、決定を押す**

5 青 **を押す**

別の日の検索結果を表示するには

検索結果画面表示中に、[青] を押して日付を選択してください。

6 **[▲][▼] で番組を選び、決定を押す**

7 **[◀][▶] で「番組予約へ」を選び、決定を押す**

（➜24「番組表を使って HDD に予約録画する」手順 5）

「ジャンル」などから検索する

ジャンル検索

キーワード検索

人名検索

- キーワード・人名検索でCATV放送の番組は検索できません

4 **[▲][▼] で検索条件を選び、決定を押す**

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送を切り換えるには

[地上][BS][CATV] を押す

別の日の検索結果を表示するには

検索結果画面表示中に、[青] を押して日付を選択してください。

- [サブ メニュー] を押すと、「視聴制限一時解除」や「放送種別」「表示対象」の変更を行うことができます。

5 **[▲][▼] で番組を選び、決定を押す**

6 **[◀][▶] で「番組予約へ」を選び、決定を押す**

（➜24「番組表を使って HDD に予約録画する」手順 5）

放送中の番組を視聴するには

[◀][▶] で「今すぐ見る」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
- ネットワークに接続し、**放送設定**「通信によるGガイド受信」（➜133）を「オン」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組のジャンルや出演者など関連した情報から番組を検索します。

番組内容画面(➜24 手順 4)表示中に

1 [◀][▶]で「関連情報」を選び、決定を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、決定を押す

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送を切り換えるには
[地上][BS][CATV] を押す

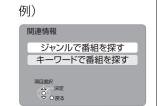
別の日の検索結果を表示するには
検索結果画面表示中に、[青] を押して日付を選択してください。

例）

3 [▲][▼] で番組を選び、決定を押す

4 [◀][▶]で「番組予約へ」を選び、決定を押す

(➜24「番組表を使って HDD に予約録画する」手順 5)

放送中の番組を視聴するには
[◀][▶] で「今すぐ見る」を選び、[決定] を押す

新番組を自動で予約録画する 地上デジタル BS デジタル

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大16番組まで自動で予約することができます。

●番組表のデータ受信時に新番組を探して自動で予約します。

●録画先は「HDD」、録画モードは「DR」で予約します。

●地上 /BS デジタル放送のみ自動で予約します。

設定方法

1 操作一覧 を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼] で「新番組おまかせ録画」を選び、決定を押す

4 [▲][▼]で設定したい項目を選ぶ

5 [◀][▶]で「入」または「切」を選ぶ

新番組おまかせ録画の設定

夜ドラマ (地上D)	入	切
夜ドラマ (BS)	入	切
アニメ (地上D)	入	切
アニメ (BS)	入	切

"入"に設定すると、新番組をDRモードで自動録画します。
●録画時刻の重複により自動録画されない場合があります。
●HDD残量にご注意ください。
予約確認ボタンで自動で録画される番組を確認できます。
項目選択 設定変更 戻る

●「夜ドラマ」は 18 時～ 23 時 59 分の間に開始時刻が含まれる新番組のドラマが対象になります。

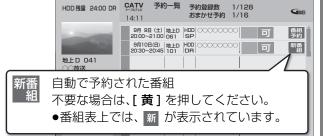
●契約が必要なチャンネルの新番組も自動で予約しますが、契約していない場合、録画はされません。

●「入」に設定した場合、HDDの残量にお気をつけください。

予約された新番組の確認

予約確認 を押す

予約内容を修正するには(➜36)
「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。
(すでに新番組以外の予約が 128 番組ある場合は、修正できません)

新番組 自動で予約された番組
不要な場合は、[黄] を押してください。
●番組表上では、新 が表示されています。

予約が重なったときは？

●**通常の番組予約と重なったときは？**
2 番組同時録画(➜42)ができないときは、新番組の予約は行われません。

●**新番組同士が重なったときは？**
2 番組同時録画(➜42)ができないときは、以下の優先順位で予約されます。
① 開始時刻の早い番組を優先
② 新番組の開始時刻が同じときは、
まず地上デジタルと BSデジタルでは、地上デジタルの番組を優先
さらに同じ放送のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

お知らせ

●新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。

●予約を取り消した新番組が、再び自動で予約されることはありません。ただし、「新番組おまかせ録画の設定」をいったん「切」にして再び「入」にした場合に、再び予約されることがあります。

予約録画する(つづき)

番組表予約の変更をする

24 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

録画先などの予約内容の変更

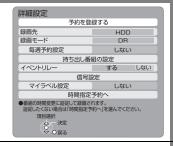
詳細設定

1 [▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する(➜ 下記へ)

●「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定]を押してください。

2 設定が終了したら、
[▲][▼]で「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定を押す

録画先

「HDD」または「BD」を選びます。(DVD の場合は、「BD」を選んでください)

録画モード

録画モード(➜40)を設定します。

毎週予約設定

●曜日ごとに予約するしないの設定ができます

① **[◀][▶]で「毎週予約」を設定する**

●押すごとに、以下のように変わります。

録画する曜日によって表示内容は変わります。

毎週予約設定
毎週予約　しない
自動更新　入　切
月　する　しない
火　する　しない
水　する　しない
木　する　しない
金　する　しない
土　する　しない
日　する　しない
●お好みの曜日を選び、曜日毎に設定を変更することができます。
項目選択　設定変更　決定　戻る

☞ **自動更新を設定するには**
[◀] [▶]で「自動更新」を「入」にする
「入」を選ぶと、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。

☞ **曜日ごとに設定するには**
[◀] [▶]でそれぞれの曜日を「する」または「しない」にする
設定を変更すると、「毎週予約」の項目が「曜日指定」になります。

② **[決定] を押す**

●番組表を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合、正常に予約録画されないときがあります。

●毎週予約では、次回以降の予約が重複している場合があります。予約一覧で確認してください。

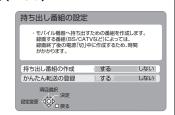
持ち出し番組の設定

HDD

録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。(➜98)

① **[▲][▼]で「持ち出し番組の作成」を選び、[◀][▶]で「する」を選ぶ**

② **[▲][▼]で「かんたん転送の登録」を選び、[◀][▶]で「する」または「しない」を選ぶ**

●「する」に設定すると、「かんたん転送」(➜100)で自動的にSDカードへ転送することができます。

③ **[決定] を押す**

●持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。(➜99)

イベントリレー

「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます)

別に予約した番組と放送時間が重なった場合、一方の番組が録画されないときがあります。

例)
時間
8:00　12:00
A局　野球中継 (放送終了時間まで)
B局　野球中継 (延長部分)
12:00　13:00
引き続き録画

●毎日･毎週予約を設定している場合は働きません。

●録画先が“BD”の場合、延長部分はHDDに代替録画されます。

録画先などの予約内容の変更 （つづき） 詳細設定	信号設定	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 ① **[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する** ② **[戻る] を押す** 信号設定 / マルチビュー 主番組 / 映像 映像1 / 音声 日本語 / 字幕 オン オフ / 字幕言語 日本語 英語 / 項目選択 / 設定変更 / 戻る ●「DR」以外の録画モードで録画する場合、音声や字幕などは設定された内容で録画され、再生時に切り換えできません。 ●選べる設定項目は、予約時点で放送局から送られる番組情報に基づいています。そのため、実際に放送された番組の内容が予約時点での番組情報と異なり、予約で設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。
	マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定しておくと、録画一覧(➜47)で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。(➜58) **[▲][▼]でラベルを選び、[決定] を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。 **(➜48「分類ラベル設定」)** マイラベル設定 / マイラベルを設定すると、録画一覧で分類ラベルとして表示できます。 / しない / ラベル1 / ラベル2 / ラベル3 / ラベル4 / ラベル5 / ラベル6 / 項目選択 / 決定 / 戻る
	時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 **➜35「時間指定予約」へ** ●番組追従(➜38)は行えません。 ●「信号設定」は反映されません。
予約番組が重なっているとき (24 ページ手順 5 などのあと)		予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。 予約重複確認 / 予約が重複しています。 / 予約重複確認画面を表示しますか？ / はい / いいえ / 項目選択 / 決定 / 戻る **重複している予約を確認するには** **[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す** ●「予約重複確認」画面が表示されます。 **予約の重複を修正するには** ① **[▲][▼]で番組を選び、[決定]を押す** ② **[◀][▶]で修正方法を選び、[決定]を押す** **修正**：予約時間などを修正します。 **(「番組予約」の場合は➜32「詳細設定」へ)** **(「時間指定予約」の場合は➜35「時間指定予約」へ)** **取り消し**：予約を取り消します。 **予約実行切**：予約の実行をやめます。 ●デジタル放送の予約が2番組重複している場合、一方の予約の録画モードを「DR」にすると、重複を解除できます。

例）

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約録画する(つづき)

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

予約録画を止めるには(➜36)

予約の確認や取り消し、修正をするには(➜36)

予約番組が重なっているときは(➜33)

予約一覧画面の表示マークについては(➜177)

暗証番号に関する表示が出たとき(時間指定予約)
デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号の入力が必要です。

録画時間を指定して予約録画する(時間指定予約)

1 予約確認 **を押す**

2 緑 **を押す**

3 予約内容を設定する

(➜35「時間指定予約」へ)

4 「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定を押す

予約内容の変更

時間指定予約

1 [▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する(➜ 下記へ)

●「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」を選んだあと、[**決定**]を押してください。

2 設定が終了したら、

34 ページ手順4へ

項目	説明
録画日	日付を指定できます。
毎週予約設定	毎日･毎週予約を設定します。(➜32「毎週予約設定」)
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀]または[▶]を押したままにすると15分単位で変更できます。 ●[決定]を押すと、[1]～[10]でも設定できます。
終了時刻	
録画先	「HDD」または「BD」を選びます。 ●DVD の場合は、「BD」を選んでください。
録画モード	録画モード(➜40)を設定します。
持ち出し番組の設定 HDD	持ち出し番組作成の設定をします。(➜32)
番組名入力	●文字入力について(➜116) ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。(➜33)

予約録画する(つづき)

録画中の予約録画を止める

2 番組同時録画中のときは、録画を止めたい番組をテレビ画面に表示させてください。(➜22)

1 [停止■] を押す

2 [◀] [▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

例)

予約録画停止
録画中 [地上D 041]
現在、ご覧のチャンネルを予約録画中です。
この予約録画を停止してもよろしいですか?
はい　いいえ
決定
戻る

予約一覧画面から予約録画を止めるには
[➜下記「予約の実行を止める(一時解除)」]

- 予約録画を止めると、予約一覧画面に「一部未実行」マークが表示されます。
  毎日·毎週予約の場合は、次回からの予約を新たに追加登録します。

予約内容の確認、取り消し、修正など

[予約確認] を押す

HDD 残量 24:00 DR　CATV ケーブルテレビ　予約一覧　14:11　予約登録数 2/128　おまかせ予約 0/16
9月 9日 (土) 20:00~21:00　地上D 101　HDD SP　○○○○○○○○　可　番組予約
9月10日 (日) 17:00~17:30　地上D 061　HDD SP　○○○○○○○○　可　時間指定
地上D 041
予約状況がマークで表示されます。(➜177)

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
- 実行される予約番組がない場合は、本体表示窓の"◷"が消灯します。
- 予約番組の放送時間が変更された場合に、変更内容が予約一覧で反映されないときがあります。

予約内容の変更を行う場合は、[▲][▼]で予約番組を選び、以下に進んでください。

予約の取り消し

① **[黄] を押す**
② **[◀] [▶] で「はい」を選び、[決定] を押す**
- **[11]** または **[消去]**(ふた内部)を押して取り消すこともできます。

予約の実行を止める(一時解除)

① **[サブ メニュー] を押す**
② **[▲][▼] で「予約実行切」を選び、[決定] を押す**

例)

サブメニュー
視聴制限一時解除
予約取り消し
予約実行切
履歴一覧表示
項目選択
決定
戻る

- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- もう一度 **[サブ メニュー]** を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。
- 録画中の番組を選んで操作を行うと、録画が停止します。予約時間内であれば、もう一度 **[サブ メニュー]** を押して「予約実行入」を選ぶと、録画が再開されます。(ただし、別番組として録画されます)

視聴制限の一時解除

「制限項目設定」(➜147)の暗証番号を入力して視聴制限を一時解除します。
① **[サブ メニュー] を押す**
② **[▲][▼] で「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す**
③ **[1] ~ [10] で暗証番号を入力する**

履歴一覧の表示

① **[サブ メニュー] を押す**
② **[▲][▼] で「履歴一覧表示」を選び、[決定] を押す**
- 不要な履歴がある場合は、履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。
① **[サブ メニュー] を押す**
② **[▲][▼] で「履歴削除」を選び、[決定] を押す**
③ **[◀][▶] で「はい」を選び、[決定] を押す**
- 番組の履歴は「履歴一覧」からも確認できます。
  予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

予約内容の修正

① **[決定] を押す**
② **[◀][▶] で「修正」を選び、[決定] を押す**
　(「番組予約」の場合は➜32「詳細設定」へ)
　(「時間指定予約」の場合は➜35「時間指定予約」へ)
- 時間指定予約の場合、予約録画実行中の番組でも、録画モードが「FR」以外なら予約終了時刻の変更ができます。

毎日·毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。
① **[決定] を押す**
② **[◀][▶] で「毎週一覧」を選び、[決定] を押す**
- 予約の「重複」がある場合に **[決定]** を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。
  予約の修正をしてください。(➜33)

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

番組表での予約の取り消し / 修正

予約取り消し	**1 [▲][▼][◀][▶]で「予」が表示されている番組を選び、決定を押す** **2 [◀][▶]で「予約取り消し」を選び、決定を押す** ●「予」が消えます。 ●予約録画実行中の番組は、取り消しできません。
予約修正	**1 [▲][▼][◀][▶]で「予」が表示されている番組を選び、決定を押す** **2 [◀][▶]で「予約修正」を選び、決定を押す** 「番組予約」の場合は ➜32「詳細設定」 「時間指定予約」の場合は ➜35「時間指定予約」

予約録画する(つづき)

予約録画の便利な機能

- 本機では番組を、128番組まで予約できます。[毎日・毎週予約(➜下記)は1番組として数えます]
  [「新番組おまかせ録画」(➜31)は、通常の番組予約とは別に16番組まで自動で予約されます]
- ディスクへは、1 番組のみ予約できます。

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(➜36)

まとめ表示について まとめ **HDD**

連続ドラマなどを毎日･毎週予約した番組は、録画一覧画面(➜47)でまとめて表示されるため、番組を探しやすくなります。
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

前回の番組を消去して録画するには(自動更新) **HDD**

「自動更新」(➜32) を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDDの容量を効率よく使えます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

番組追従機能

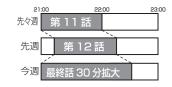
- 番組表から予約した番組にのみ働きます

野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。
(3時間までの変更に対応)

- 「イベントリレー」(➜32) を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。(番組は分割されます)
- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

毎日･毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

- 次回以降の予約登録するときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
- 番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。
- 予約番組の放送時間が変更された場合に、変更内容が予約一覧で反映されないときがあります。

番組追従機能を無効にするには
時間指定予約で予約を行ってください。(➜34)

ディスクの残量不足などに対応(代替録画)

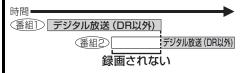
(録画先を“BD”にして予約したとき)
ディスクの入れ忘れ、残量不足などでディスクに予約録画できない場合(➜171)は、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の失敗を防ぎます。

- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- 代替録画した番組は、録画一覧画面上で「 ↱ 」が表示されます。

予約録画に関する質問

Q（質問）	A（回答）
予約録画待機中に録画や再生はできる？	できます。 ただし、以下の場合は、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。 ●録画中：２番組同時録画ができない状態のとき ●ディスク再生中：ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき ●BD ビデオや AVCHD のディスク再生中：DR モード以外の予約録画の開始時刻になったとき
電源を入れたまま予約時間になった場合は？	電源の切/入にかかわらず、予約録画は始まります。 終了後も電源は入ったままになりますが、予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合、どうなる？	●２番組同時録画ができない状態のときは、前の予約の終わりの約１分が録画されません。 予約1 録画される / 予約2 録画される / 予約1の最後約1分が録画されない 次の予約先が「BD」の場合は、次の予約（「BD」）の始めも、約１分が録画されません。 予約1 録画される / 予約2 録画される / 予約1の最後約1分が録画されない / 予約2の始め約1分が録画されない ●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。
「新番組おまかせ録画」の予約を取り消すとどうなる？	取り消した新番組が、再び自動で予約されることはありません。ただし、「新番組おまかせ録画の設定」をいったん「切」にして再び「入」にした場合に、再び予約されることがあります。
予約時刻が重なっている番組はどうなる？	同じ時間帯に予約が重複した場合、予約内容によって録画できない番組があります。 予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。 予約一覧で「重複」が表示

予約の重複について

例）デジタル放送を録画モード「DR」以外での予約が重複

開始時刻の早い１番組のみ録画されます。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。

例）デジタル放送を録画モード「DR」での予約が重複

開始時刻の早い2番組が録画されます。一方の録画が終わり次第、3番組目が途中から録画されます。

お知らせ

●DR モード以外で予約録画していた番組が、番組追従機能によって録画が延長になり、次の予約と重なった場合に、次の予約が DR モード以外の録画モードのとき、その予約の一部またはすべてが実行されなくなります。

録画モードについて

録画モード	DR	HG•HX•HE•HL•HM	XP•SP•LP•EP	FR
特徴は？	**ハイビジョンモード** 放送そのままの画質で記録	**ハイビジョン長時間モード** 放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにも ハイビジョン画質で記録	**標準画質モード** 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	**自動調整モード** ディスクの残量に合わせて XP ～ EP の中で画質を自動調整して記録
記録できる放送 / 入力は？	地上･BS･CATV デジタル放送 i.LINK(TS)		地上･BS･CATV デジタル放送 DV 入力 i.LINK(TS)	地上･BS･CATV デジタル放送 DV 入力
記録できる画質は？	放送画質 放送そのままのハイビジョン画質※2	ハイビジョン画質 放送の画質を変換したハイビジョン画質※2	標準画質	
記録できるディスクは？	HDD BD-RE BD-R	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW	
画質と記録時間は？	高画質　長時間		高画質　長時間	—
サラウンドの番組の音声は？	放送そのままのサラウンド音声	放送そのままのサラウンド音声※3	ステレオ音声（ダウンミックス 2 チャンネル）	
複数の音声（マルチ音声 ➜44）が含まれている番組は？ （二重音声が含まれている番組については ➜44）	複数の音声をすべて記録	音声は 1 つだけ記録※4		
複数の映像が含まれている番組は？	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録※4		
字幕情報が含まれている番組は？	再生時、字幕表示の入 / 切ができる	再生時、字幕表示の入 / 切はできない※4		

※ 1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード
※ 2　デジタル放送の番組でも、標準画質の番組があります。その場合、ハイビジョン画質の録画モードを選んでも、標準画質のまま録画されます。ただし、ダビング画面ではハイビジョン画質の番組と同じく、HD が表示されます。
※ 3　i.LINK(TS) 入力から録画する場合や CATV デジタル放送の音声によっては、放送の音声方式を変換したステレオ音声 (ダウンミックス 2 チャンネル) になります。
※ 4　記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。
- **録画時**：「信号切換」(**➜17**)で選ぶ
- **予約録画時**：「信号設定」(**➜33**)で選ぶ
- **ダビング時**：**再生設定**「信号切換」(**➜54**)で選んだあと、「再生中番組の保存」(**➜72**)を行う

画質と記録時間について	スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（例：HE、HL、HMやEP）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR やHG、XPなど高画質の録画モードをお使いになることをおすすめします。
予約録画時の録画モードについて	予約録画時に、現在選ばれている録画モードを確認するには、24 ページの手順2の画面で確認してください。 ●予約した番組の録画モードを確認するには、予約一覧をご覧ください。(➜36)

録画モードと記録時間の目安

記録できる最大番組数（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- HDD：3000（持ち出し番組を含む）
（長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)：200
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)：99

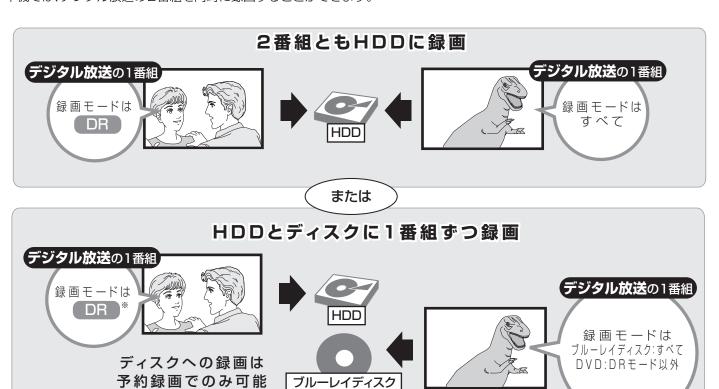
録画モード ＼ ディスク				内蔵HDD（500 GB）	BD-RE、BD-R 1層（25 GB）	BD-RE、BD-R 片面2層（50 GB）
放送画質	DR	BS デジタル	HD放送（≦24 Mbps）	約 45 時間	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分
			SD放送（≦12 Mbps）	約 90 時間	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分
		地上 デジタル	HD放送（≦17 Mbps）	約 63時間	約 3 時間	約 6 時間
		CATV デジタル	HD放送（≦14 Mbps）	約 77時間	約 3 時間 40 分	約 7 時間 20 分
			SD放送（≦6 Mbps）	約 180 時間	約 8 時間 40 分	約 17 時間 20 分
ハイビジョン画質	HG			約 80 時間	約 4 時間	約 8 時間
	HX			約 126 時間	約 6 時間	約 12 時間
	HE			約 189 時間	約 9 時間	約 18 時間
	HL			約 252 時間	約 12 時間	約 24時間
	HM			約 360 時間	約 17 時間 20 分	約 35 時間
標準画質	XP			約 110時間	約 5 時間 15 分	約 10 時間 30 分
	SP			約 222時間	約 10 時間 30 分	約 21時間
	LP			約 442時間	約 21時間	約 42時間
	EP			約 887時間（約 665時間）	約42 時間（約31時間 30 分）	約84 時間（約63 時間）

録画モード ＼ ディスク		DVD-RAM 片面（4.7 GB）	DVD-RAM 両面（9.4 GB）	DVD-R（4.7 GB）	DVD-R DL（片面2層）（8.5 GB）	DVD-RW（4.7 GB）
ハイビジョン画質	HG	約 42 分	約 1 時間 24 分	約 42 分	約 1 時間 20 分	—
	HX	約 1 時間 5 分	約 2 時間 10 分	約 1 時間 5 分	約 2 時間	
	HE	約 1 時間 40 分	約 3 時間 20 分	約 1 時間 40 分	約 3 時間	
	HL	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分	約4時間 10 分	
	HM	約 3 時間 15 分	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分	約 6 時間	
標準画質	XP	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分	約4時間
	EP	約8時間（約6時間）	約16時間（約12時間）	約8時間（約6時間）	約14時間20分（約10時間45分）	約8時間（約6時間）

- HDD 持ち出し番組や写真を記録している場合や**初期設定**「ドアホン・センサーカメラ接続」（**➜155**）を「入」にすると、記録できる時間は少なくなります。
- RAM 両面ディスクの場合、連続記録・再生はできません。
- EPモードは**初期設定**「EP時の記録時間」（**➜150**）の設定で記録時間は異なります。[（）内の時間はEP（6 時間）のとき]
  - ・「6時間」の方が高音質です。
  - ・RAM(VR) EP（8時間）モードで記録した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP（6時間）モードで記録してください。

上記の表の数値は目安です。HDD の実際の残量は [録画モード]（ふた内部）を押して確認することができます。（➜21）
記録する内容によっては変化することがあります。
- DR モード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL では、特にその差が著しくなります）残量に余裕がある状態で記録してください。またHG、HX、HE、HL、HMモードの場合、番組の内容によっては DRモードで録画するよりも使用容量が大きくなることがあります。
- DRモードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を17 Mbps、BSデジタル放送を 24 Mbps、CATV デジタル放送を 14 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。

2 番組同時録画について

本機では、デジタル放送の2番組を同時に録画することができます。

2番組を同時に録画するには…	デジタル放送の1番組は、録画モード「DR」で録画してください。
操作方法(➜22)	以下の場合、2番組同時録画はできません。 ●DV 入力、i.LINK(TS) 入力から録画する場合 ●高速ダビング中

お知らせ

●DR モード以外で予約録画していた番組が、番組追従機能によって録画が延長になり、次の予約と重なった場合に、次の予約が DR モード以外の録画モードのとき、その予約の一部またはすべてが実行されなくなります。

記録の制限について

ワイド放送など16:9 映像の記録	**以下の記録をした場合、初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜150)の設定に従って記録されます。** ●**初期設定**「高速ダビング用録画」(**➜150**)が「入」のときに - DV 入力から録画 - ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)からHDDにダビング ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) へ記録するとき
デジタル放送の4:3 映像の記録	「HG」、「HX」、「HE」、「HL」、「HM」モードで記録すると、左右に黒帯のついた16:9映像として記録されます。
標準画質でのデジタル放送の記録	放送によっては、「DR」モードよりも他の録画モードで記録するほうが、容量が大きくなる場合があります。
音声多重放送の記録	設定やディスクによって、記録できる音声は異なります。(**➜44**)
ハイビジョン画質やサラウンド音声の記録	録画モードによって、記録できる内容は異なります。(**➜40**)
デジタル放送の録画とダビング ● 10 ～ 1 表示のある番組	**デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限があります。** HDDに録画した番組のコピー制限が「ダビング10」の場合は 10 を、「1回だけ録画可能」の場合は 1 を表示します。(ディスクに録画した場合は ✕ が表示され、HDDに番組のダビングはできません)

ブルーレイディスクの場合:

市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD の場合:

記録するディスクは、著作権保護技術を持ったCPRMに対応している必要があります。

パッケージに

CPRM対応 の記載のある
ディスクを準備してください。

(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

10 ～ 1 はダビングの残り可能回数を表します。

> **1 表示のある番組について**
> **ダビングまたは転送すると、HDD の番組は消去されます。(複製はできません)**
> ●通常の番組·持ち出し番組ともにHDDから消去されます。
>
> 録画内容が消える
>
>
>
>
>
>
>
>
>
>
> ●プロテクト設定(**➜56**)されている場合、ダビングできません。

●ディスクからHDDへの移動はできません。
●当社製のブルーレイディスクや CPRM対応の DVDのご使用をおすすめします。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 http://www.dpa.or.jp

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

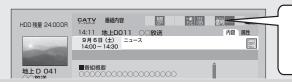
多重音声の種類

現在、主に放送されている多重音声には以下の種類があります。

デジタル放送のマルチ音声
複数の音声が含まれる

デジタル放送の二重音声
1つの音声の中に主音声と副音声が含まれる

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

信号 :マルチ音声
主+副 :二重音声

番組を視聴中のときは、**[音声切換]**（ふた内部）を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の二ヵ国語放送を記録する場合

	記録先	デジタル放送のマルチ音声	デジタル放送の二重音声
両方の音声を記録するには	HDD ブルーレイディスク	DRモードを選ぶ	録画モードにかかわらず両方の音声が記録されます※
こんにちは Hello	DVD	両方の音声を記録することはできません。 ●記録する音声を選ぶには(**➜ 下記**)	**RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-R DL(AVCREC)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** を使う※
片方の音声のみ記録するには	HDD ブルーレイディスク	HG、HX、HE、HL、HM、XP、SP、LP、EP、FRモードを選ぶ	— (両方の音声を記録します※)
こんにちは ●記録する音声を選ぶには(**➜ 下記**)	DVD	**RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-R DL(AVCREC)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** を使う	— (両方の音声を記録します※)

		デジタル放送のマルチ音声
記録する音声を選ぶには	録画時	●**直接録画の場合** 「信号切換」(**➜17**)の「音声」 ●**予約録画の場合** 予約時の「信号設定」(**➜33**)の「音声」
	ダビング時	**再生設定**「信号切換」(**➜54**)の「音声」で音声を選び、 「再生中番組の保存」(**➜72**)でダビング

※ **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** **-R DL(AVCREC)** CATV デジタル放送の番組を HG、HX、HE、HL、HMモードで記録する場合、「二重放送音声記録」(**➜152**)で選ばれた音声のみ記録します。ただし、番組によっては「主」、「副」を選んでも、両方の音声が記録される場合があります。

再生する

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）
- ディスクを入れる。

1 ドライブ切換 を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

- 本体表示窓の表示を確認してください。
- DVDを再生するときは「BD」を選んでください。

2 再生▶ を押す

HDD :最後に停止した位置から再生
BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW :最初に記録された番組から再生
BD-V DVD-V :ディスクが指定した位置から再生

- ただし、続き再生メモリー機能(➜50「停止」)が働いている場合は、停止した位置から再生します。
（BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります）
- 最後に停止した番組が、ダウンロードした番組(➜96)の場合、[再生▶]を押して再生できません。「録画一覧」から再生してください。

録画した番組を再生する

記録可能なディスクを入れると、下記の画面が表示されます。

例）RAM

DVD-RAM(VR)
録画した番組を見る
かんたんダビング
写真を見る

[▲][▼]で「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、右記の手順3に進むことができます。

1 ドライブ切換 を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

- 本体表示窓の表示を確認してください。
- DVDを再生するときは「BD」を選んでください。

2 録画一覧 を押す

3 番組を選び、決定を押す

①選び
②決定する

お知らせ

- ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクでハイビジョン画質の番組を再生するには、**初期設定**「AVCHD優先モード」を「切」にしてください。(➜150)

録画一覧について(➜47)

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

お知らせ

- BD-V 市販の映画などが記録された BD ビデオは、DRモード以外で録画中に再生することはできません。また、再生中に DR モード以外の予約録画が始まると再生を終了します。

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

項目を選び、決定を押す

①選び
②決定する

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中: [サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中: [録画一覧]を押す
DVD-V [録画一覧]を押す
（[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ）

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中: [録画一覧]を押す

再生する(つづき)

撮影したハイビジョン動画 (AVCHD) を再生する

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影し、ハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクやSDカードを再生することができます。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- ディスクまたはSDカードを入れる。

ディスクまたはSDカードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例) SD

ディスクを入れた場合:
- 右記の手順 3に進みます。

SD カードを入れた場合:
① 「撮影ビデオ(AVCHD)」を選び、[決定]を押す
② 「撮影ビデオを見る」を選び、[決定]を押す
- 右記の手順 4に進みます。

1 [操作一覧] を押す

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SDカード」を選び、[決定]を押す

3 「撮影ビデオ(AVCHD)を見る」を選び、[決定]を押す
- 再生するディスクや SD カードのトップメニューが、
  - ・作成されている場合　　:トップメニュー画面を表示
  - ・作成されていない場合　:撮影ビデオ (AVCHD) 一覧画面を表示※

  ※撮影した機器によっては、撮影ビデオ (AVCHD) 一覧画面を表示できない場合があります。

4 タイトルを選び、[決定]を押す

①選び

②決定する

トップメニューや撮影ビデオ(AVCHD)一覧が表示されないときは
「ダイレクト再生」(➜51)を使って再生してください。

お知らせ
- ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクの場合、**初期設定**「AVCHD優先モード」を「入」にしてください。(➜150)
- 再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。
- 録画中に再生する場合、DR モードで録画中のみ再生できます。
- 2倍速対応以下の DVDに記録された高画質(転送レート約 18Mbps 以上)の動画は、正しく再生できません。

映像が縦に引き伸ばされているとき(4:3映像で記録されているとき)
初期設定「TVアスペクト」(➜153)を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

暗証番号の入力画面が出たとき
設定した暗証番号を入力し、[決定] を押してください。

お知らせ
- 持ち出し番組は、本機で再生することはできません。
- ディスクによっては、再生が始まるまで時間がかかることがあります。
- 放送の内容によっては、DRモードで録画した番組の切り換わり部分や、番組の編集した部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [停止■] を押して停止させてください。
- -R DL 記録面が片面に 2層あります。1層目に収まらなかった番組は、2つの層にまたがって記録されます。(➜右図「番組 2」)
  通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。

録画一覧について

例）HDD

録画した番組をラベルから探す HDD

録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。また、お好みでマイラベルに分類すると、さらに番組を探しやすくなります。

[◀][▶]でラベルを選ぶ

すべて	すべての番組
未 未視聴	録画してまだ見ていない番組（ 未 が表示された番組） ●再生後は、「 未 未視聴」から除外されます。
新 おまかせ	「新番組おまかせ録画」(➜31)で録画された番組（ 新 が表示された番組） ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「 新 おまかせ」から除外されます。
ダウンロード ●TZ-BDW900Pのみ	ダウンロードした番組(➜96)
映画、ドラマ、スポーツなどの「ジャンル」	録画した番組の番組情報をもとに、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
マイラベル	「マイラベル設定」(➜33､58)で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルはあらかじめ6個準備されています。マイラベルを新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。(➜48「分類ラベル設定」)
撮影ビデオ	ディスクや SD カードから取り込まれたハイビジョン動画 (AVCHD)(➜82)

お知らせ

●録画一覧の番組名は、録画を開始して 3 分後または録画終了時に付くようになります。番組名が付いていない場合、いったん録画一覧画面を消して再表示すると番組名が付きます。
●視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」(➜48)を行うと、表示されるようになります。

再生する（つづき）

録画一覧について（つづき）

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

1 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル(➜47)を選んでから [サブ メニュー] を押してください。

2 [▲][▼]で項目を選び、決定を押す（➜ 下記へ）

項目		内容
先頭から再生	HDD	続き再生メモリー機能(➜50)が働いているときに、番組を前回停止した位置から再生するか、最初から再生するか選ぶことができます。
つづきから再生	HDD	
番組消去		**消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。** 消去してよいか確認してから行ってください。 ●持ち出し番組も消去されます。[ダウンロードした番組(➜96)を除く] **[◀][▶]で「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認		番組名、録画日、チャンネル、ジャンル情報などの確認ができます。 **画面を消すには** **[決定]** を押す
分類ラベル設定 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません	HDD	録画一覧に表示するラベルを変更することができます。 **[▲][▼]で表示させたいラベルを選び、[決定]を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」を選択すると、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ①**[▲][▼]**で設定するマイラベルを選び、**[決定]**を押す ②**[▲][▼]** で「名称変更」を選び、**[決定]**を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ラベル名を入力する(➜116) 例）分類ラベル設定 / 分類ラベルを変更します。ラベルの分類を選択してください。 / 現在の設定 ドラマ（すべて） / マイラベル / ジャンル / 未視聴 / おまかせ / 決定 / 戻る
視聴制限一時解除		制限項目設定(➜147)で設定された視聴制限を解除します。 画面の指示に従って暗証番号（4けた）を入力してください。 表示されていない視聴制限のある番組を表示します。
全番組表示へ まとめ表示へ	HDD	全番組表示とまとめ表示を切り換えます。 **まとめ表示**：毎日・毎週予約などで録画した番組をまとめて表示 **全番組表示**：すべての番組を一覧表示 まとめ 番組を選び、決定 を押すと、まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

新 マークの番組の再生

「新番組おまかせ録画」で録画された番組を再生し、停止した場合、予約画面が表示されます。

下記の操作を行うと、新 の表示は消えます。

新番組の次回予約

新 きら･きら･りん

番組表から次回の番組を予約しますか？
次回以降の番組は、この番組と1つの
まとめ番組になります。

予約する　キャンセル

決定
戻る

引き続き予約する

1 [◀][▶] で「予約する」を選び、決定 を押す

●番組表が表示され、次回放送分の番組が選ばれた状態になります。（番組によっては正しく選ばれない場合がありますので、予約したい番組が選ばれているか確認してください）

2 予約の操作を行う（➜24 手順 2 へ）

●手順5の番組予約画面では、「毎週予約する」と「毎日予約する」の項目が表示されます。

まとめ 番組の再生

HDD

番組を選んで再生する

1 [▲][▼][◀][▶] で まとめ 番組を選び、決定 を押す

2 [▲][▼] で再生する番組を選び、決定 を押す

●選んだ番組を再生します。

番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ表示中に [▲][▼][◀][▶] で まとめ 番組を選び、再生▶ を押す

● まとめ 番組内の番組を連続で再生します。

● まとめ 番組にダウンロードした番組（➜96）が含まれる場合、まとめ再生はできません。

まとめ 番組の番組名について

HDD

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

まとめ表示　　まとめ番組一覧

☞ **「まとめ表示」での番組名を変更するには**

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。（➜56）

●「すべて」ラベル選択時のみ編集できます。
●番組名を変更しても まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

HDD

●「すべて」ラベル選択時のみ編集できます

録画一覧（まとめ表示）またはまとめ番組一覧上で

1 [▲][▼] で番組を選び、青 を押す

● ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

2 すべて選んだあと、サブメニュー S を押す

3 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1つにまとめます。 **[◀][▶] で「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **[◀][▶] で「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。（まとめ番組一覧表示のとき） **[◀][▶] で「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

毎日･毎週予約していた連続ドラマが終了したとき

お知らせ画面が表示されます。

このまま予約を続けると、次の新しい番組も同じ まとめ 番組に入ります。

予約一覧画面で「シリーズ終了」マークがある予約を取り消すことをおすすめします。

予約番組のシリーズ終了のお知らせ

毎週予約で録画された番組名に 終 がありました。
次回以降の番組名が変わり番組追従できないことがあります。新番組の予約に登録し直すことをお勧めします。

再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

操作	ボタン	説明
停止	[停止■] を押す	**続き再生メモリー機能** 止めた位置を一時的に記憶します。 [再生 ▶] を押すと、止めた位置から再生します。 ●HDD:番組ごとに止めた位置を記憶しますので、前回見た続きから見ることができます。 ●ディスク:前回止めた位置のみを記憶します。 ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。 ・BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。 ●電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合、記憶されません。
一時停止(静止画)	[一時停止Ⅱ] を押す	●もう一度押す、または [再生 ▶] を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し(サーチ)	[◀◀] [▶▶](サーチ/スロー) を押す	押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。(5 段階) ●[再生 ▶] で通常再生に戻ります。 ●早送り 1 速時のみ音声が出ます。 ●ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。 ●BD-V 早送り・早戻し中は、主映像のみ再生します。
スキップ	再生中または一時停止中に [⏮] [⏭](スキップ) (ふた内部)を押す	押した回数だけ番組や場面を飛び越します。 ●チャプターマーク(➜60)がある場合は、その場面に飛びます。 ●HDD 番組を飛び越しません。ただし、まとめ再生中(➜49)は、[まとめ] 番組内の番組を飛び越します。
30秒先へ飛び越す	[30秒スキップ] を押す	押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。 ●BD-V DVD-V ディスクによっては正しく働かない場合があります。
15秒前へ戻す	[30秒スキップ] を約2秒以上押す	約15 秒前に戻して再生します。 ●BD-V DVD-V ディスクによっては正しく働かない場合があります。

早見再生（1.3倍速）	1.3倍速 [再生▶] **を約１秒以上押す**	通常よりも速い速度で再生します。 ●もう一度[**再生 ▶**]を押すと、通常再生に戻ります。 ● -RW できません。(ファイナライズしたあとでも、できません) ●DR、HG、HX、HE、HL、HMモードの番組や BD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) AVCHD の場合、映像がなめらかに再生されないときがあります。 ● BD-V 早見再生中は、主映像のみ再生します。
スロー再生	一時停止中に サーチ/スロー [◀◀] [▶▶] **を押す**	押すごとに速度が速くなります。(5段階) ●[**再生 ▶**]で通常再生に戻ります。 ● BD-V AVCHD 送り方向のみ働きます。 ●スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。（BD-V DVD-V AVCHD 一時停止しません） ● BD-V スロー再生中は、主映像のみ再生します。
コマ送り/コマ戻し	一時停止中に **を押す** ([◀]または [▶]を押す)	押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。 ●押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。 ●[**再生 ▶**]で通常再生に戻ります。 ● BD-V AVCHD コマ戻しはできません。 ● BD-V コマ送り中は、主映像のみ再生します。
ダイレクト再生 BD-V DVD-V AVCHD	停止中(右の画面表示中)はタイトルを、再生中はチャプターを再生します。 **[1]～[10]を押して、タイトルやチャプターの番号を入力する** DVD-V 2けた入力　例)5：[10]➔[5]、15：[1]➔[5] BD-V AVCHD 3けた入力　例)5：[10]➔[10]➔[5]、15：[10]➔[1]➔[5] ● AVCHD 撮影ビデオ(AVCHD)一覧が表示されているときは、働きません。	
時間を指定して飛び越す（タイムワープ） ● BD-V DVD-V AVCHD できません	**1 [12 タイムワープ] を押す** ●飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度押してください。 **2 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、[決定]を押す** ●[▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。	飛び越し時間表示 約5秒間表示 0分 再生画面

お知らせ

●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部できない操作があります。

再生

再生する（つづき）

再生する（つづき）

再生中のいろいろな操作（つづき）

項目	内容
画面モードの切り換え	上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。 操作方法（➔16）
音声の切り換え	音声切換（ふた内部）を押す ●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。 HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR) 音声L ➔ 音声R ➔ 音声LR BD-V DVD-V AVCHD 音声情報 1日 Digital 2/0ch （➔54「言語」） ● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
操作の状態の表示	テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。 画面表示を押す ●押すごとに切り換わります。 例）HDD ●撮影日時が記録されたハイビジョン動画（AVCHD）を本機で記録した場合、画面の左下に撮影日時が表示されます。（1 倍速ダビング時を除く）ただし、撮影した機器によっては表示されない場合があります。 **●残量表示について** 放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。（DRモードでは、特にそのばらつきが大きくなります）
音声の出力先を切り換える	本機をビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビとアンプに HDMI で接続すると、本機の音声出力先を切り換えることができます。 操作方法（➔19）

字幕表示について	再生中の字幕表示の入 / 切は、[**字幕**]（ふた内部）を押してもできません。字幕表示の入 / 切を行うには、「再生設定」（**➔54**）で行ってください。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

 ●再生可能なディスクを入れる。

1 **を押す**

2 [▲][▼] で「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「プレイリストを見る」を選び、決定を押す

4 [▲][▼][◀][▶]でプレイリストを選び、決定を押す

前の画面に戻るには

 を押す

画面を消すには

 を数回押す

BONUSVIEW 対応の BD ビデオや BD-Live 対応の BD ビデオを楽しむには

本機は、BD ビデオの再生機能である BONUSVIEW™ (BD-ROM Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile) や BD-Live (BD-ROM Profile 2)に対応しています。

●BONUSVIEW™　対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングルの映像などの BD ビデオの副映像が楽しめます。

●BD-Live対応ディスクでは、BONUSVIEW™の機能に加え、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ブロードバンド環境でのご使用をおすすめします。

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

副映像のあるディスクを楽しむ

例）

副映像

主映像

●副映像の音声を出力する場合、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」(➔151)を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

再生設定「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。(➔54)

●ただし、ディスクによって決められている再生方法が優先されるため、本機で設定したとおりに再生できない場合があります。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、追加コンテンツをダウンロードする必要があります。本機では SD カードにダウンロードします。

● 1 GB 以上の残量がある SDカード(SDスピードクラスの CLASS 2以上)をお使いください。

●インターネットに接続して BD-Live コンテンツを利用するには、アカウントを取得する必要がある場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。

準備 ●ネットワーク接続と設定をする。(➔124、139)
●**初期設定**「BD-Liveインターネット接続」(➔150)を「有効」または「有効(制限付き)」に設定する

1 SD カードを入れる

●SDカードのメニュー画面が表示される場合は、[戻る] を押して画面を消してください。

●SDカードをフォーマット(➔113)してお使いになることをおすすめします。(フォーマットすると記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。すべて消去してよいか確認してから行ってください)

2 ディスクを入れる

●SDカードに記録された BDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BDビデオデータ消去」で消去することができます。(➔113、手順 4 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください)

お知らせ

●映像を SDカードにダウンロードしながら再生する場合、通信環境によっては再生が一時的に停止することがあります。またダウンロードが済んでいない部分へのスキップができないなど、一部の機能が使えないことがあります。

●BD-Live対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別IDをインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

再生する(つづき)

信号切換や再生方法の設定などをする

設定の基本操作

1 再生中に
再生設定
(ふた内部)を押す
●ディスクにより設定項目は異なります。

2 [▲][▼]で再生設定の項目を選び、[▶]を押す
3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す
4 [▲][▼]で設定を変える

例) DVD-V

ディスク	音声情報	1日 LPCM 48k 16b
再生	字幕情報	入 1日
映像	アングル	1
音声		

再生設定の項目　設定項目　設定内容

設定を終了するには
[再生設定](ふた内部)を押す

ディスク独自の機能の設定(ディスク)

映像情報
● AVCHD 情報の表示のみ

音声情報※
● DVD-V AVCHD 音声や言語を選びます。(➜下記「音声属性/言語」)
● HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW 音声属性表示のみ

信号切換
[決定]を押して、さらに設定します。
● HDD (DR、HG、HX、HE、HL、HMモードの番組) BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)
DRモードの番組は映像や音声などを切り換えます。それ以外の録画モードの番組は表示のみ。
「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕(オン/オフ)
- ▶ 字幕言語(日本語/英語)

● BD-V
- ▶ 主映像
  - ・映像情報
  - ・音声情報
- ▶ 副映像
  - ・映像情報(入 / 切)
  - ・音声情報(入 / 切)

字幕情報※
● BD-V DVD-V AVCHD 字幕表示の入/切や、言語を選びます。(➜下記「言語」)
● HDD (XP、SP、LP、EP、FR モードの番組のみ) RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW 入/切のみ
(他機で録画したディスクなど、字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ切り換えられます)

音声チャンネル
● HDD (XP、SP、LP、EP、FRモードの番組のみ) RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
音声(L/R)を切り換えます。

字幕スタイル
● BD-V ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

アングル※
● BD-V DVD-V アングルを選びます。

※ ディスクに収録されているメニュー画面(➜45)でのみ切り換えできるものもあります。
●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法の設定(再生)

リピート	切
自動CM早送り	切

リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
●繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
- ▶ **番組**　:番組全体
- ▶ **タイトル**　:タイトル全体
- ▶ **チャプター**　:チャプター
- ▶ **プレイリスト**:プレイリスト
- ▶ **全曲**　:ディスク全体
- ▶ **1曲**　:選んだ曲のみ

ランダム(音楽再生時のみ)
●順不同に再生します。
- ▶ 切
- ▶ 入

自動CM早送り
● HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)
CMを自動的に飛ばして再生します。音声が下記の場合に働きます。

番組(タイトル)	CM	番組(タイトル)
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	スキップ	再生

・録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例:上図のCM部分が5分以上の場合など
・以下の場合は働きません。
- DRモードの番組
- DV 入力 /i.LINK(TS)入力から録画した番組
- マルチ音声の番組

〈音声属性〉
LPCM/ Digital/ Digital+/ TrueHD/
DTS-HD MSTR/DTS-HD HI RES/DTS-HD LBR/DTS/
MPEG/AAC:信号タイプ
ch:チャンネル数
k:サンプリング周波数(kHz)
b:ビット数(bit)

〈言語〉

日:日本語	英:英語	仏:フランス語
独:ドイツ語	伊:イタリア語	西:スペイン語
蘭:オランダ語	中:中国語	露:ロシア語
韓:韓国語	＊:その他	

お好みの画質の設定（映像）

画質選択	ノーマル
HDオプティマイザー	入
プログレッシブ	Auto

画質選択

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

再生時の画質を選びます。
映像によっては効果が得られない場合があります。

- ▶ **ノーマル**　：標準
- ▶ **ソフト**　：ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン**　：輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ**　：映画鑑賞向け（DR モードの番組には効果がありません）
- ▶ **ユーザー**　：さらに画質を調整

[▶]で「詳細画質設定」を選び、[**決定**]を押す

- ・**コントラスト**（白黒の強弱）
- ・**ブライトネス**（画面全体の明るさ）
- ・**シャープネス**（鮮やかさ）
- ・**カラー**（色の濃さ）
- ・**ガンマ**（暗くて見えにくい映像の輪郭）

HDオプティマイザー

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ

以下の場合に、プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- ●**初期設定**「D端子出力解像度」(**➜154**)を「D2」にして録画した番組を再生、または DVD-V を再生するとき
- ●**初期設定**「HDMI映像優先モード」(**➜154**)が「切」のとき
- ●プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
  - ▶**Auto（標準）**：フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換
  - ▶**Video**　：Autoでぶれが生じるとき

24ｐ DVD-V

[**初期設定**「24ｐ出力」(**➜154**)が「入」の場合のみ]
24ｐで出力するかしないかを設定します。「入」にすると、より映画らしい動きで再生することができます。

- ●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。
- ●ビデオ素材と一部のフィルム素材では効果がない場合があります。
- ●ディスクを取り出した場合、「切」に戻ります。

お好みの音声効果の設定（音声）

音質効果	切
シネマボイス	切

音質効果

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V CD AVCHD

リ.マスター

（サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ）
デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。
またHDMI端子またはデジタル音声出力端子に接続したアンプなどの機器がサンプリング周波数 88.2 kHz 以上の入力に対応している場合は、復元される高音域がさらに拡張されます。

ナイトサラウンド

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

- ▶**リ.マスター強**
- ▶**リ.マスター標準**
- ▶**ナイトサラウンド**
- ▶**切**

- ●音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- ●再生する内容によっては、効果がない場合があります。
- ●リ．マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。
- ●リ．マスターの設定は HDMI 出力やデジタル音声出力時には、**初期設定**「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(**➜151**)（ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2チャンネルの音声になります）

シネマボイス

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

センターチャンネルを含む３チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2倍に大きくしてセリフを聞き取りやすくします。

番組を編集する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-R DL** **-RW**

[ファイナライズしたディスクやハイビジョン動画(AVCHD)が記録されたディスクでは編集できません]

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- **[ドライブ切換]** を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ。

1 を押す

2 番組を選び、[緑]を押す

- **[サブ メニュー]** を押して、「番組編集」を選んでもできます。

例) **HDD**

複数の番組を選択するには
(「プロテクト設定 / 解除」「マイラベル設定」のみ可能)
番組を選び、**[青]** を押す操作を繰り返す
- ☑が表示されます。
もう一度 **[青]** を押すと解除されます。

3 項目を選び、[決定]を押す(➔右記へ)

例) **HDD**

番組名を付ける / 変更する

番組名編集

誤消去防止の設定 / 解除

プロテクト設定 / 解除

- **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** ではできません

番組の不要な部分の消去

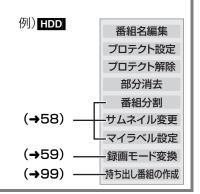
部分消去

- **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** ではできません

前の画面に戻るには

を押す

画面を消すには

を押す

お知らせ

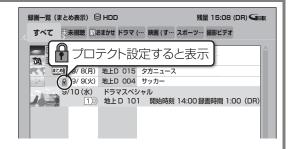
- 「録画モード変換」(**➔59**)が設定されている番組は、「番組分割」「持ち出し番組の作成」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「録画モード変換」はできません。「持ち出し番組の作成」(**➔99**)の設定を取り消すと実行できます。
- ダウンロードした番組(**➔96**)は、「プロテクト設定/解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。
- 他の機器で作成したプレイリストがある場合、その元になる番組を編集すると、プレイリストは変更されます。
- **初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(**➔152**)が「入」の場合、録画一覧画面を表示中に、約10分以上本機の操作を何も行わなかったときは、録画一覧画面は消えます。
- **BD-R** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-R DL(AVCREC)** **-R DL(VR)** 編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、そのあとにダビングすることをおすすめします。

文字入力については(➜116)

- 新 の表示がある番組は変更できません。
- 番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。
- まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

大切な記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

- プロテクト設定しても、持ち出し番組はプロテクト設定されません。

部分消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。部分消去してよいか確認してから行ってください。

4 再生▶ を押して、再生を始める

5「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で 決定 を押す

6 再生▶ を押して、再生を始める

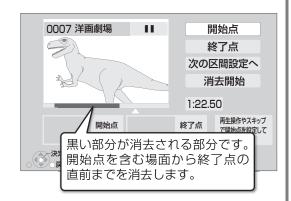
7「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で 決定 を押す

8 続けて別の不要な部分を設定する場合 (20区間まで設定できます)
「次の区間設定へ」を選び、決定 を押す(➜手順５へ)

- 「次の区間設定へ」を選ぶと、すでに設定した区間の変更はできなくなります。

9「消去開始」を選び、決定 を押す

10「実行」を選び、決定 を押す

- 部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。
- 部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。

※編集したい場面をうまく選ぶために

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜50、51)を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で [一時停止❚❚] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

番組を編集する（つづき）

番組を2つに分割

番組分割

● -R(V) -R DL(V) -RW(V) ではできません

56 ページ手順 1 ～3で「番組分割」を選んだあとに操作します。

4 「分割」を選び、分割する場面※で 決定 を押す

分割する場面を確認するには

「プレビュー」を選び、[決定] を押す

・分割する場面の前後10秒間が再生されます。

分割する場面を選び直すには

① 「分割」を選び、[再生 ▶] を押して再生を始める

② 分割する場面で、[決定] を押す

0007 洋画劇場 再生▶
分割
プレビュー
終了
0:00.00
分割点
--:--.--
決定
戻る

5 「終了」を選び、決定 を押す

6 「分割」を選び、決定 を押す

●分割した番組は、まとめ 番組になります。

●分割すると、持ち出し番組は消去されます。

●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」で確認のうえ、実行してください。

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）の変更

サムネイル変更

HDD -R(V) -R DL(V) -RW(V)

-R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後のトップメニュー画面で表示される画像を変更することができます。(➜115)

56 ページ手順 1 ～3で「サムネイル変更」を選んだあとに操作します。

4 再生▶ を押して、再生を始める

5 「変更」を選び、お好みの場面※で 決定 を押す

場面を選び直すには

① 「変更」を選び、[再生 ▶] を押して再生を始める

② お好みの場面で、[決定] を押す

6 「終了」を選び、決定 を押す

番組をお好みのマイラベルに分類

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。

56ページ手順1～3で「マイラベル設定」を選んだあとに操作します。

4 [▲][▼] でラベルを選び、決定 を押す

5 [◀][▶] で「マイラベル設定」を選び、決定 を押す

●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。

●マイラベル名は変更することができます。(➜48「分類ラベル設定」)

マイラベル設定
番組に設定するマイラベルを選択してください。
現在の設定 なし
ラベル1
ラベル2
ラベル3
ラベル4
ラベル5
ラベル6
設定解除
決定
戻る

マイラベル設定を解除するには

① 手順４で [▲][▼] で「設定解除」を選び、[決定] を押す

② [◀][▶] で「設定解除」を選び、[決定] を押す

※編集したい場面をうまく選ぶために

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜50、51)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [一時停止❚❚] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

録画モードの変換

録画モード変換

HDD

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

録画モードを変換すると、HDDの容量をおさえることができます。

(録画モードと記録時間の目安 ➜41)

- 変換前の録画モードより高画質な録画モードを選ぶことはできません。
- 録画モードがEP、FRモードの番組やHDDに取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)、録画モードのない番組では変換できません。

56 ページ手順 1 ～3で「録画モード変換」を選んだあとに操作します。

4 [◄][►] で録画モードを選ぶ

5 [▼]で「開始方法」を選び、[◄][►]で開始方法を設定する

- **すぐに**　:「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- **電源 [切] 後**　:電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

録画モード変換
選択された番組の録画モードを変換します。
録画モード ◄ HX ►
開始方法 電源〔切〕後
確定 キャンセル
戻る

6 [▲][▼][◄][►]で「確定」を選び、決定を押す

7 「すぐに」変換を開始する場合:

[◄][►]で「開始」を選び、決定を押す

変換を実行中に中止するには

[戻る]を3秒以上押す

「電源 [切] 後」変換を開始する場合:

決定を押す

変換の設定内容を変更・取り消しするには

① 56 ページ手順3で「録画モード変換」を選ぶ
② [◄][►] で「設定変更」または「設定取消」を選び、[決定] を押す
・**設定変更**:設定を変更します。(➜手順 4 へ)
・**設定取消**:設定を取り消します。

録画モード変換が終了しているか確認するには

お知らせ

- HDDの残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- 複数の映像や音声などを含むDRモードの番組を変換する場合、変換後の映像や音声は 1 つだけになります。記録する映像や音声を選んで変換したい場合、以下のようにしてください。
  ① 番組を再生し、**再生設定**「信号切換」(**➜54**)で変換したい音声などを選ぶ
  ② 番組の再生を停止する
  ③ 上記手順 5 で、「すぐに」を選び、変換を開始する

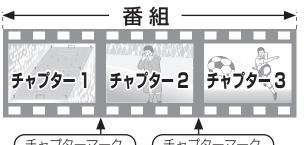
  「電源 [切] 後」を選んで変換する場合、電源「切」時の**再生設定**「信号切換」の設定で変換を実行します。

チャプターの作成・再生・編集

HDD [ダウンロードした番組(➜96)ではできません]

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

(ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)

チャプターとは:チャプターマークで区切られた区間のことです。
番組のお気に入りの場面などにチャプターマークを作成すると、スキップ(➜50)したときに、その場面に飛ぶことができます。

チャプターマークで区切られた区間がチャプターになります。

最大チャプターマーク数
(記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む)

HDD :1 番組あたり約 999 個

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR) :ディスクあたり約 999 個

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) :1 番組あたり約 100 個

チャプターの自動作成について

- **初期設定**「自動チャプター」(➜150)を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。2 番組同時録画中でも 2 番組両方に作成します。(W オートチャプター)
  ただし、CATV デジタル放送の録画では、番組によっては作成されない場合があります。
- 自動 CM 早送り(➜54)が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。(1 番組あたり最大 98 個)
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- HDD 作成されたチャプターマークは、ダビングしても保持されます。ただし、最大チャプターマーク数を超えると、超えた分は保持されません。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で
チャプターマーク(ふた内部)を押す

削除

一時停止中に

1 スキップ ⏮ ⏭(ふた内部)を押して、削除したい場面に飛ぶ

2 チャプターマーク(ふた内部)を押す

3 [◀][▶]で「はい」を選び、決定を押す

削除すると

前後のチャプターが結合されます。

お知らせ

- BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) 作成や削除を何度も繰り返すと、ディスクに記録や編集ができなくなる場合があります。

チャプターを再生・編集する

1 **を押す**

2 番組を選び、サブメニュー S を押す

3 「チャプター一覧へ」を選び、決定を押す

4 作成する：
緑 を押す
(➜右記「チャプターマークの作成」へ)

再生する：
チャプターを選び、決定を押す

編集する：
チャプターを選び、サブメニュー S を押す
(➜ 手順５へ)

複数のチャプターを選択するには
(「チャプター消去」のみ可能)
チャプターを選び、[青] を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。
もう一度 [青] を押すと解除されます。

5 編集する項目を選び、決定を押す
(➜右記へ)

チャプター消去
チャプター結合

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

チャプターマークの作成

「チャプター一覧」からチャプターマークの作成をすることができます。

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で
チャプターマーク (ふた内部)を押す

●[決定] を押しても作成できます。

削除するには
① 一時停止中に [|◀◀] [▶▶|] (ふた内部)を押して、削除したい場面を選ぶ
② [チャプターマーク] (ふた内部) を押す
([決定] を押しても削除できます)
③ 「はい」を選び、[決定] を押す

チャプター部分の消去

チャプター消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。

元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから実行してください。

「消去」を選び、決定を押す

チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
●持ち出し番組が作成されていた場合、消去されます。

チャプターの結合
(チャプターマークの削除)

チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。
番組の録画内容が消去されることはありません。

前後のチャプターが結合されます。

「結合」を選び、決定を押す

編集
チャプターの作成・再生・編集

番組を消去する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

消去すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）
- ディスクの番組を消去する場合は、ディスクを入れる。

消去後のディスクの残量について

- HDD BD-RE RAM -RW(VR)
  消去すると、消去した分、残量が増えます。
- -RW(V)
  最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

消去しても残量は増えません ／ 消去すると残量が増えます

- BD-R -R -R DL
  消去しても残量は増えません。

- HDD 消去すると、持ち出し番組も消去されます。[ダウンロードした番組（➔96）を除く]

1 [ドライブ切換] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

- 本体表示窓の表示を確認してください。
- DVD の場合は、「BD」を選んでください。

2 [録画一覧] を押す

例）HDD

3

1 番組のみ消去する場合：

番組を選び、[黄] を押す

複数の番組を消去する場合：

1 番組を選び、[青] を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

2 [黄] を押す

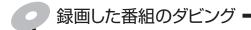
- [消去]（ふた内部）を押す、または [サブ メニュー] を押して「番組消去」を選んでも消去できます。

4 「消去」を選び、[決定] を押す

番組のダビングについて

本機には複数のダビング方法があります。
ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を行ってください。

録画した番組のダビング

 から   へ

- 難しい設定なしに、番組をダビングしたい
  ･･･ **かんたんダビング（➜64）**
- お好みの設定でダビングしたい
  ･･･ **詳細ダビング（➜68）**
- 再生中の番組をダビングしたい
  ･･･ **再生中番組の保存（➜72）**

   から へ

詳細ダビング（➜68）

撮影した動画のダビング

(MPEG2)
から
(VR方式)
へ

ビデオ（MPEG2）取込（➜71）

(AVCHD)
から
(AVCREC方式)
へ

撮影ビデオ（AVCHD）を取込（➜82）

本機で作成した持ち出し番組を転送するには（➜100）

デジタル放送のダビングについて

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられています。
本機ではそのような番組には、10 ～ 1 マークがついています。

10 ～ 1 マークの番組をディスクへダビングするには…

ブルーレイディスクの場合:
市販のディスクなら
お使いいただけます。

DVDの場合:
パッケージに CPRM対応 の記載のあるディスクを準備してください。
（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

CPRMとは?
デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術のことです。

- 番組をディスクにダビングしても、持ち出し番組は転送されません。

10 ～ 1 マークの番組をディスクへダビングすると…

10 ～ 1 の数字はダビングできる残り回数を表しています。

1 の番組をダビングすると
HDDから消去されます。
- 持ち出し番組も消去されます。

お知らせ

- **ダビング中の番組の視聴について**
  ・1倍速でダビング中は、番組の視聴はできません。ダビング中に番組を視聴したい場合は、高速でファイナライズを行わないダビングをしてください。

番組をダビングする

かんたんダビング

HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

HDDにある番組をディスクにダビングします。

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

ダビングを中止するには

戻る を3秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。

ダビング中にテレビの視聴やHDDの録画・再生をするには

（高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ）

決定 を押したあと、視聴や録画·再生の操作をする

●[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

●「ダビング終了後自動電源[切]」が設定されている場合、設定を解除します。

お知らせ

●1回にダビングできる番組は99番組までです。（まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が99番組を超えると、ダビングできません）

●プロテクト設定(➜56)されている 1 の番組はダビングできません。

●-RW(VR) ファイナライズ後のディスクでも、自動的に「ファイナライズ解除」(➜115)を行ってダビングします。

●視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」(➜67)を行うと、表示されるようになります。

必要に応じて

●ダビング速度について ➜74

1 ディスクを入れる

2 「かんたんダビング」を選び、決定を押す

●RAM -R -R DL 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
画質を選び、[決定]を押してください。

3 番組を選び、決定を押す

選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

例）ダビング先の容量が不足しています。
番組 1 の選択を取り消す
画質を自動調整して容量を変更
自動調整された番組は1倍速ダビングになります。

[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す

●**番組□の選択を取り消す:**
番組の選択を取り消します。(➜ 手順 3 へ)

●**画質を自動調整して容量を変更:**
·ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。
·ダビング速度は1倍速になります。
·自動調整を行っても、ディスクの容量が不足する場合はダビングできません。
また、ダビングする番組によっては画質の自動調整はできない場合があります。

4 「番組選択完了」を選び、(決定)を押す

例）

手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示

手順3で☑表示のある番組を選んだときのみ表示

☞ **他の番組も選択する場合：**
「続けて他の番組を選択する」を選び、[決定] を押す
(➜ 手順３へ)
- 手順３で [青] を押しても、他の番組を選択することができます。

☞ **まとめ 番組内の番組を選択する場合：**
「まとめ番組内を選択する」を選び、[決定] を押す
(➜ 手順３へ)

☞ **番組の選択を取り消す場合：**
「この選択を取り消す」を選び、[決定] を押す
(➜ 手順３へ)
- 手順３で [青] を押しても、選択を取り消すことができます。

5 「ダビング開始」を選び、(決定)を押す

- ダビング終了後に自動で電源を切ったり、ファイナライズを行う設定をする場合、「オプション設定変更」を選び、[決定]を押してください。(➜67)

6 「はい」を選び、(決定)を押す

- 新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。
またDVDの場合、ダビング番組に応じて、記録方式が自動的に設定されます。
(➜66「未フォーマットのディスクの自動フォーマット」)

ダビングする画質について

HD 表示のある番組：
- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)
- 以下のディスクには標準画質でのダビングになります。
RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW

HD 表示のない番組：
- ディスクにかかわらず標準画質でのダビングになります。
RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはダビングできません。

かんたんダビングの画面の見かた

選択中の番組数

- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

表示マーク (➜178)

ディスク容量を表示

ディスクの記録済みの容量と選択中番組の容量の合計

ディスクの空き容量

ダビング先のディスク／ディスクの空き容量

ダビング

番組をダビングする

番組をダビングする（つづき）

かんたんダビング（つづき）

未フォーマットのディスクの自動フォーマット（記録方式の設定）

未フォーマットのディスクは自動的にフォーマットします。
また DVDの場合、以下のように記録方式を設定します。

ダビングする画質	ダビングする番組とディスク		設定される記録方式
標準画質	●-R -R DL -RW にダビングするとき、ダビングするすべての番組に 10 〜 1 が表示されていない	➡	ビデオ方式
	●ダビングする番組に 10 〜 1 が表示されている番組を 1 つでも含んでいる	➡	VR 方式
ハイビジョン画質		➡	AVCREC 方式

ダビング時の動作

ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。
高速ダビング時の録画モードは、ダビングする番組と同じです。

HD 表示のある番組が、DR や HG、HX、HE、HL、HM モードで記録したハイビジョン番組です。

ダビングする番組	ダビング先ディスク	ダビング時の動作
HD 表示のある番組	BD	**高速**
	DVD (AVCREC 方式)	**高速** ●DR モードの番組は、HG モードで 1 倍速ダビング
	DVD (VR 方式、ビデオ方式※)	**1 倍速** ●XP モードでダビング
HD 表示のない番組	BD	**1 倍速** ●MPEG2 動画や録画モードのない番組は、SP モードでダビング ●FR モードの番組は、録画された画質に近い録画モードでダビング
	DVD (AVCREC 方式)	ダビングできません
	DVD (VR 方式、ビデオ方式)	**高速** ●ビデオ方式の場合 ・「高速ダビング用録画」を「切」で HDD へ録画した番組は 1 倍速ダビング ・MPEG2 動画や録画モードのない番組は、SP モードで 1 倍速ダビング ・FR モードの番組は、録画された画質に近い録画モードでダビング

※ -R(V) -R DL(V) -RW(V) HDDに取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）やコピー制御信号が加えられていない（ 10 〜 1 表示のない）番組のみダビングできます。

ダビングの便利な機能

番組の内容や並び替えなど

かんたんダビング

詳細ダビング

かんたんダビング画面(➜64 手順 3)上または詳細ダビングのリスト作成画面(➜68 手順 4)上で

1 [▲][▼]で番組を選び、サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定)を押す(➜ 下記へ)

項目	説明
内容確認	●選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを表示します。 (詳細ダビングの場合、番組に☑が付いているときはできません)
画質変更 かんたんダビング	☑が付いている番組のダビングする画質を変更することができます。変更すると1倍速ダビングになります。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定 かんたんダビング	**[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する** ●ダビング終了後自動電源[切]:ダビング終了後に電源を切るかどうかの設定をします。 ●ダビング終了後自動ファイナライズ: -R(AVCREC) -R(V) -R DL(AVCREC) -R DL(V) -RW(V) ダビング終了時に、ファイナライズを行うかどうかの設定をします。再生専用になり、記録や編集はできなくなります。
視聴制限一時解除	●「制限項目設定」(➜147)で設定された視聴制限を解除します。画面の指示に従って暗証番号(4 けた)を入力してください。 表示されていない視聴制限のある番組を表示します。 (番組に☑が付いているときはできません)
並び替え HDD ●全番組表示時のみ	●表示順を変更します。(番組に☑が付いているときはできません) ●かんたんダビングでは、画面を消すと取り消されます。 ●詳細ダビングでは、画面を消すか、リスト登録画面の「リスト作成」に戻ると取り消されます。
まとめ表示へ 全番組表示へ HDD	●まとめ表示と全番組表示を切り換えます。 (番組に☑が付いているときはできません)

リスト登録時の便利機能

詳細ダビング

項目	説明
登録されたリストや設定を一度に取り消す すべて取消し	詳細ダビング画面上で ① **[▲][▼][◀][▶]で「すべて取消し」を選び、[決定]を押す** ② **[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す** ●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。 ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをしたとき ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、SDカードを取り出したとき
リスト項目の入れ替え	リスト登録画面上で ① **[▲][▼]で番組や写真を選び、[決定]を押す** ② **[▲][▼]([◀][▶])で新たに登録したい番組や写真を選び、[決定]を押す**

リスト登録画面上で

1 [▲][▼]で番組や写真を選び、

サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定)を押す

(➜ 下記へ)

項目	説明
リスト全消去	リストに登録されている番組や写真をすべて消去します。
追加	選んだ項目の上に新しい項目を追加します。 **[▲][▼]([◀][▶])で追加する番組や写真を選び、[決定]を押してください。**
消去	選んだ項目を消去します。
移動	選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。 **[▲][▼]で移動先を選び、[決定]を押してください。**(「写真」ではできません)

番組をダビングする(つづき)

詳細ダビング

ダビング方向:

HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR) ➡ HDD

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
●ダビング可能なディスクを入れる。
●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜112)(デジタル放送をDVDにダビングする場合、VR方式またはAVCREC方式にフォーマットしてください)

1 操作一覧 **を押す**

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

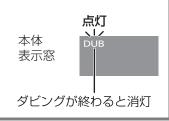
3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶]を押す(➜右記へ)

1 ダビング方向 HDD → BD/DVD
2 素材・モード ビデオ 高速
3 リスト作成 0
4 詳細設定

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

●ダビング終了後、約5分以上本機の操作を何も行わなかったときは、本機の電源が切れます。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビング中にテレビの視聴や再生、HDD の録画をするには
(高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ)

決定 を押したあと、視聴や再生、HDDの録画の操作をする
●[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

例)

チャンネルが表示されたら録画や再生ができます。

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す
●ファイナライズ中は中止できません。
(➜73「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?」)

何から何にダビング?

1 ダビング方向

ダビング素材の設定/録画モードの設定

2 素材・モード

●録画モードについて(➜40)

ダビングする番組を選ぶ

3 リスト作成

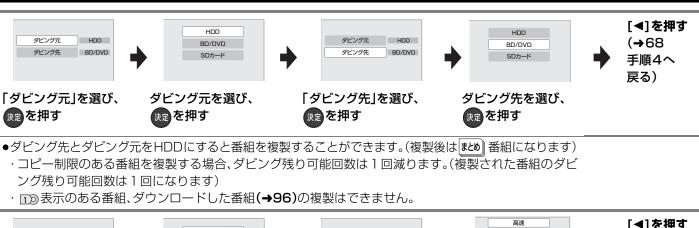
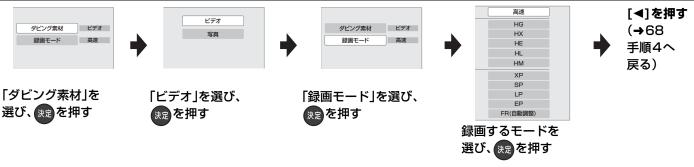
ファイナライズ

4 詳細設定

(-R(AVCREC) -R(V) -R DL(AVCREC) -R DL(V) -RW(V) へダビングするときのみ)

「ダビング元」を選び、決定を押す → ダビング元を選び、決定を押す → 「ダビング先」を選び、決定を押す → ダビング先を選び、決定を押す → [◀]を押す（➜68 手順4へ戻る）

●ダビング先とダビング元をHDDにすると番組を複製することができます。（複製後は まとめ 番組になります）
・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は１回減ります。（複製された番組のダビング残り可能回数は１回になります）
・1 表示のある番組、ダウンロードした番組（➜96）の複製はできません。

「ダビング素材」を選び、決定を押す → 「ビデオ」を選び、決定を押す → 「録画モード」を選び、決定を押す → 録画するモードを選び、決定を押す → [◀]を押す（➜68 手順4へ戻る）

●ディスクによって選べる録画モードは異なります。
（➜73「高速でダビングできない場合は？」）

表示マーク（➜178）

「新規登録」を選び、決定を押す → 番組を選び、青を押す → [◀]を押す（➜68 手順4へ戻る）

●☑が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
●挿入されているディスクにダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには
番組を選び、[青]を押す

すべてを選んだあと、決定を押す

ダビングの便利な機能（➜67）

●高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
●高速モードで -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合、▶▶◎ 表示のある番組のみ登録できます。
● RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。

「ファイナライズ」を選び、決定を押す → 「入」または「切」を選び、決定を押す → [◀]を押す（➜68 手順4へ戻る）

●「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ（➜179）を行います。記録や編集をすることはできなくなります。
●VR 方式のディスクでは、「詳細設定」は表示されません。

お知らせ

●**ダビングリスト容量について**（ダビング先に記録される容量）
・１倍速の場合は、録画モードによって変化します。
・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
●当社製DVDビデオカメラで撮影した映像をHDDにダビングすると、撮影した日付単位で１番組になります。
●１倍速でダビングを開始すると、約２分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。
●視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」（➜67）を行うと、表示されるようになります。

番組をダビングする(つづき)

ファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。
一度 HDD にディスク内容をダビングすれば編集することができます。

ダビング方向: DVD-V (ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V)、+R、+ R DL、+RW) ➡ HDD

トップメニュー画面の操作もそのまま記録されます。

ダビング中、不要な番組などはスキップ(➔50)で飛び越すことができます。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- ディスクを入れる。

お知らせ
- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- ダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

前の画面に戻るには

 戻る を押す

ダビングを実行中に中止 / 終了するには

 戻る を3秒以上押す

1 操作一覧 **を押す**

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶]を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」(➔68)をご覧ください。

1 ダビング方向 BD/DVD → HDD
2 素材・モード DVD-Video XP
3 ダビング時間 切

以下のように設定してください。
・**「ダビング方向」**:「ダビング元」➔「BD/DVD」
・**「素材・モード」**:「ダビング素材」➔「DVD-Video」
:「録画モード」を選ぶ
(「高速」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「FR」は選べません)
・**「ダビング時間」**:ダビング時間を設定する(➔71)

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

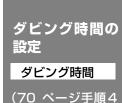
終了するまでが1番組になります。
(8時間を超える場合は、8時間ごとに1番組になります)

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

トップメニューが表示された場合は
番組を選び、[決定] を押す

好みの番組を再生するには
① [録画一覧] を押す
② 番組を選び、[決定] を押す

ディスクの再生が始まらない場合は
① [再生 ▶] を押す
② (トップメニューが表示されたら)
番組を選び、[決定] を押す

ダビング時間の設定 ダビング時間 (70 ページ手順4のあと)	「時間設定」を選び、決定を押す → 「入」または「切」を選び、決定を押す → 左記で「入」を選んだときは、「録画時間」を選び、決定を押す → "時間"または"分"を選び[▲][▼]で設定し、決定を押す
	●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。 **「時間設定」を「切」にしたときは** ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

SDカードのMPEG2動画をダビングする

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を SD カードからダビングできます。

ダビング方向：SD (MPEG2) ➡ HDD RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- DVDにダビングする場合、DVDを入れる。
- DVDにダビングするには、フォーマットをして記録方式を VR 方式にしてください。(➜112)

お知らせ

- ダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。
- SDカードにあるMPEG2動画をそのまま本機で再生することはできません。
- ダビング中は、録画や再生はできません。
- SDカードのMPEG2動画はBDには直接ダビングできません。いったんHDDにダビングしてから、BDにダビングしてください。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

(➜73「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」)

1 SD カードを入れる

2 「ビデオ(MPEG2)取込」を選び、決定を押す

3 項目を選び、[▶]を押す

●操作方法は「詳細ダビング」(➜68)をご覧ください。

以下のように設定されているかご確認ください。

- **「ダビング方向」**：「ダビング元」➜「SDカード」
- **「素材・モード」**：「ダビング素材」➜「ビデオ」
- 録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。

●SDカード内にあるMPEG2動画は、自動的にダビングリストへ登録されます。

4 「ダビング開始」を選び、決定を押す

5 「はい」を選び、決定を押す

番組をダビングする（つづき）

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中に、その番組だけをディスクへダビングすることができます。
●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。
ダビング方向: HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

準備
●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）
●ダビング可能なディスクを入れる。
●フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜112)（デジタル放送をDVDにダビングする場合、VR 方式またはAVCREC方式にフォーマットしてください）

●1倍速でダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

ダビング中にテレビの視聴や HDDの録画・再生をするには（高速ダビング時のみ）

決定を押したあと、視聴や録画･再生の操作をする
●[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

☞ **ダビングを実行中に中止するには**

戻る を3秒以上押す
(➜73「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」)

基本操作 ①選び ②決定する

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の映像や音声、字幕情報を含んでいる DRモードの番組を BD-RE BD-R 以外にダビングする場合、**再生設定**「信号切換」(➜54)でダビングする音声などを選んでからダビングしてください。

2 サブメニュー S を押す

●ビエラリンク (HDMI)(➜106)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

3 「再生中番組の 保存」を選び、決定を押す

4 「保存開始」を選び、決定を押す

●ダビング終了後、約５分以上本機の操作を何も行わなかったときは、本機の電源が切れます。

本体表示窓 点灯 DUB ダビングが終わると消灯

再生中番組の保存時の動作

ダビングする番組	ダビング先ディスク	ダビング時の動作
DR、HG、HX、HE、HL、HM モードの番組	BD	**高速** ●ディスク容量を超えてダビングする場合、残量に合わせてHG、HX、HE、HL、HMモードで１倍速ダビング
	DVD (AVCREC 方式)	**高速** ●DR モードの番組の場合、残量に合わせて HG、HX、HE、HL、HM モードで１倍速ダビング
	DVD (VR 方式、ビデオ方式※)	**１倍速** ●FR モードでダビング
XP、SP、LP、EP、FR モードの番組	BD	**１倍速** ●再生中番組の録画モードでダビング ●ディスク容量を超えてダビングする場合、FR モードでダビング
	DVD (AVCREC 方式)	ダビングできません
	DVD (VR 方式、ビデオ方式)	**高速** ●ビデオ方式の場合、「高速ダビング用録画」を「切」でHDDへ録画した番組は１倍速（再生中番組の録画モード）でダビング ●ディスク容量を超えてダビングする場合、FRモードで１倍速ダビング

※ -R(V) -R DL(V) -RW(V) HDDに取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）やコピー制御信号が加えられていない（10～1表示のない）番組のみダビングできます。

ダビングに関する質問

Q(質問)	A(回答)
ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?	例)番組A･B･Cの順にダビングして番組Cの途中で中止した場合 番組 A ダビング完了 / 番組 B ダビング完了 / 番組 C 中止 高速 番組A･Bのみダビングされます。番組 C はダビングされません。 1 倍速 番組A･Bと番組Cの途中までがダビングされます。 ただし ●HDDからディスクへのダビングで、番組Cがコピー制限のある番組 ･番組Cはダビングされず、HDDに残ります。 ●HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビング ･HDDに一時的に複製中: 番組A･B･Cはダビングされません。 ･DVDに高速ダビング中: 番組 C はダビングされません。 BD-R -R -R DL 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。
複数の番組をダビングしたあと、再生するには?	[**録画一覧**] を押して番組を選んで再生してください。
ディスクに高速でダビングしたいときは?	●デジタル放送は、以下のようにダビングすると高速ダビングすることができます。 ･DR モードの番組: BD-RE BD-R にダビング ･HG、HX、HE、HL、HMモードの番組: BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にダビング ･XP、SP、LP、EP、FRモードの番組 : RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビング
高速でダビングできない場合は?	**以下の場合、1 倍速でのダビングになります。** ●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」モード以外の番組を BD-RE BD-R にダビング時 ●DR モードの番組を DVD にダビング時 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) に以下のダビング時 ･**初期設定**「高速ダビング用録画」(**➜150**)を「切」にして、HDDに記録した番組を含むダビング ･HDD内のSDカードからダビングした MPEG2動画 ●詳細ダビングで「録画モード」を「高速」以外にする ● RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW (AVCREC方式以外の DVD)に以下の番組をダビング時 ･HG、HX、HE、HL、HMモードの番組 ･HDDに取り込んだハイビジョン動画(AVCHD) ● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) DVD-V からHDDにダビング時 ●ディスクに取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)をHDDにダビング時 ●ディスクの記録容量を超えてダビングするとき
高速ダビング時の動作音が気になる場合は?	高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、**初期設定**「DVDの高速ダビング速度」(**➜150**)を「高速モード」または「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。
-R(V) -R DL(V) -RW(V) に 1 倍速でダビングする場合は?	1倍速で番組をHDDに一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製したHDDの番組は消去されます。 以下の場合、ダビングできません。HDD の不要な番組を消去(**➜62**)してからダビングしてください。 ●HDDの残量が少ないとき(使用するディスクによっては、HDDの残量がSPモードで最大4時間必要な場合があります) ●HDD 内の番組数とダビングする番組数の合計が 3000 を超えるとき

ダビング速度について

本機では、ダビングする番組、ディスク、設定によって、高速でダビングできる場合と１倍速でのダビングになる場合があります。

	高速ダビング	１倍速ダビング
特徴	ダビングする番組の記録時間よりも短い時間で、画質(録画モード)を変えずにダビングします。	ダビングする番組の記録時間と同じ時間、またはそれ以上の時間をかけてダビングします。 ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。
「サムネイル変更」の保持	○	○
「チャプターマーク」の保持	○※1	○※1
ダビング中の録画・再生	○(HDD の番組のみ)※2	×

※１ チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数(ディスクあたり:約 999 個 / １番組あたり: -R(V) -R DL(V) -RW(V) 99個、BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 100個)を超えると、超えた分は保持されません。

※２ ファイナライズを含むダビング中、SDカードのMPEG2動画をダビング中、撮影ビデオ(AVCHD)の取込中はできません。
・追っかけ再生などはできません。
・写真の再生はできません。

高速でのダビング所要時間の目安(最高速時/JEITA測定基準によるダビング時間と倍速表示値を示す)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	2X高速記録対応 BD-RE(片面2層) 所要時間	倍速	2X高速記録対応 BD-RE(1層) 所要時間	倍速	6X高速記録対応 BD-R(片面2層) 所要時間	倍速	6X高速記録対応 BD-R(1層) 所要時間	倍速
DR※	1時間	約15分	約4倍	約15分	約4倍	約5分20秒	約11倍	約5分20秒	約11倍
HG		約12分	約5倍	約12分	約5倍	約4分	約15倍	約4分	約15倍
HX		約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍	約2分43秒	約22倍	約2分43秒	約22倍
HE		約5分	約12倍	約5分	約12倍	約1分49秒	約33倍	約1分49秒	約33倍
HL		約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍	約1分24秒	約43倍	約1分24秒	約43倍
HM		約3分	約20倍	約3分	約20倍	約1分	約60倍	約1分	約60倍

※ 地上デジタル(約17 Mbps)の場合

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応 DVD-RAM 所要時間	倍速	16X高速記録対応 DVD-R 所要時間	倍速	8X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層) 所要時間	倍速	6X高速記録対応 DVD-RW 所要時間	倍速
HG	1時間	約14分	約4倍	約8分30秒	約7倍	約18分30秒	約3倍	—	—
HX		約10分	約6倍	約6分	約10倍	約12分	約5倍	—	—
HE		約6分40秒	約9倍	約3分20秒	約18倍	約8分35秒	約7倍	—	—
HL		約5分	約12倍	約2分20秒	約25倍	約6分30秒	約9倍	—	—
HM		約4分	約15倍	約2分	約30倍	約5分	約12倍	—	—
XP		約12分	約5倍	約6分	約10倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍
SP		約6分	約10倍	約3分	約20倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍
LP		約3分	約20倍	約1分30秒	約40倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍
EP(6時間)		約2分	約30倍	約1分	約60倍	約2分30秒	約24倍	約2分30秒	約24倍
EP(8時間)		約1分30秒	約40倍	約45秒	約80倍	約1分53秒	約32倍	約1分53秒	約32倍

- HDDに録画した１時間番組を、表に記載の高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合の最速値です。
  ディスクの書き込み位置や特性などの条件により時間や速度が変わります。
- ディスクの倍速表示にかかわらず、DVD-R は最大 12X、DVD-R DL は最大 4X、DVD-RWは最大4X にしかなりません。
- HGモードでは、4.7 GB の RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ最大約 42 分までしか記録できません。上記は、比較のため算出したものです。
- ダビング中にHDDの録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

デジタル放送を記録したDVDを他の機器で再生するには?

著作権保護のため、デジタル放送を記録するには、記録するディスクや記録方式などに条件があります。
そのため、そのディスクもすべての機器で再生できるわけではありません。
お使いの機器が以下の①～③に対応しているかご確認ください。

再生機器

① 記録したディスクの再生に対応していますか?

に対応している必要があります。

② 記録したディスクの記録方式の再生に対応していますか?

それぞれのディスクの

VR方式　AVCREC方式 に対応している必要があります。
（-RWは除く）

③ CPRM(デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術)
に対応していますか?

CPRMに対応している必要があります。

例えば

DVD-RのVR方式の再生に対応している必要があります。

- 機器によっては、DVD-Rの再生には対応していても VR方式の再生には対応していない場合があります。 その場合は、再生できません。

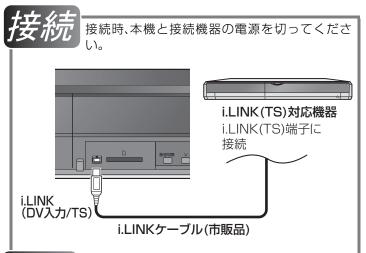
- 再生する機器が対応しているかは、その機器の説明書をご覧ください。
- -R(VR) 2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーで再生できます。（2009年10月現在）
  当社製のDVDプレーヤーなどでは、以下の機器で再生できます。（2009年10月現在）
  DVD-S50/DVD-LX87/DVD-LX88/DVD-LX89/DVD-LX97/DVD-LS80/DVD-LS81/DVD-LS83/DVD-LS91/NV-VP70/DMP-BV100/DMP-BD60
- RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 以下の当社製機器で再生できます。（2009年10月現在）
  DMP-BV100/DMP-BD60

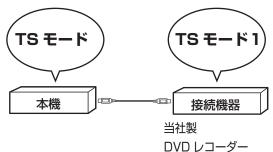
i.LINK(TS)対応機器との間でダビングする

HDDに録画モード「DR」で録画した番組を、ハイビジョン画質のままダビングすることや、接続した機器からHDDへダビングすることができます。
●本機は、i.LINK(TS)に対応した当社製のDVDレコーダー、ブルーレイディスクレコーダー、D-VHSビデオカセットレコーダー、HDDビデオレコーダーとの動作のみ保証しています。(2009 年 10 月現在)

接続

接続時、本機と接続機器の電源を切ってください。

設定

① **初期設定**「i.LINK機器モード設定」を設定する(➜154)
・「TSモード」に設定してください。

② 接続機器側のi.LINK(TS)の設定をする
・当社製 DVD レコーダーやブルーレイディスクレコーダーと接続する場合、接続機器側の設定を「TSモード 1」にしてください。

当社製
DVD レコーダー
ブルーレイディスクレコーダー

●HDDビデオレコーダーには、DISCモードとD-VHSモードの切り換え機能がある場合があります。本機で操作する場合は D-VHS モードにしてください。詳しくは、HDDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

●i.LINK(TS)経由で本機に接続できる i.LINK(TS)機器は、1台のみです。

D-VHS ビデオなどから本機へダビングする
● HDD にダビングできます

ダビングできる機器:
・D-VHS ビデオ
・HDD ビデオレコーダーなど

お知らせ

●S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
S400 に準拠していない i.LINK ケーブルでは動作しません。
●ダビング中に、本機や接続した機器を操作すると中止する場合があります。
●i.LINK(TS)入力から録画モード「DR」以外で録画した場合、ステレオ音声になります。
●本機の入力が「i.LINK(TS)」のときは、操作一覧を表示できません。操作一覧を表示する場合は、[**入力切換**](ふた内部)を押して「i.LINK(TS)」以外を選んでから [**操作一覧**] を押してください。

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 接続した i.LINK(TS)機器の電源を入れる

2 「開始」を選び、決定を押す

●ダビング元になる側で操作します。

i.LINK(TS)機器の接続
i.LINK(TS)機器が接続されました。 i.LINK(TS)機器へのダビングを行いますか?
開始 / キャンセル

下記操作で開始することもできます。

① [操作一覧]を押す
② 「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す
③ 「i.LINK(TS) ダビング」を選び、[決定]を押す(➜ 手順3へ)

3 番組を選び、青を押す

●☑が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青]を押す

4 すべてを選んだあと、決定を押す

5 「ダビング開始」を選び、決定を押す

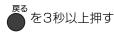
●ダビングは、1 倍速になります。

● **1 の表示がある番組はダビングすると、HDDから消去されます。**
● 10 〜 1 の表示がある番組は、ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
●ダビング中は、録画、再生または予約録画の実行はできません。
●D-VHSビデオは、テープの終端になると、ダビングは中止されます。
●接続した機器が、録画や再生中や確認画面が表示されているときはダビングできません。
●ダビング中のみ、接続した機器から本機の映像が映ります。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

● 10 〜 2 の表示がある番組の場合、ダビングを中止してもダビングできる残り回数は減ります。
● 1 の表示がある番組の場合、中止した位置までの内容はHDDから消去されます。

ダビングできる当社製機器:
・DVD レコーダー
・ブルーレイディスクレコーダーなど

ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

●接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
●録画モードは「DR」でダビングします。
●接続した機器によって、番組名は 22 文字までしか記録できない場合があります。
●本機の予約録画が始まると、ダビングは中断されます。

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 入力切換(ふた内部)を押して、「i.LINK(TS)」を選ぶ

2 録画モード(ふた内部)を押して、録画モード(➜40)を選ぶ

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、録画(ふた内部)を押す

●コピー制限のある番組はダビングできません。
●本機の予約録画が始まると、ダビングは中断されます。(2 番組同時録画はできません)
●長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録します。

録画を一時停止するには

[一時停止]を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

[停止■]を押す

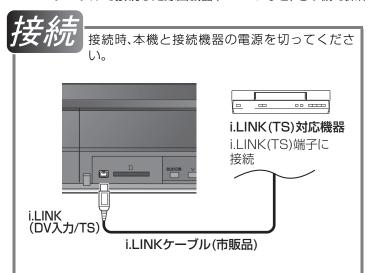
●接続した機器の再生も停止してください。

i.LINK(TS)対応機器を操作する

i.LINK ケーブルで接続した録画機器(D-VHS など)を本機で操作することができます。

接続

接続時、本機と接続機器の電源を切ってください。

設定

① **初期設定**「i.LINK機器モード設定」を設定する(**➜154**)
・「TSモード」に設定してください。

② 接続機器側のi.LINK(TS)の設定をする
●HDDビデオレコーダーには、DISCモードとD-VHSモードの切り換え機能がある場合があります。本機で操作する場合は D-VHS モードにしてください。詳しくは、HDDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

●i.LINK(TS)経由で本機に接続できる i.LINK(TS)機器は、1台のみです。

i.LINK(TS) 対応機器を再生する

i.LINK 再生

お知らせ

●当社製のDVDレコーダー、ブルーレイディスクレコーダー(BD/DVD レコーダー)の場合は、機器操作パネルでの操作はできません。
●S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
S400 に準拠していない i.LINK ケーブルでは動作しません。
●i.LINK(TS) 機器の操作中は、本機の機能が一部使用できなくなります。
●本機の入力が「i.LINK(TS)」のときは、操作一覧を表示できません。操作一覧を表示する場合は、**[入力切換]**(ふた内部)を押して「i.LINK(TS)」以外を選んでから **[操作一覧]** を押してください。

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

基本操作 ①選び ②決定する

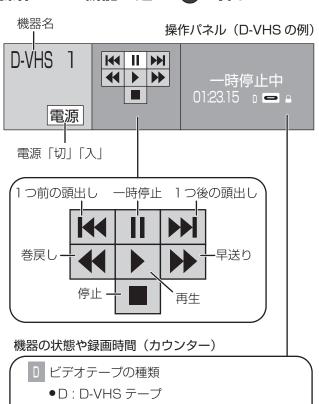
1 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「i.LINK 再生」を選び、決定を押す

●機器操作パネルが表示されます。

4 操作したい機能を選び、決定を押す

機器の状態や録画時間(カウンター)

- D ビデオテープの種類
  - ●D : D-VHS テープ
  - ●S : S-VHS テープ
  - ●表示なし : VHS テープ
- ビデオテープが入っているとき
- 録画できないビデオテープのとき(誤消去防止用「つめ」が折れた状態)

前の画面に戻るには

戻るを押す

操作パネルを消すには

戻るを押す

操作パネルを表示するには

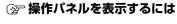
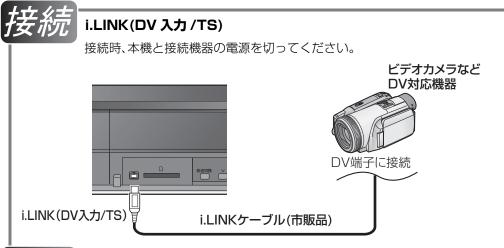
を押す

i.LINK(TS)対応機器を操作する　他の機器と

DV 機器(ビデオカメラ)からダビングする

接続

i.LINK(DV 入力 /TS)

接続時、本機と接続機器の電源を切ってください。

設定

初期設定で以下の設定をする

- 「DV入力時の音声設定」: 記録する音声の種類を選ぶ(➔152)
- 「i.LINK 機器モード設定」: 「DVモード」(➔154)

- 接続した機器から本機を操作することはできません。
- i.LINK(DV入力/TS)経由で本機に接続できるDV機器は、1台のみです。

お知らせ

- DV機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
- DV入力からダビング中は
  - ・予約録画が始まると、ダビングを中断します。
  - ・追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。
- ディスクにダビング中に停電などが発生した場合は、ダビング中の映像･音声はすべて記録されません。
- RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) へはダビングできません。

接続した機器を再生してダビング

HDD

DVおまかせ取込機能を使ってダビング

DV おまかせ取込

HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -RW(VR) -RW(V)

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 入力切換(ふた内部)を押して、「DV」を選ぶ

2 録画モード(ふた内部)を押して、録画モード(➜40)を選ぶ

●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「FR」は選べません。

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、録画(ふた内部)を押す

録画を一時停止するには

一時停止 を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

停止■ を押す

ぴったり録画をする(➜23)

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

●「DV おまかせ取込」画面が表示されます。

DVおまかせ取込		
DV機器からの取込を行いますか?		
HDDへ取込	BD/DVDへ取込	キャンセル

2 [◀] [▶] で「HDDへ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、決定を押す

●録画準備のため、次の画面が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。

3 録画モード(ふた内部)を押して、録画モード(➜40)を選ぶ

●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「FR」は選べません。

4 [◀] [▶] で「録画開始」を選び、決定を押す

録画を止めるには

停止■ を押す

前の画面に戻るには

を押す

●日付や時刻情報は記録されません。
●DV機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。
●-R -R DL 手順2あるいは記録や編集を約30回行うと、そのディスクは記録できなくなる場合があります。
●うまく働かない場合は、接続とDV機器側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、「接続した機器を再生してダビング」(➜上記)を行ってください。
●-R(V) -RW(V) ダビング後にファイナライズ(➜115)を行うと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。

ハイビジョンビデオカメラからの動画の取り込み

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画(AVCHD) を取り込むことができます。

●ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクの場合、**初期設定**「AVCHD優先モード」を「入」にしてください。(➜150)

ダビング方向:

AVCHD (AVCHDが記録されたディスク) ➡ HDD

SD (AVCHDが記録された SD カード) ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

●ディスク、SD カードを入れる。

ディスク、SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例) SD

ディスクを入れた場合:

●右記の手順 3 に進みます。

SD カードを入れた場合:

① 「撮影ビデオ(AVCHD)」を選び、[決定] を押す

② 「撮影ビデオを取り込む」を選び、[決定] を押す

●右記の手順 4 に進みます。

お知らせ

●取り込み中は録画、再生または予約録画の実行はできません。

●録画や再生中に取り込みはできません。

●1つのタイトルに99シーンを超えて記録されている場合、99シーンごとに分けて取り込みます。

・HDD 99シーンごとに分けて取り込んだ場合は、まとめ 番組として表示されます。

●当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。ただし、撮影状態によっては、同じ日に撮影されたシーンでも、別々のタイトル(日付に「-1」、「-2」などを表示)となる場合があります。詳しくは、撮影した機器の取扱説明書をご覧ください。

●高画質(転送レート約18Mbps以上)の動画を、2倍速対応以下のDVDに取り込むことはできません。

取り込みを中止するには

を3秒以上押す

1 操作一覧 を押す

2
AVCHD から取り込む場合:

「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合:

「SD カード」を選び、決定 を押す

3 「撮影ビデオ(AVCHD) を取込」を選び、決定 を押す

4
SD から取り込む場合:

「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、決定 を押す

5 タイトルを選び、青 を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには

タイトルを選び、[青] を押す

6 すべてを選んだあと、決定 を押す

7 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●ダビング終了後、約5分以上本機の操作を何も行わなかったときは、本機の電源が切れます。

●新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

ディスクに取り込んだ動画を他の機器で再生するには

●SDカードから直接取り込んだDVDの場合は、機器がそのディスクのAVCREC方式に対応している必要があります。

●他の機器で再生できない場合は、一度 HDD に取り込んだあと、詳細ダビング(➜68)で録画モードを「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」にしてディスクにダビングしてください。ただし、画質は標準画質になります。

写真(JPEG)を再生する

HDD BD-RE RAM CD SD

- CD 写真(JPEG)を記録したCD-R、CD-RW が再生できます。

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- ディスク、SD カードを入れる。

ディスク、SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例) SD

ディスクを入れた場合:
- 右記の手順 3に進みます。

SD カードを入れた場合:
「写真」を選び、[決定] を押す
- 右記の手順 3に進みます。

お知らせ

- JPEG 以外の写真は再生できません。
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯が表示される場合があります。
- 録画中やダビング中は写真の再生はできません。

再生を止めるには

を押す

- 止めた写真の位置を一時的に記憶します。ただし、以下の場合は解除されます。
  - · CD SD 電源を切る、または取り出したとき
  - · BD-RE RAM 取り出したとき

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

基本操作 ① 選び ② 決定する

1 操作一覧 を押す

2

BD-RE RAM CD

「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定を押す

SD

「SD カード」を選び、決定を押す

3 「写真を見る」を選び、決定を押す

HDD BD-RE RAM

表示方法を切り換えるには

本機では、SDカードから写真を取り込んだ場合、日付別にまとめて表示します。この中から好きな写真をアルバムにまとめて表示することができます。

① [サブ メニュー] を押す
② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定] を押す

CD SD「写真一覧」が表示されます。(➜ 手順 5 へ)

- RAM 他の機器で記録した写真の場合、「写真一覧 日付別表示」に表示されない場合があります。そのときは、「写真一覧 アルバム表示」を表示してください。

4

HDD BD-RE RAM

日付またはアルバムを選び、決定を押す

例) HDD

- [決定] の代わりに [再生 ▶] を押すとスライドショーが始まります。

5 写真を選び、決定を押す

例) HDD

ハイビジョンビデオカメラからの動画の取り込み/写真(JPEG)を再生する

他の機器と 写真

写真(JPEG)を再生する(つづき)

写真再生のいろいろな機能

フォルダの切り換え
(本機で表示されるフォルダ構造例→180)

BD-RE **RAM** (「写真一覧 アルバム表示」表示時に、上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ)

1 「写真一覧 アルバム表示」中に、サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、決定を押す

3 [◀][▶]でフォルダを選び、決定を押す

CD

1 「写真一覧」表示中に、サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で「フォルダ選択」を選び、決定を押す

3 [▲][▼][◀][▶]でフォルダを選び、決定を押す

☞ **前の画面に戻るには**
[戻る] を押す

画像の回転、縮小
●スライドショー再生中はできません

1 写真を再生中に、サブメニュー(S)を押す

●ビエラリンク(HDMI)(→106)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

2 [▲][▼]で項目を選び、決定を押す

☞ **回転を元に戻すには**
[サブ メニュー]を押して逆方向の回転を選び、[決定]を押す

☞ **縮小を元に戻すには**
[サブ メニュー]を押して「拡大」を選び、[決定]を押す

お知らせ

●以下の場合、写真の回転の情報は保持されません。
- ・**CD** の写真
- ・プロテクトがかかったディスクやカード
- ・他の機器での再生時
- ・写真のダビング時

●写真一覧画面表示中にSDカードを取り出すと、回転の情報が正しく保持されない場合があります。
●縮小の情報は保持されません。

写真情報の表示

写真を再生中に、画面表示を2回押す

☞ **情報表示を消すには**
[画面表示] を押す

例) **HDD**

情報がない場合「----/--/--」と表示されます。

再生中に前後の写真を見る

[◀][▶]を押す

<table>
<tr><td rowspan="5">**写真を連続して再生（スライドショー）**</td><td colspan="3">HDD BD-RE RAM:「写真一覧 日付別表示」または「写真一覧 アルバム表示」
CD SD:「写真一覧」
で操作します。
1 HDD BD-RE RAM[▲][▼][◀][▶]で日付またはアルバムを選ぶ
2 サブメニュー S を押す
● HDD BD-RE RAM [サブ メニュー] の代わりに [再生 ▶] を押してもスライドショー再生が始まります。
3 [▲][▼]で「スライドショー開始」を選び、決定を押す</td></tr>
<tr><td colspan="2">スライドショーの設定を変更する</td><td>上記手順 2 のあと
① [▲][▼]で「スライドショー設定」を選び、[決定] を押す
② [▲][▼] で設定する項目を選ぶ(➜ 下記へ)
③ 設定終了後、[▲][▼][◀][▶]で「確定」を選び、[決定] を押す</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td>表示間隔
表示間隔</td><td>[◀][▶]で表示間隔を選ぶ
画素数が大きい写真は、次の写真表示までが長くなったり、設定を変更しても、短くならない場合があります。</td></tr>
<tr><td>写真の表示方法の設定
表示変化</td><td>スライドショー再生中の写真の表示方法を設定します。
[◀][▶]で表示方法を選ぶ
●フェード :フェードアウト･フェードインして切り換わります。
●モーション:写真を拡大･縮小したり、上下に移動しながら、フェードアウト･フェードインして切り換わります。
●ランダム :「モーション」に加えて、さまざまな方法で次の写真に切り換わります。</td></tr>
<tr><td>リピート再生
リピート再生</td><td>[◀][▶]で「入」または「切」を選ぶ</td></tr>
</table>

スライドショーを終了するには

戻る を押す

写真(JPEG)を編集する

HDD BD-RE RAM SD

- 写真単位、日付単位またはアルバム単位で編集することができます。
- CD-R、CD-RWに記録された写真は編集できません。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

日付単位またはアルバム単位で編集する

HDD BD-RE RAM

1 [操作一覧] を押す

2 BD-RE RAM
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、[決定]を押す

3 **「写真を見る」を選び、[決定]を押す**

表示方法を切り換えるには
① [サブ メニュー]を押す
② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定]を押す

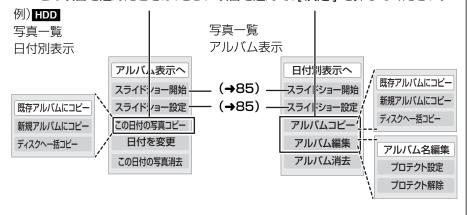
4 **日付またはアルバムを選び、[サブメニュー] を押す**

複数の日付またはアルバムを選択するには
（「この日付の写真消去」「アルバム消去」「プロテクト設定 / 解除」のみ可能）
日付またはアルバムを選び、[青] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

5 **項目を選び、[決定]を押す**(➜右記へ)

この項目を選んだときは、さらに項目を選んで、[決定] を押してください。

前の画面に戻るには

 を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

既存のアルバムに写真をコピー
既存アルバムにコピー

新しいアルバムを作成し写真をコピー
新規アルバムにコピー

日付またはアルバム内の写真をすべてHDDまたはBD-REやDVD-RAMへコピー
ディスクへ一括コピー
HDD
HDDへ一括コピー
BD-RE RAM

消去
この日付の写真消去
アルバム消去

日付を変更
日付を変更
- 写真一覧 日付別表示のときのみ

アルバム名を付ける
アルバム名編集
- 写真一覧 アルバム表示のときのみ

誤消去防止の設定/解除
プロテクト設定 / 解除
- 写真一覧 アルバム表示のときのみ

選択した日付またはアルバムを既存のアルバムにコピーします。

6 「コピー開始」を選び、決定を押す

7 コピー先のアルバムを選び、決定を押す

●プロテクト設定されたアルバムにはコピーできません。

選択した日付またはアルバムを新しいアルバムにコピーします。

6 「コピー開始」を選び、決定を押す

7 コピー終了後

決定を押す

8 「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

「はい」のときには
アルバム名を付けます。(→116)

「いいえ」のときには
アルバムの 1 枚目の写真の撮影日が、自動的にアルバム名になります。
(撮影日情報がない場合は、「撮影:---- 年 -- 月 -- 日」になります)

「コピー開始」を選び、決定を押す

コピー先について

●「写真一覧 日付別表示」「写真一覧 アルバム表示」の写真はコピー先でもそれぞれ「写真一覧 日付別表示」「写真一覧 アルバム表示」にコピーされます。

消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

「消去」を選び、決定を押す

● BD-RE RAM 日付やアルバム内にDCF規格以外のファイルがある場合や下位フォルダがある場合は、その日付やアルバム自体は消去されません。

6 年月日を選び、[▲][▼] で設定する

7 決定を押す

●変更元の日付は残ります。不要な場合は、消去してください。
●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。

文字入力については(→116)

●入力したアルバム名は、他の機器では表示されないことがあります。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
●プロテクトの設定は、他の機器では解除されることがあります。

お知らせ

●コピー中や、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。
●上位フォルダに「既存アルバムにコピー」、「新規アルバムにコピー」を実行することはできません。

写真(JPEG)を編集する

写真

写真（JPEG）を編集する（つづき）

写真単位で編集する

HDD BD-RE RAM SD

1 **を押す**

2 BD-RE RAM SD
「ブルーレイ（BD）/DVD」または「SD カード」を選び、決定を押す

3 「写真を見る」を選び、決定を押す

HDD BD-RE RAM
表示方法を切り換えるには
① ［サブ メニュー］を押す
② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、［決定］を押す

SD 「写真一覧」が表示されます。
（➜ 手順 5 へ）

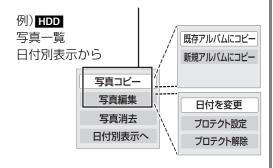
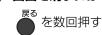
4 HDD BD-RE RAM
日付またはアルバムを選び、決定を押す

5 写真を選び、サブメニュー S を押す

複数の写真を選択するには
写真を選び、［ 青 ］を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。
もう一度［ 青 ］を押すと解除されます。

6 項目を選び、決定を押す（➜右記へ）

この項目を選んだときは、さらに項目を選んで、［決定］を押してください。

例）HDD
写真一覧
日付別表示から

既存のアルバムに写真をコピー 既存アルバムにコピー HDD BD-RE RAM	選択した写真を既存のアルバムにコピーします。 **操作方法は（➜86）**
新しいアルバムを作成し写真をコピー 新規アルバムにコピー HDD BD-RE RAM	選択した写真を新しいアルバムにコピーします。 **操作方法は（➜86）**
日付を変更 日付を変更 HDD BD-RE RAM ●写真一覧 日付別表示のときのみ	●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。 ●変更した日付が、新規の日付の場合、新しい日付を作成し、写真を移動します。 **操作方法は（➜86）**
消去 写真消去	**操作方法は（➜86）**
誤消去防止の設定 / 解除 プロテクト設定 / 解除	**操作方法は（➜86）**
プリンターや写真店でプリントする枚数の設定 DPOF プリント設定 SD	カードに残量がない場合は設定できません。 **［◀］［▶］で枚数を選び、決定を押す** ● が表示されます。 ●設定は他の機器で表示されない場合があります。 ●設定すると、他の機器での設定は解除されます。 **設定を解除するには** 「0枚」に設定する

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

お知らせ
●コピー中や、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。

写真(JPEG)を取り込む

SD ➡ **HDD**

取り込んだSDカードの情報を保持しているため、同じカードから、複数回取り込むと、新たに追加された写真(JPEG)のみを取り込みます。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- SDカードを入れる。

SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

①「写真」を選び、[決定] を押す
②「写真を取り込む」を選び、[決定] を押す
- 右記の手順**4**に進みます。

お知らせ

- JPEG 以外の写真は取り込みできません。
- 写真単位で取り込みたい場合や同じ写真をもう一度取り込みたい場合は、詳細ダビング(➔90)を行ってください。
- SD カードの情報の最大保持数
  - ・カード枚数:30 枚
  - ・1枚のカードあたりの写真枚数:12,000枚

  上記以上になると古い情報から削除します。
- プリント枚数の設定(DPOF)は取り込みされません。
- HDD の容量や、ファイルやフォルダの数(➔185)が最大数になった場合は、途中で取り込みを中止します。
- 取り込み中は予約録画は実行されません。
- 録画や再生中に取り込みはできません。

前の画面に戻るには

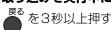
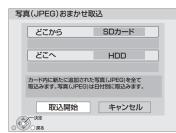
を押す

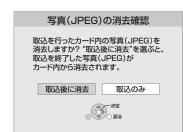
取り込みを実行中に中止するには

を3秒以上押す

1 操作一覧 **を押す**

2 「SD カード」を選び、決定 を押す

3 「写真おまかせ取込」を選び、決定 を押す

4 「取込開始」を選び、決定 を押す

- **誤消去防止設定(プロテクト)を**
  していた場合　:取り込みを始めます
  していない場合:手順 **5** へ

5 「取込後に消去」または「取込のみ」を選び、決定 を押す

取込後に消去:取り込みの終わった写真を SD カードから消去します。(プロテクト設定された写真は消去しません)
取込のみ　　:写真は消去しません。

- 取り込んだ写真は、「写真一覧　日付別表示」に撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない写真は作成された日を使用して分類されます。
- 「写真一覧　日付別表示」で、新たに追加された写真のある日付には、NEW を表示します。

写真(JPEG)をダビングする

HDD BD-RE RAM SD

●CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
●BD-RE、DVD-RAM、SDカードを入れる。

ディスク、SDカードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)
[戻る]を押して、画面を消してください。

例) SD

お知らせ

●ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➔185)が最大数になった場合は、途中でダビングを中止します。
●(アルバム単位のダビングの場合)ダビング元のアルバム名が入力されていないとき、ダビング先ではアルバム名の番号が変わることがあります。ダビング前にアルバム名を入力することをおすすめします。
(➔86「アルバム名編集」)
●プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
●SD からダビングする場合、写真は撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない写真は、作成された日を使用して分類されます。
●ダビング中は予約録画は実行されません。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

詳細ダビング

ダビング方向: HDD ➔ BD-RE RAM SD、 BD-RE RAM ➔ HDD SD、 SD ➔ HDD BD-RE RAM

基本操作

1 操作一覧 を押す

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶]を押す(➔91へ)

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

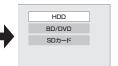
● HDD ➔ BD-RE RAM 、BD-RE RAM ➔ HDD
[写真単位(アルバム)のダビングの場合]
別のアルバムをダビング先に指定できます。

① 「アルバム選択」を選び、**[決定]**を押す
② アルバムを選び、**[決定]**を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

ダビング先について

● HDD ➔ BD-RE RAM 、BD-RE RAM ➔ HDD
・[写真単位(日付)、日付単位のダビングの場合]
ダビング先:写真一覧 日付別表示
・[写真単位(アルバム)、アルバム単位のダビングの場合]
ダビング先:写真一覧 アルバム表示
● SD ➔ HDD BD-RE RAM
ダビング先:写真一覧 日付別表示

何から何にダビング？

1 ダビング方向

「ダビング元」を選び、決定を押す

ダビング元を選び、決定を押す

「ダビング先」を選び、決定を押す

ダビング先を選び、決定を押す

ダビング素材の設定

2 素材・モード

ダビング素材　写真
録画モード　高速

「ダビング素材」を選び、決定を押す

ビデオ
写真

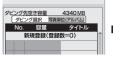
「写真」を選び、決定を押す

●録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。

ダビングする写真を選ぶ

3 リスト作成

HDD BD-RE RAM
「ダビング選択」を選び、決定を押す

HDD BD-RE RAM
ダビングする単位を選び、決定を押す

「新規登録」を選び、決定を押す

ダビングする写真、日付、アルバムを登録する
(➜ 下記へ)

● SD からダビングする場合は、「ダビング選択」はできません。写真単位で登録します。

写真単位(日付 / アルバム)で登録するときは

写真を選び、青を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返します。
すべてを選んだあと、決定を押す

HDD BD-RE RAM 別の日付/アルバムの写真を選ぶには

① [サブ メニュー]を押す
② 「日付選択」または「アルバム選択」を選び、[決定]を押す
　· BD-RE RAM 上位フォルダを切り換えるには
　(➜ 下記)
③ [▲][▼][◀][▶]で日付またはアルバムを選び、[決定]を押す

HDD BD-RE RAM 日付単位 / アルバム単位で登録するときは

日付またはアルバムを選び、青を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返します。
すべてを選んだあと、決定を押す

●別々の日付やアルバムの写真を同じリストに登録することはできません。
●登録後は、ダビングする単位を切り換えることはできません。

ダビングの便利な機能(➜67)

[◀]を押す
(➜90 手順4へ戻る)

上位フォルダを切り換えるには	
BD-RE RAM(本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ) ●アルバム表示のときのみ	① [サブ メニュー]を押す ② 「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す ③ [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す ●上位フォルダの異なるアルバムを同じリストに登録することはできません。

音楽 CD を再生する

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

音楽CDを入れる

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

[▲][▼] で再生したい曲を選び、[**決定**] を押す

画面を消すには

戻る を数回押す(画面を消すと、音楽の再生は停止します)

再生中の曲の経過時間/現在の再生位置/演奏時間

再生中の曲(♪を表示)

●ダビング中は再生できません。

●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(**➜152**)が「入」の場合、再生中に、約10分以上本機の操作を行わなかったときは、写真のスライドショー画面が表示されます。([**戻る**] を押すと、元の画面に戻ります)

再生中のいろいろな操作

停止	[停止■] **を押す**	
一時停止	[一時停止II] **を押す**	●もう一度押す、または [**再生▶**] を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し	サーチ/スロー [◀◀] [▶▶] **を押す**	●[**再生▶**] で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。
スキップ	**再生中または一時停止中に** スキップ [I◀◀] [▶▶I] **(ふた内部)を押す**	●押した回数だけ曲を飛び越します。
リピート ランダム	**操作方法(➜54)**	
リ.マスター ナイトサラウンド	**操作方法(➜55)**	

<table>
<tr>
<td rowspan="2">写真のスライドショーの表示</td>
<td colspan="2">

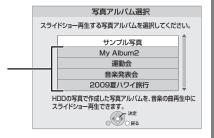
音楽再生中に、[青]を押す
●スライドショーが始まります。
●写真の表示間隔は一定になり、リピート再生します。

スライドショーを停止するには
[戻る]を押す
（音楽の再生を停止したときも、停止します）
</td>
</tr>
<tr>
<td>表示させる写真の変更</td>
<td>
本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ内蔵されているサンプル写真または HDD の「アルバム」の写真から選ぶことができます。
「アルバム」はアルバム編集で作成する必要があります。(➜86)

① スライドショー再生中に、[サブ メニュー]を押す
② [▲][▼]で「写真アルバム選択」を選び、[決定]を押す
③ [▲][▼]でアルバムなどを選び、[決定]を押す

HDD の「アルバム」を表示
●写真が 1 枚もないアルバムは表示されません。
</td>
</tr>
<tr>
<td>テレビの電源を切って音楽の再生を続ける</td>
<td colspan="2">
ビエラリンク (HDMI)Ver.3 以降に対応した当社製テレビとアンプを HDMI で接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、テレビの電源を切っても以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

1 音楽再生中に、[サブメニュー S]を押す
2 [▲][▼]で「TV のみ電源 OFF」を選び、[決定]を押す

●アンプは必ず本機とテレビの間に接続してください。(➜122)
●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。
●テレビから音声を出力しているときに、この操作を行うと、テレビから音声が出なくなりますので、操作をする前にあらかじめアンプ側から音声が出るようにしてください。
</td>
</tr>
</table>

インターネットを利用した情報を見る

インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを利用することができます。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合や、サービス内容が異なる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。
- ポータルサイトの利用条件については、別途ポータルサイトにてご確認ください。

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

■ ホームページへの情報登録について

ブラウザを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。ご加入のケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、登録時の規約などに従って、必ず登録情報の消去を行ってください。

1 [ブラウザ] を押す

- ポータルサイト画面が表示されます。
- **初めてお使いになるときは…**
  端末情報送信の画面を表示します。画面の指示に従って、端末情報を送信してください。
  端末情報とは、郵便番号や端末の識別 ID(本機にあらかじめ組み込まれた番号)などのブラウザの通信制御に必要な情報のことです。端末情報を送信しないと、ブラウザ機能の一部が使えません。
  一度送信を行うと、次回から送信画面は表示されませんが、郵便番号が正しくない場合や長期間ポータルサイトを使用しなかった場合は、再び送信画面が表示されることがあります。

例）ポータルサイトの画面例

ポータルサイトとは、[ブラウザ]を押したときに最初に表示されるホームページのことです。
(ポータルとは玄関･入り口の意味です)

2 見たい項目を選び、[決定]を押す

- この操作を繰り返して、見たい情報のホームページを表示させてください。

ブラウザを終了するには

[赤] を押す

ブラウザメニューを表示する

1 ホームページ表示中に、[青] を押す

- ブラウザメニューが表示されます。

2 [◀][▶]で項目を選び、[決定]を押す

- 戻る：1つ前のページへ
- 進む：1つ先のページへ
- 中止：読込みを中止
- 更新：表示中のページを再読込み
- ホーム：ポータルサイトに戻るとき
- お好みページ：お好みページを使う(➔95)

ブラウザメニューの表示を消すには

[青] を押す

お好みページを使う	気に入ったホームページを「お好みページ」に登録する	**1 登録したいホームページ表示中に、[青]を押す** **2 [◀][▶]で「お好みページ」を選び、[決定]を押す** **3 [青]を押す** **4 「確認」を選び、[決定]を押す** ●「お好みページ」の登録は最大 20 件までです。
	登録したホームページを見る	**1 ホームページ表示中に、[青]を押す** **2 [◀][▶]で「お好みページ」を選び、[決定]を押す** **3 [▲][▼] でタイトルを選び、[決定]を押す** ●登録したホームページが、提供者の都合によりなくなったり、アドレスが変更された場合には、そのページは表示できません。
	「お好みページ」の削除やタイトルの変更をする	**1 ホームページ表示中に、[青]を押す** **2 [◀][▶]で「お好みページ」を選び、[決定]を押す** **3 [▲][▼] で削除や変更したいタイトルを選ぶ** **4 削除する:** ① **[黄]を押す** ② **[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す** ●「お好みページ」は削除されます。 **タイトルを変更する:** ① **[緑]を押す** ② **「タイトル」を選び、[決定]を押す** **文字入力については(➔117)**

お知らせ

- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。
- プログレッシブテレビやハイビジョンテレビに接続されることをおすすめします。それ以外のテレビに接続すると文字などが見えにくい場合があります。
- 天災やシステム障害その他の事由により、ポータルサイトのコンテンツを表示できない場合があります。あらかじめご了承ください。

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。

お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。

制限機能を使用する場合は、**放送設定**「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

① **[操作一覧]** を押す
② **[▲][▼]** で「その他の機能へ」を選び、**[決定]** を押す
③ **[▲][▼]** で「放送設定」を選び、**[決定]** を押す
④ **[▲][▼]** で「システム設定」を選び、**[決定]** を押す
⑤ **[▲][▼]** で「制限項目設定」を選び、**[決定]** を押す
⑥ **[1]** ～ **[10]** で暗証番号を設定する
⑦ **[▲][▼]** で「ブラウザ制限」を選び、**[◀][▶]** で「する」を選ぶ

●ブラウザを利用するには、手順⑥で設定した暗証番号の入力が必要になります。

インターネットを利用した情報を見る(つづき)

アクトビラからダウンロードする

※ TZ-BDW900M、TZ-BDW900F ではアクトビラから動画コンテンツをダウンロードすることはできません。

アクトビラの動画コンテンツをHDD にダウンロードする※

●TZ-BDW900P のみ

アクトビラのページから動画コンテンツを購入し、HDD にダウンロードすることができます。
●動画コンテンツ購入の課金方法はアクトビラのページでご確認ください。

動画コンテンツを購入する

●録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。

D ―ダウンロード中に点灯

●電源切時でもダウンロードは実行されます。
また、本機から動作音がしたり、内部冷却用ファンが回ったりしますが、故障ではありません。
●以下の操作中はダウンロードは実行されません。
・2 番組同時録画中
・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
・ダビング中
・DLNA 対応機器からの再生など、ネットワークを利用する機能を使用中　など
またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。
●ダウンロード後は、番組の情報 (視聴期限など)を確認してください。(➜48「内容確認」)

ダウンロードを中断するには
ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。
① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、[サブ メニュー] を押す
② [▲][▼]で「ダウンロード設定」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼]で「ダウンロード一時停止」を選び、[決定] を押す
④ [◀][▶]で「一時停止」を選び、[決定] を押す
●ダウンロードを再開するには、手順③で「ダウンロード再開」を選んでください。

ダウンロードに失敗した場合は
ダウンロード履歴を確認してください。(➜145「ダウンロード履歴」)

ダウンロードした番組を再生する※

●TZ-BDW900P のみ

1 [録画一覧] を押す

2 [◀][▶]で「ダウンロード」ラベルを選び、[▲][▼] で番組を選び、[決定]を押す

ダウンロードした番組が表示されない場合
放送設定「制限項目設定」(➜147)が設定されている場合、表示されない番組があります。以下の操作で表示することができます。
① [サブ メニュー] を押す
② [▲][▼]で「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
③ 暗証番号(➜147)を入力する

3 視聴期限のある番組の場合:
[◀][▶]で「再生する」を選び、[決定]を押す

暗証番号の入力画面が表示されたら(➜147 放送設定「制限項目設定」)
再生中のいろいろな操作(➜50)
再生中に音声を切り換えるには(➜54 再生設定「音声情報」/「信号切換」)

お知らせ

●視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から数えられます。
●再生時はネットワークに接続した状態で行ってください。
●ダウンロード中の番組を再生する場合、ダウンロードが終了していない場面に追いつくと、再生を終了します。(ダウンロードを一時停止中の番組は再生できません)
●番組によっては、番組の先頭などでスキップや早送りを禁止している番組もあります。
●再生中に字幕の切り換えはできません。
●番組は自動的にプロテクト設定され、編集などはできません。
●DLNA 対応の他社製機器からは再生することはできません。(2009 年 10 月現在)

ダウンロードした番組をディスクにダビングする※ ●TZ-BDW900Pのみ	アクトビラからダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。 ●番組によっては、ダビングできるディスクに制限のある場合やダビングできる回数や期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。 **かんたんダビング(➜64)や詳細ダビング(➜68)でダビングを行う** ☞ **ダウンロードした番組が表示されない場合** **放送設定**「制限項目設定」(➜147)が設定されている場合、表示されない番組があります。以下の操作で表示することができます。 ① [サブ メニュー] を押す ② [▲][▼]で「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す ③ 暗証番号(➜147)を入力する お知らせ ●DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。 ●ダビング時はネットワークに接続した状態で行ってください。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

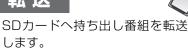
本機では、HDD に録画した番組を SD カードに転送して、携帯電話などのモバイル機器で楽しむことができます。
モバイル機器へ持ち出す流れは以下のようになります。

作 成

モバイル機器へ持ち出すための番組を作成します。
作成方法は２種類あります。

- 予約録画時に作成（➜ 下記）
- 録画した番組から作成（➜99）

➡

転 送

SDカードへ持ち出し番組を転送します。
転送方法は２種類あります。

- かんたん転送（➜100）
- 持ち出せる番組一覧から転送（➜100）

➡

再 生

モバイル機器で再生します。

- 再生方法については、モバイル機器の説明書をご覧ください。
- 対応機器については、下記サポートサイトでご確認ください。
（2009 年 10 月現在）
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html

持ち出し番組について

- 持ち出し番組は、通常の番組に付属しており、持ち出し番組だけを作成することはできません。
- 通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。
［ダウンロードした番組（➜96）は番組消去しても、持ち出し番組は消去されません］
- 通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。
［ダウンロードした番組（➜96）を除く］
- 本機では、持ち出し番組の再生･編集はできません。

持ち出し番組を作成する

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定

HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。録画する放送によって、作成方法は異なります。

- 地上デジタル放送：
通常の番組の録画時に、ワンセグ放送（➜179）の番組を同時に録画して持ち出し番組を作成します。
ワンセグ放送が行われていない場合は、電源「切」時に通常の番組から変換して持ち出し番組を作成します。
- BS･CATV 放送：
通常の番組の録画終了後、本機の電源「切」時に通常の番組から変換して持ち出し番組を作成します。

番組予約画面（➜24 手順 5）、詳細設定画面（➜32 手順 1）、または時間指定予約画面（➜34 手順３）で

1 ［▲］［▼］で「持ち出し番組の設定」を選び、決定を押す

2 ［▲］［▼］で「持ち出し番組の作成」を選び、［◀］［▶］で「する」に設定する

3 ［▲］［▼］で「かんたん転送の登録」を選び、［◀］［▶］で設定する

- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」（➜100）で自動的に転送することができます。

お知らせ

- ワンセグ放送を同時に録画して持ち出し番組を作成する場合、以下のような理由で、持ち出し番組が正しく作成されない場合があります。「録画した番組から作成する」（➜99）で作り直すことをおすすめします。
  - ･地上デジタル放送と放送内容が異なる
  - ･地上デジタル放送と開始時刻や終了時刻が多少ずれる
- 地上デジタル放送の場合、連続録画時間が８時間を超えると、超えた分の持ち出し番組は録画終了後に作成します。
- 複数の音声や字幕を含む番組から持ち出し番組を作成する場合、「信号設定」（➜33）で記録したい音声や字幕を選んでください。

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成

HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

1 [録画一覧]を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で作成する番組を選び、[緑]を押す

3 [▲][▼] で「持ち出し番組の作成」を選び、[決定]を押す

●すでに持ち出し番組が作成されている場合、「作り直す」を選び、次に進んでください。(この場合、作成済みの持ち出し番組は消去されます)

持ち出し番組の作成

選択された番組の持ち出し番組を作成します。

かんたん転送の登録 ◀ する ▶

開始方法 電源[切]後

作成する キャンセル

戻る

4 [▲][▼] で「かんたん転送の登録」を選び、[◀][▶] で設定する

●「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(➔100)で自動的に転送することができます。

5 [▲][▼] で「開始方法」を選び、[◀][▶] で設定する

●**すぐに** :下記手順7の設定後すぐに、作成を開始します。
作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

●**電源 [切] 後** :電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

6 [▲][▼][◀][▶]で「作成する」を選び、[決定]を押す

7 「すぐに」作成を開始する場合:

[◀][▶]で「開始」を選び、[決定]を押す

作成を実行中に中止するには
[戻る]を3秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合:

[決定]を押す

作成の設定内容を変更・取り消しするには
手順3のあと、[◀] [▶] で「設定変更」または「作成取消」を選び、[決定] を押す
・**設定変更**:設定を変更します。(➔手順４へ)
・**作成取消**:設定を取り消します。

お知らせ

●ダウンロードした番組(➔96)から持ち出し番組を作成する場合:
・コピー制限がある番組は、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
・「かんたん転送の登録」を「する」または「開始方法」を「電源[切]後」に設定して作成することはできません。
・ネットワークに接続した状態で作成してください。

●ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。

●HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。

●持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
・二重音声 :「二重放送音声記録」(➔152)
・マルチ音声 :**再生設定**「信号切換」の「音声」(➔54)
・チャプター :作成元になる番組のチャプター情報
・字幕 :**再生設定**「信号切換」の「字幕」(➔54)
(「電源[切]後」作成する場合、電源「切」時の**再生設定**「信号切換」の設定に従い作成されます)

作成が終了しているか確認するには

持ち出せる番組一覧(➔100)で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

便利機能

持ち出し番組を転送する

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

かんたん転送

あらかじめ「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。(最大 99 番組まで転送可能)
かんたん転送に登録されている番組は、持ち出せる番組一覧(➔下記)で確認することができます。
●「かんたん転送」の登録は、予約時(➔24、32、34)、作成時(➔99)、作成後(➔101)に行うことができます。(視聴制限のある番組を登録することはできません)

1 SD カードを入れる

2 [▲][▼]で「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定を押す

SDカード
写真
撮影ビデオ(AVCHD)
ビデオ(MPEG2)取込
持ち出し番組
持ち出し番組のかんたん転送

●転送を開始します。
●以下の場合、右記のような画面が表示されます。
・ダビングできる残り可能回数が 1 回の番組が含まれる場合
・転送先の容量が不足している場合
・転送先の番組数が 99 を超える場合
[◀][▶] で「確認する」を選び、[決定] を押すと、転送する番組の一覧を表示します。

転送内容を変更するには
[◀][▶] で「転送内容を変更する」を選び、[決定] を押す
(番組の取り消しは[黄]を押して行うことができます)

例)
かんたん転送 HDD → SDカード
転送先へ移動のみ可能な番組が含まれています。
転送するとHDDから消去されます。
デジタル放送のコピー制限番組は元となる
録画番組もHDDから消去されます。
「確認する」を選択すると、転送内容を見ることができます。
転送してもよろしいですか?
転送する　確認する
決定
終了

持ち出せる番組一覧から転送する

1 SD カードを入れる

2 [▲][▼]で「持ち出し番組」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「持ち出し番組を転送する」を選び、決定を押す

SDカード
写真
撮影ビデオ(AVCHD)
ビデオ(MPEG2)取込
持ち出し番組
持ち出し番組のかんたん転送

4 [▲][▼]で番組を選び、青を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

選択を取り消すには
[▲][▼] で番組を選び、[青] を押す

5 すべてを選んだあと、決定を押す

6 [◀][▶]で「転送を開始する」を選び、決定を押す

持ち出せる番組一覧
すべて
かんたん：かんたん転送に登録されている番組
9/ 7(日) 地上D 102 映画「K2」
9/ 8(月) 地上D 015 夕方ニュース
9/ 9(火) 地上D 004 サッカー
9/10(水) ドラマスペシャル
地上D 101 開始時刻 14:00 録画時間 0:30 (67MB)
選択中の番組のみ画像が表示されます。[ダウンロードした番組(➔96)は画像を表示しません]

転送内容を変更するには
[◀][▶] で「転送内容を変更する」を選び、[決定] を押す
(番組の取り消しは[黄]を、番組の並び替えは[緑]を押して行うことができます)

転送を中止するには
戻る を 3 秒以上押す

持ち出し番組の確認と編集	「持ち出せる番組 一覧から転送する」(➜100)手順 3 のあと **1 [▲][▼] で番組を選び、サブメニュー S を押す** **2 [▲][▼] で項目を選び、決定を押す**(➜ 下記へ)	
	転送	番組を転送します。(➜100 手順 6 へ)
	番組消去	番組を消去します。
	かんたん転送の設定	「かんたん転送」(➜100)の登録をします。 (かんたん が表示されます)
	かんたん転送の解除	「かんたん転送」(➜100)の登録を解除します。
	視聴制限一時解除	●制限項目設定(➜147)で設定された視聴制限を解除します。 画面の指示に従って暗証番号(4けた)を入力してください。 表示されていない視聴制限のある番組を表示します。

記録可能時間の目安

SDカード								
128 MB	256 MB	512 MB	1 GB	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
約 41 分	約 1 時間 20 分	約 2 時間 39 分	約 5 時間 20 分	約 10 時間 51 分	約 21 時間 19 分	約 43 時間 24 分	約 87 時間 20 分	約 175 時間 12 分

本機では、情報量の多い番組(ビットレート 412 kbps) を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

●**最大番組数:99** [ハイビジョン動画(AVCHD) 以外の動画を含む]

転送(ダビング)の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送(ダビング)できる回数に限りがあります。

●通常の番組のダビング残り可能回数分だけ、持ち出し番組を転送することができます。通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。

1 表示のある番組について

転送すると、HDD の番組は消去されます。

●通常の番組･持ち出し番組ともにHDDから消去されます。

●「かんたん転送」または持ち出せる番組一覧から転送した番組は、「かんたん転送」の登録は解除されます。

●選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。

●転送中は以下のようになります。
･通常の番組の再生はできません。
･録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。

●ディスクに予約録画中は、転送できません。

●録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。

●転送した番組は、再生停止位置(➜50「続き再生メモリー機能」)とチャプターマーク(➜60)を通常の番組から引き継ぎます。
･ダウンロードした番組(➜96)では再生停止位置は引き継ぎません。
･ワンセグ放送の番組を同時録画して作成した持ち出し番組は転送時のチャプターマークを、それ以外の持ち出し番組は作成時のチャプターマークを引き継ぎます。
･位置は多少ずれる場合があります。また、再生機器によっては、正しく働かない場合があります。

●再生する機器によっては、字幕の表示ができない場合があります。

●通常の番組がプロテクト設定(➜56)されている「1 回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。

●視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」(➜ 上記)を行うと、表示されるようになります。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す（つづき）

転送した番組を確認・消去する

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）
- SD カードを入れると、右記画面が表示されます。

①[▲][▼] で「持ち出し番組」を選び、[決定] を押す
②[▲][▼] で「持ち出し番組を確認する」を選び、[決定] を押す
・下記の手順 4に進みます。

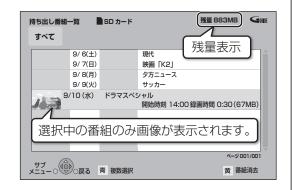
1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼]で「SD カード」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「持ち出した番組を確認」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]で番組を選ぶ

番組の内容を確認するには
① [サブ メニュー] を押す
② [▲][▼] で「内容確認」を選び、[決定] を押す

持ち出し番組を消去するには
① [黄] を押す
② [◀][▶] で「消去」を選び、[決定] を押す
- 本機以外で記録された持ち出し番組には、プロテクト設定されている場合があります。その場合、本機では消去できません。

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。

ドアホンやセンサーカメラからの映像を再生する

ドアホンやセンサーカメラからの映像を HDD に録画し、あとから映像を確認することができます。
●H.264 対応のセンサーカメラからの場合は動画(音声付き)を、H.264 非対応のセンサーカメラやドアホンからの場合はコマ送りの画像(連続静止画)を記録することができます。

対応機器については(➜125)

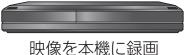
準備
●本機とドアホンやセンサーカメラを接続する(➜124)
●ドアホンやセンサーカメラの設定をする(➜143)

ドアホンやセンサーカメラからの映像を録画

ドアホン　センサーカメラ

ドアホンの呼出ボタンが押されると…

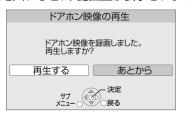
センサーカメラが反応すると…

映像を本機に録画

●ドアホン録画が実行された場合のみ、録画終了後に" ✉ "が点滅します。
●録画は最大で約 30 秒まで記録します。ドアホンの場合、応答すると録画は止まります。
●以下の場合、ドアホン·センサーカメラ録画はされず通知のみ記録します。
・2 番組同時録画中
・高速ダビングと録画の同時実行中
●ドアホン·センサーカメラ録画は、本機の録画モードとは関係なく録画します。

何らかの不具合により、正常に録画できなかった場合の内容の補償、直接·間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。

ドアホン・センサーカメラ録画をしない場合は
初期設定「ドアホン録画」または「センサーカメラ録画」を「しない」にする。(➜155)

録画された映像を再生する

ドアホン映像に新着の映像がある場合、本機の電源を入れると、下記画面が表示されます。

[◀][▶] で「再生する」を選んで [決定] を押すと、右記手順 4 に進むことができます。

●最大記録件数 ：ドアホン映像 400
センサーカメラ映像 400
400 件を超えると、古い映像から削除されます。削除したくない映像はプロテクトを設定してください。(➜105)
●ビエラとドアホンやセンサーカメラを接続し、ビエラ側でもドアホンやセンサーカメラの映像を見る場合、本機に録画される映像のコマ数が少なくなる場合があります。
●ドアホン·センサーカメラ映像の再生中に、ドアホン·センサーカメラ録画が始まると、再生を終了します。

基本操作
1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

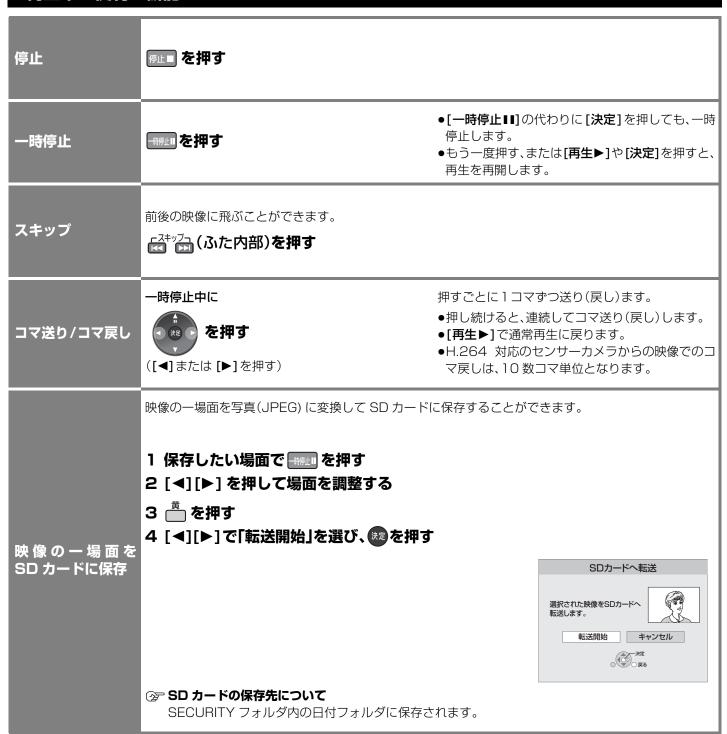
3 「ドアホン・センサーカメラ映像」を選び、決定を押す

ドアホン映像一覧を表示するには
[赤] を押す

センサーカメラ映像一覧を表示するには
[緑] を押す

4 映像を選び、決定を押す
●映像の再生が終了すると、次の映像を表示します。

新着映像には「未チェック」を表示
録画した機器の名称を表示

ドアホンやセンサーカメラからの映像を再生する(つづき)

再生中の便利な機能

停止	[停止■] **を押す**	
一時停止	[一時停止II] **を押す**	●[**一時停止 II**]の代わりに[**決定**]を押しても、一時停止します。 ●もう一度押す、または[**再生▶**]や[**決定**]を押すと、再生を再開します。
スキップ	前後の映像に飛ぶことができます。 [スキップ ⏮][⏭]**(ふた内部)を押す**	
コマ送り/コマ戻し	**一時停止中に** [◀][決定][▶] **を押す** ([◀]または[▶]を押す)	押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。 ●押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。 ●[**再生▶**]で通常再生に戻ります。 ●H.264 対応のセンサーカメラからの映像でのコマ戻しは、10 数コマ単位となります。
映像の一場面をSD カードに保存	映像の一場面を写真(JPEG)に変換して SD カードに保存することができます。 **1 保存したい場面で** [一時停止II] **を押す** **2 [◀][▶]を押して場面を調整する** **3** [黄] **を押す** **4 [◀][▶]で「転送開始」を選び、**[決定]**を押す** SDカードへ転送 選択された映像をSDカードへ転送します。 転送開始　キャンセル 決定　戻る ☞ **SD カードの保存先について** SECURITY フォルダ内の日付フォルダに保存されます。	

録画された映像を編集する

基本操作
①選び
②決定する

1
を押す

2
「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3
「ドアホン・センサーカメラ映像」を選び、決定を押す

☞ **ドアホン映像一覧を表示するには**
[赤] を押す

☞ **センサーカメラ映像一覧を表示するには**
[緑] を押す

4
映像を選んで、
を押す

☞ **複数の映像を選択するには**
（「映像消去」「プロテクト設定 / 解除」のみ）
映像を選び、[青] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。
もう一度 [青] を押すと解除されます。

5
編集する項目を選び、決定を押す（→右記へ）

例）
- 映像消去
- プロテクト設定
- プロテクト解除
- 全映像をバックアップ
- バックアップからの復元
- センサーカメラへ

☞ **前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞ **バックアップ / 復元を中止するには**
戻る を 3 秒以上押す

項目	操作
映像の消去 映像消去	**「消去」を選び、決定を押す**
誤消去防止の設定 / 解除 プロテクト設定 / 解除	映像を誤って消去しないよう、映像ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定または解除ができます。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
バックアップ 全映像をバックアップ	HDD にある全てのドアホンまたはセンサーカメラ映像を DVD-RAM にバックアップすることができます。 ●バックアップする DVD-RAM は、バックアップ専用としてお使いください。 （バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去するためにフォーマットすると、大切な録画番組なども消去されてしまいます） **「開始」を選び、決定を押す** お知らせ ●バックアップデータを再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。 ●同じ DVD-RAM にドアホンとセンサーカメラの映像をバックアップする場合、データ容量が大きくなるとバックアップできなくなります。 ●バックアップ中は他の操作はできません。予約録画の実行もされません。 ●一度バックアップしたディスクには、フォーマットしない限り、バックアップはできません。
バックアップデータの復元 バックアップからの復元	DVD-RAM にバックアップしたデータを HDD に復元します。 ●万が一、HDD が故障してデータが損なわれた場合には HDD の修理が完了してから復元を行ってください。 **「開始」を選び、決定を押す** お知らせ ●復元すると、HDD に記録されているドアホン映像またはセンサーカメラ映像はすべて消去されます。（復元を中止した場合もすべて消去されます） ●復元中は他の操作はできません。予約録画の実行もされません。

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）、またはアンプをHDMI経由で接続すると連動操作を行うことができます。
●本機はビエラリンク (HDMI)Ver.4 に対応しています。

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは
●本機と HDMI ケーブル（市販品）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。
●ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。

接続

本機とビエラリンク (HDMI に対応した当社製テレビ（ビエラ）をHDMIケーブルで接続する**（➜118）**
☞ **アンプと接続する場合は****（➜122）**
●当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
品番：RP-CDHG10（1.0 m）、RP-CDHG15（1.5 m）、RP-CDHG20（2.0 m）、RP-CDHG30（3.0 m）など

設定

① **初期設定「ビエラリンク制御」（➜153）を「入」にする**
② **接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する**
③ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

☞ **ビエラリンク (HDMI) を使わない場合は**
初期設定「ビエラリンク制御」**（➜153）**を「切」にする

テレビの電源と連動させる ●ビエラリンク(HDMI)対応の当社製テレビに接続時	本機とテレビの電源操作を連動させることができます。 **設定を有効にするには** ●**初期設定**「ビエラリンク制御」(➜153)が「入」の場合: ・本機の電源を「入」にするとテレビの電源も「入」になり、本機の入力に切り換わる ・テレビの電源を「切」にすると本機の電源も「切」になる ●**初期設定**「電源オフ連動」(➜153)が「入」の場合: ・本機の電源を「切」にするとテレビの電源も「切」になる ●**初期設定**「ビエラリモコンで操作」(➜153)が「入」の場合: ・テレビの電源を「入」にすると本機の電源も「入」になり、本機の入力に切り換わる ●接続したテレビでも電源に連動する設定を行ってください。 詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。
音声の出力先を切り換える ●ビエラリンク(HDMI)対応の当社製テレビとアンプに接続時	本機の音声出力先を切り換えることができます。 **操作方法**(➜19)
自動的に適したサウンドにする[番組ぴったりサウンド(オートサウンド連携)] ●ビエラリンク(HDMI)Ver.3 以降対応の当社製テレビとアンプに接続時	アンプから出力されるサウンドが、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。 ●以下の場合に働きます。 ・デジタル放送の番組を視聴中または再生中(RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を除く) ・BD-V DVD-V CD を再生中 ●他の機器で記録したディスクでは働きません。 **設定を有効にするには** ●**初期設定**「オートサウンド連携」(➜153)を「入」にする ●接続したテレビでは以下の設定が必要です。 ・テレビの音声がアンプから出るようにする ・サウンドを番組情報に応じて自動的に切り換えるモードにする [操作例: **[サウンド]**を押し、「オート」(自動的に切り換えるモード)にする] 詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。
テレビの電源を切っている間、本機の待機電力を少なくする(ECO スタンバイ) ●ビエラリンク(HDMI)Ver.4以降対応の当社製テレビに接続時	リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の状態を設定します。 ●ビエラの電源「切」時には待機時消費電力を少なくし、ビエラの電源「入」時には本機がすぐに起動できる状態に設定します。[**初期設定**「クイックスタート」(➜149)が「入」時] **設定を有効にするには** ●**初期設定**「ECO スタンバイ」(➜153)を「入」にする ●接続したテレビの「ECO スタンバイ」の設定を有効にする ・詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

●テレビやアンプのビエラリンクのバージョンは、各機器の取扱説明書でご確認ください。

ビエラリンク (HDMI) を使う（つづき）

テレビのリモコンで本機を操作する

●ビエラリンク(HDMI)Ver.3以降対応の当社製テレビに接続時

テレビのリモコンで本機を操作するには、あらかじめテレビの操作から本機の操作に切り換えるための切り換え操作が必要です。
切り換え操作の詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

設定を有効にするには

●**初期設定**「ビエラリモコンで操作」(**➜153**)を「入」にしてください。

テレビのリモコンで操作できるボタンは？

[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー][番組表][番組ナビ][デジタル][BS][CS] [チャンネル ∧,∨][アクトビラ][データ ⓓ][元の画面][チャンネル番号入力][字幕] [お好み選局][音声切換] と数字ボタン、色ボタン

ビエラの機種によっては、ボタンの配置と使用できるボタンが異なる場合があります。
詳しくはビエラの取扱説明書または電子説明書（VIERA 操作ガイド）をご覧ください。

ビエラのリモコン（例 : TH-32LZ85）

お知らせ

●本機とテレビの電源が「入」の状態で、テレビ側の入力切換の設定が本機のときに、ビエラのリモコンで本機を操作することができます。
●本機を操作するときは、ビエラのリモコンをテレビに向けてください。

テレビのリモコンで本機を操作する ●ビエラリンク (HDMI)Ver.3 以降対応の当社製テレビに接続時

番組表を表示する	[番組表] を押す ●番組表の詳細操作は、24、26 ページをご覧ください。
ケーブルテレビ の「操作一覧」を表示する	[番組ナビ] を押す ●ボタンの名称は本機リモコンと異なります。 ●[サブ メニュー] を押して「操作一覧」を表示させることもできます。(➜ 下記)
放送を選ぶ	[デジタル] [BS] [CS] を押す ●ボタンの名称は本機リモコンと異なります。 ・[デジタル]:地上デジタル放送 ・[BS]:BS デジタル放送 ・[CS]:CATV デジタル放送
チャンネルを選ぶ	[チャンネル∧,∨] [チャンネル番号入力] [お好み選局] または数字ボタンを押す ●ボタンの名称は本機リモコンと異なります。 ・[チャンネル番号入力]:3 けた入力
ブラウザを利用する	[アクトビラ] を押す ●ボタンの名称は本機リモコンと異なります。 ●ブラウザの詳細操作は、94 ページをご覧ください。
ケーブルテレビ放送の画面に戻る	[元の画面] を押す
データ放送を見る	[データ ⓓ] を押す ●データ放送の詳細操作は、20 ページをご覧ください。
サブメニューボタンを使う	ケーブルテレビの番組を視聴中: [サブ メニュー]を押す サブメニュー画面が表示され、以下のボタンを押すとそれぞれの操作を行うことができます。 [青]:番組内容の表示(➜18) [赤]:録画一覧の表示(➜45) [緑]:放送の切り換え(➜14) [黄]:操作一覧の表示(➜181) 画面モード切換 / 放送メニュー / HDD/BD/SD / 青 番組内容 / 赤 録画一覧 / 緑 放送切換 / 黄 操作一覧 / サブメニュー / 決定 / 戻る 番組の再生中: [サブ メニュー]を押す 再生操作パネルが表示され、テレビのリモコンで早送り・早戻し(サーチ)、停止などの操作ができます。 ●[▲] [▼] [◄] [►] [決定] [戻る] [サブ メニュー] で操作することができます。 ●もう一度 [サブ メニュー] を押すと、「画面モード切換」(➜16)、「再生中番組の保存」(➜72)を行うことができます。 再生操作パネル 例)番組再生時: 30 秒スキップ / ◄◄早戻し / 一時停止 / 早送り►► / サブメニュー / 停止 / 表示終了
音声や字幕を切り換える	視聴中に音声や字幕表示の切り換えなどができます。 [字幕] または [音声切換] を押す

●テレビのビエラリンクのバージョンは、テレビの取扱説明書でご確認ください。

別の部屋のテレビなどで再生する

HDD

LAN 端子でネットワーク接続した DLNA 対応機器から本機の HDD に録画した番組を再生することができます。
- DLNA 対応の当社製機器と接続時はさらに便利にお使いいただけます。
- 本機から DLNA 対応機器にある番組などを再生することはできません。

準備
- ネットワーク接続と設定をする。(➜124、139)
- ビエラリンク(LAN)設定またはホームサーバー設定をする。(➜ 140、141)

DLNA 対応の当社製機器から再生する

ビエラリンク (LAN)

ネットワーク接続した DLNA 対応の当社製機器※から本機の録画一覧(HDD)の番組を再生することができます。

※当社製テレビ(PZR900 シリーズ)を含む

- 編集はできません。[消去 (➜62) のみ可能]

機器の操作は機器の説明書をご覧ください。

1 機器のリモコンを使って、本機の「録画一覧」を表示させる

- 機器によって、「録画一覧」を表示させる方法は異なります。

2 [▲][▼][◀][▶]で再生する番組を選び、[決定] を押す

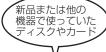
- 「再生操作パネル」が表示されます。
- [▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]で操作することができます。

「再生操作パネル」が表示されていないときは
[サブ メニュー] を押す

DLNA 対応の他社製機器から再生する ホームサーバー機能	ネットワーク接続した DLNA 対応の他社製機器から本機の HDD に録画した番組を再生することができます。 ●番組の一覧画面や再生可能な番組、再生方法などは接続した機器によって異なります。操作方法は接続した機器の説明書をご覧ください。 ●編集はできません。 **接続した機器で、本機の番組を選び、再生を始める** ●再生中の操作は、接続した機器の操作方法に従ってください。

お知らせ

●ディスクまたは写真を再生することはできません。
●以下の場合、再生できません。
 · ダウンロードした番組(➜96)（DLNA 対応の他社製機器から再生時）（2009 年 10 月現在）
 · 録画中の番組
 · i.LINK(TS) 入力から録画した番組
●本機が以下の操作中の場合、再生できません。
 · 2 番組同時録画中
 · BD ビデオや AVCHD のディスク、SD カードを再生中
 · 高速ダビングと録画の同時実行中
 · 初期設定画面表示中
 · ブラウザなどのネットワークを利用する機能を使用中　など
●再生する機器によっては、以下の場合があります。
 · 本機に取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）が再生できない
●2 台以上の機器で同時に再生することはできません。
●再生中に本機を操作して初期設定画面を表示すると、再生を終了します。

フォーマットする

そのままでは
本機で記録できない
場合があります。

フォーマット
すると

本機で記録できる
ようになります。

DVD の場合：
フォーマットすることによって、ディスクの記録方式を設定できます。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。(パソコンデータなども含む)
すべて消去してよいか確認してから行ってください。
(番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます)

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

●デジタル放送を記録した DVD を他の機器で再生する場合は、フォーマットする前に **75 ページ**をご覧ください。

ディスクは？	記録方式は？	フォーマットが必要か？	備考
BD-RE BD-R	—	必要	記録方式の設定はありません。 どの番組でも記録できます。
RAM	VR 方式	— (ディスクによる)	市販のディスクでフォーマット済みの場合は、フォーマットを行わずに記録できます。 ●フォーマットが必要な場合は、「標準画質で記録(VR 方式)」を選んで、フォーマットしてください。
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。	
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録(AVCREC 方式)」
-R -R DL	VR 方式	必要	「標準画質で記録(VR 方式)」
	ビデオ方式	不要	フォーマットせずに記録できます。
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録(AVCREC 方式)」
-RW	VR 方式	必要	「VR 方式」
	ビデオ方式	必要	「ビデオ方式」
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。	

それぞれの記録方式の特徴は？(➜12)

お知らせ

- -R -R DL 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(➜114)を行うと記録方式を変更できません。
- RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- CD-R/RW、記録済みのBD-R、DVD-R、DVD-R DL はフォーマットできません。
- HDD フォーマットは、**初期設定**「HDD のフォーマット」(➜151)で行ってください。

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW SD

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
●ディスクまたはSDカードを入れる。

1 [操作一覧] を押す

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SD カード」を選び、[決定] を押す

3 「BD 管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、[決定] を押す

●未使用の -R、-R DL を入れた場合、下記「DVD-R のフォーマット」手順 4 へ

例) RAM

4 フォーマットの項目を選び、[決定] を押す

(➜下記へ)

BD-RE

BD-RE の フォーマット

BD-R

●未使用のディスクのみ

BD-R の フォーマット

5 「はい」を選び、[決定] を押す

6 「実行」を選び、[決定] を押す

DVD-RAM

DVD-RAM の フォーマット

ディスクのフォーマット
記録方式を選択してください。
ハイビジョン画質で記録(AVCREC方式)
標準画質で記録(VR方式)
キャンセル

5 記録方式(➜112)を選び、[決定] を押す

6 「はい」を選び、[決定] を押す

7 「実行」を選び、[決定] を押す

DVD-R DVD-R DL

●未使用のディスクのみ

DVD-R の フォーマット

ディスクのフォーマット
記録方式を選択してください。
ハイビジョン画質で記録(AVCREC方式)
標準画質で記録(VR方式)
標準画質で記録(ビデオ方式)

4 記録方式(➜112)を選び、[決定] を押す

5 「はい」を選び、[決定] を押す

6 「実行」を選び、[決定] を押す

●フォーマットせずに記録した場合、記録方式はビデオ方式になります。

DVD-RW

DVD-RW の フォーマット

5 記録方式(➜112)を選び、[決定] を押す

6 「実行」を選び、[決定] を押す

SD カード

カードの フォーマット

5 「はい」を選び、[決定] を押す

6 「実行」を選び、[決定] を押す

お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

●フォーマットには通常は数分(RAM 最大約70分)かかります。
RAM -RW(VR) 2分以上かかる場合のみ [戻る] を押すと中止できます。
●ディスクに汚れや傷があると、フォーマットに時間がかかったり、できない場合があります。
●SD 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SDカードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
●ビデオ方式にフォーマットした場合は、デジタル放送を記録できません。

前の画面に戻るには

を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

フォーマットする

便利機能

ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
(ファイナライズしたディスクではできません)

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
●ディスクを入れる。

1 **を押す**

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定を押す

3 「BD 管理」または「DVD管理」を選び、決定を押す

4 操作したい項目を選び、決定を押す
(➜下記へ)

例) RAM

ディスクに名前を付ける

ディスク名入力
BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

文字入力については(➜116)

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

-R(V) -R DL(V) -RW(V)
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

誤消去防止の設定/解除

ディスクプロテクト
BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

5 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

プロテクト設定すると「🔒 オン」が表示

全番組の消去

全番組消去
BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

実行すると元に戻すことはできません。

例) RAM

全番組消去
ディスクに録画されている番組をすべて消去します。 全番組消去を行いますか?
はい　いいえ

5 「はい」を選び、決定を押す

6 「実行」を選び、決定を押す

お知らせ
- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- プロテクトを設定した番組がある場合は、消去できません。
- BD-RE RAM 写真は消去されません。
- BD-R -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) 消去しても残量は増えません。

前の画面に戻るには

 を押す

画面を消すには

 を数回押す

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

本機で記録したディスクを他の機器で再生する場合

ファイナライズすると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては
他の機器で再生できない場合があります。

ファイナライズすると

再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

ファイナライズすると

再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。

対応機器には AVCREC™ が付いています。

・対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

BD-RE RAM ファイナライズは不要です。

114ページ手順1～4のあとに操作します。

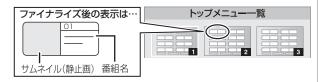
メニュー画面の背景の設定

トップメニュー

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

5 お好みの背景を選び、決定を押す

●トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(➜58「サムネイル変更」)

再生の始まりかたの設定

ファーストプレイ選択

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。

5「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、決定を押す

トップメニュー :番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル1 :先頭の番組から再生する

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

BD/DVD機器で再生できるようにする

他のDVD機器再生(ファイナライズ)

-R -R DL -RW

他のBD機器再生(ファイナライズ)

BD-R

5「はい」を選び、決定を押す

6「実行」を選び、決定を押す

●ファイナライズは、数分から最大約60分かかります。(実行中は中止できません)
●高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(最大約4倍)

他のDVD機器再生(ファイナライズ)
ファイナライズを行うと、他のDVD機器で再生できるようになります。
ファイナライズ後は再生専用となり、録画や編集等ができなくなります。
ファイナライズを行いますか?
はい いいえ

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

ファイナライズすると…

●再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
・-RW(V) フォーマット(➜112)すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
・-RW(VR)「ファイナライズ解除」(➜ 下記)を行うと、記録や編集ができます。

●本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。

ファイナライズの解除

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。
●-RW(V) は解除できません。
●本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

5「はい」を選び、決定を押す

6「実行」を選び、決定を押す

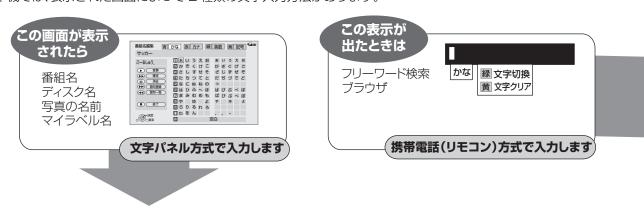
前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

文字入力

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

文字パネル方式で文字入力する(番組名、ディスク名、マイラベル名、写真の名前を入力するとき)

1 [青][赤][緑][黄]で文字の種類を選び、[決定]を押す
- 漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

2 [▲][▼][◀][▶]で入力する文字を選び、[決定]を押す
- この手順を繰り返し、文字を入力します。

3 入力が終わったら、[停止■]を押す

4 [◀][▶]で「保存」を選び、[決定]を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]、[12]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

1 **[3]を押す**
- 「さ」行に移動します。

2 **[3]を2回押し、[決定]を押す**
- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する	[▶▶] を押す
ひらがなを漢字変換する	[再生 ▶] を押して [▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す ●[戻る] を押すと、入力画面に戻ります。 ●JIS 第 1 水準の漢字コードのみ入力可能
文字を消す	[一時停止 ❚❚] を押す
よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去	**語句を登録する** ① 語句を入力したあと、[▶▶❙](ふた内部)を押す ② [◀][▶] で「登録」を選び、[決定] を押す **語句を呼び出す** ① [❙◀◀](ふた内部)を押す ② [▲][▼][◀][▶] で語句を選び、[決定] を押す **語句の消去** ① [❙◀◀](ふた内部)を押す ② [▲][▼][◀][▶] で語句を選び、[サブ メニュー] を押す ③ [▲][▼] で「語句消去」を選び、[決定] を押す ④ [◀][▶] で「消去」を選び、[決定] を押す

- **入力できる文字数について(➜185)**

携帯電話（リモコンボタン）方式で文字入力する（フリーワード検索、ブラウザで入力するとき）

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。ブラウザの入力などで使います。
（番組名やディスク名はこの方法では入力できません）

1 [1]～[12]で文字を入力する

例）「えいが」と入力するとき

[1]	▶	[1]	[2]	[10]
4回押す（え）	1回押す	2回押す（い）	1回押す（か）	1回押す（゛）

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。（➜ 下記）

漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードのみ入力可能

映画
栄華
顥娃が
英が
瑛が

2 決定を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画 — カーソル

3 [◀][▶]で「登録」を選び、決定を押す

文字の種類を変換する	[緑] を押して文字の種類を選び、[決定] を押す ●[緑] を押すごとに、（かな → カナ → 英数 → 数字）に切り換わります。 ●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。
同じボタンで続けて入力する	[▶] でカーソルを右に移動させる 例）「あい」と入力する場合：[1][▶][1][1] の順に押す
文節を分けて変換する	例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合： ① 「えいが」と入力して、[▼] を押す　映画 ② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ　えいが ③ [▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す　映が
記号を入力する	① “きごう” と入力する ② [▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す
文字を追加する	[◀][▶] でカーソルを移動させたあと、文字を入力する （カーソルの左に文字が追加されます）
文字を消す	[◀][▶] でカーソルを移動させたあと、[黄] を押す（カーソルの文字が削除されます）

携帯電話方式での入力文字一覧表

ボタン＼入力モード	かな											カナ											英数												数字
[1]	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1	@	.	/	:	~	_	1						1
[2]	か	き	く	け	こ	2						カ	キ	ク	ケ	コ	2						a	b	c	A	B	C	2						2
[3]	さ	し	す	せ	そ	3						サ	シ	ス	セ	ソ	3						d	e	f	D	E	F	3						3
[4]	た	ち	つ	て	と	っ	4					タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	4					g	h	i	G	H	I	4						4
[5]	な	に	ぬ	ね	の	5						ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5						j	k	l	J	K	L	5						5
[6]	は	ひ	ふ	へ	ほ	6						ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6						m	n	o	M	N	O	6						6
[7]	ま	み	む	め	も	7						マ	ミ	ム	メ	モ	7						p	q	r	s	P	Q	R	S	7				7
[8]	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	8					ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	8					t	u	v	T	U	V	8						8
[9]	ら	り	る	れ	ろ	9						ラ	リ	ル	レ	ロ	9						w	x	y	z	W	X	Y	Z	9				9
[10]	、	。	？	！	・	（	）	0				、	。	？	！	・	（	）	0				ー	,	;	'	"	?	!	(	)	&	¥	0	0
[11]	わ	を	ん	ゎ	ー	スペース						ワ	ヲ	ン	ヮ	ー	スペース						スペース												*
[12]	改行											改行											改行												#

●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押す）
未確定の文字があるときに [12] を押すと、表の逆順で文字が変わります。
●フリーワード検索では、英数で文字入力した場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
●濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

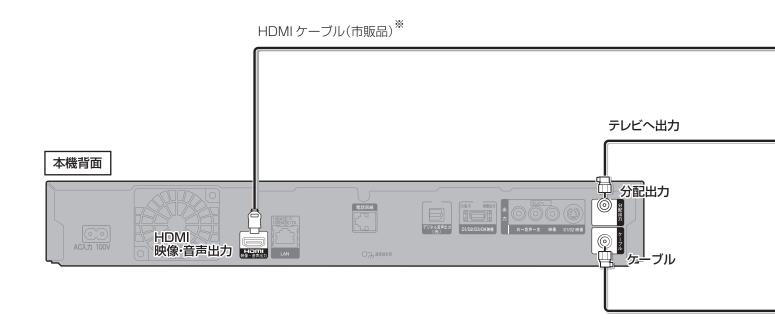
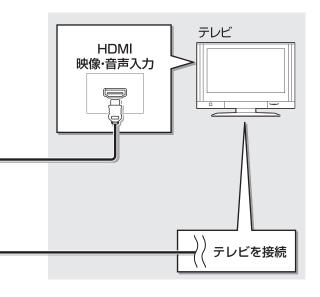
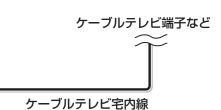
お知らせ

●入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
●表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

接続1 テレビとケーブル宅内線を接続する

●すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。

このページでは、HDMI ケーブル(市販品)を使用した接続を紹介しています。
それ以外のケーブルで接続する場合は、120 ページをご覧ください。

HDMI ケーブル(市販品)で接続すると、高画質･高音質の映像と音声で楽しむことができます。
さらに、ビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)と接続すると、連動操作が可能になります。

※ HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ (➜ 表紙)のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。

設定：
●初期設定「HDMI 映像優先モード」:「入」(➜134)
●初期設定「HDMI 音声出力」:「入」(➜134)
(工場出荷時は「入」)

お願い

●ケーブル端子、分配出力端子にF型接栓を接続するときは、緩まない程度に手で締めつけてください。締めつけすぎると、本機内部が破損する恐れがあります。
●ケーブル端子には、ケーブル宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
●分配出力端子には、BS アンテナなどへ電源供給を行っているケーブルを接続しないでください。

その他の接続：

●「アンプと接続する」➜122
●「電話回線に接続する」➜123

ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) とは

●本機とHDMIケーブル(市販品)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。
●ビエラリンク (HDMI) は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
●本機は、ビエラリンク (HDMI)Ver.4 に対応しています。

お知らせ

●HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
●当社製 HDMI ケーブルを推奨します。
品番：RP-CDHG10(1.0 m)、RP-CDHG15(1.5 m)、RP-CDHG20(2.0 m)、RP-CDHG30(3.0 m)など

接続1 テレビとケーブル宅内線を接続する（つづき）

HDMI 端子以外で接続する

HDMI 端子での接続以外で、映像と音声のコードを接続する場合にご覧ください。

●音声端子が 1 つしかない（モノラル）テレビをお使いのときは、ステレオ←→モノラルの音声コード（市販品）をお使いください。

D 端子について

●480p 以上の信号に対応したコンポーネント（色差）端子、D2 以上の D 端子を持つテレビと接続すると、プログレッシブ映像やハイビジョン映像を楽しむことができます。

●テレビの入力端子が D1 のときは、インターレース映像のみの出力となります。（S 端子より高画質です）

●テレビのD1 またはD2映像入力端子に接続した場合は、はじめて本機の電源を入れたときに画面に映像が映らないときがあります。映像を映すには、本体の [■ 停止] と [▶ 再生] を同時に 5 秒以上押してください。

テレビ側の端子　　本機側の端子

D 端子に接続する

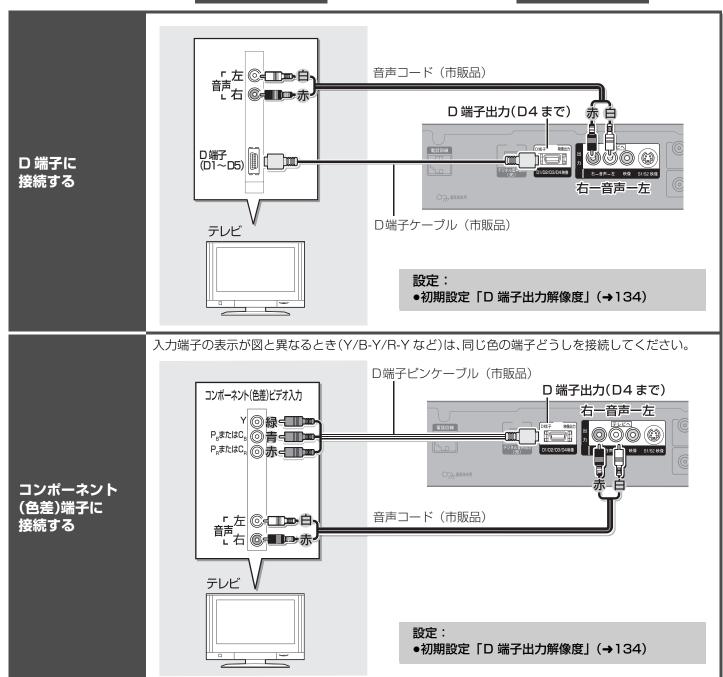
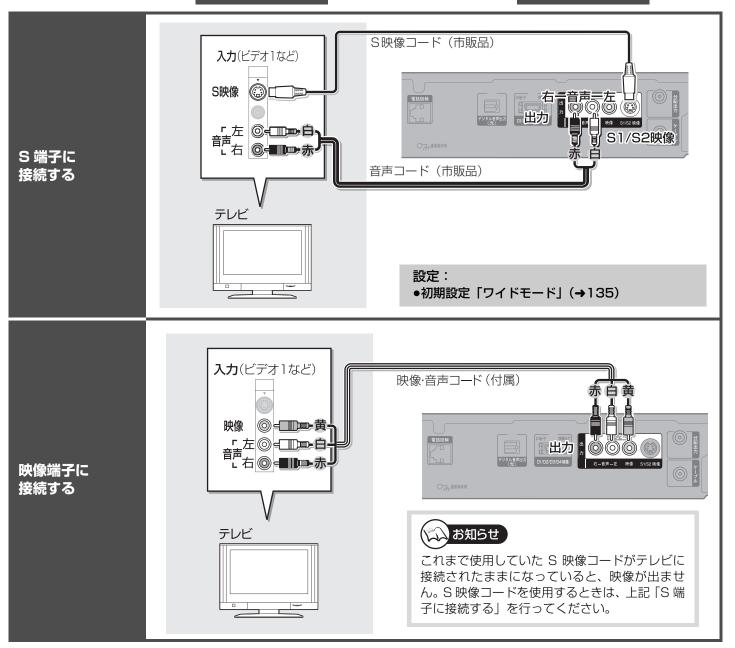
設定：
●初期設定「D 端子出力解像度」（➔134）

コンポーネント（色差）端子に接続する

入力端子の表示が図と異なるとき（Y/B-Y/R-Y など）は、同じ色の端子どうしを接続してください。

設定：
●初期設定「D 端子出力解像度」（➔134）

設定：
●初期設定「ワイドモード」（➜135）

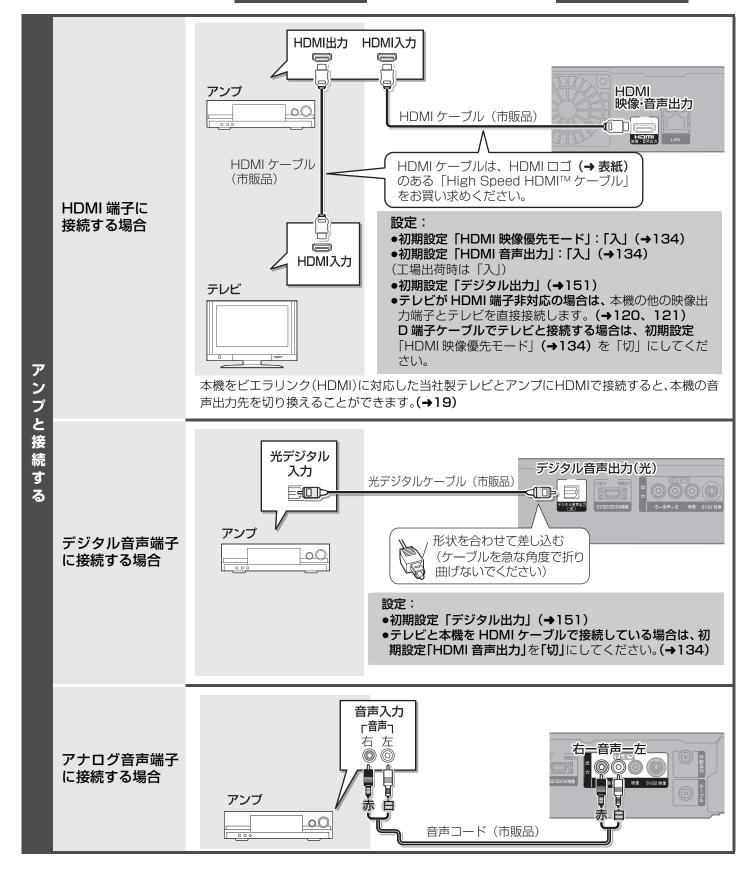
お知らせ
これまで使用していた S 映像コードがテレビに接続されたままになっていると、映像が出ません。S 映像コードを使用するときは、上記「S 端子に接続する」を行ってください。

お知らせ

●4:3標準テレビにS端子または映像端子で接続し、16:9映像を出力する場合、映像が縦に引き伸ばされます。その場合は、**初期設定**「D端子出力解像度」(**➜154**)を「D1」または「D2」に、**初期設定**「TVアスペクト」(**➜153**)を「4:3」に設定してください。テレビにアスペクト設定がある場合は、テレビ側の設定で調整することも可能です。

●コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受信できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

接続2 アンプと接続する

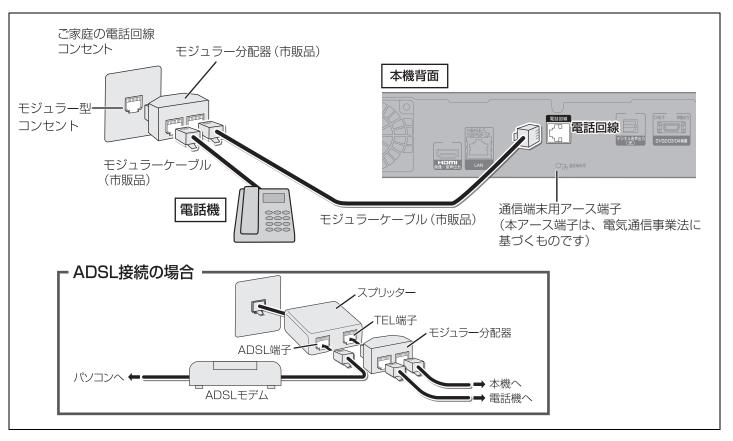
アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

☞ **デジタル出力される音声と接続・設定の関係(➜157)**

接続3 電話回線に接続する

電話回線は、有料番組や視聴者参加番組を楽しむときに必要になる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

ご家庭の電話回線コンセント
モジュラー分配器（市販品）
本機背面
モジュラー型コンセント
電話回線
モジュラーケーブル（市販品）
電話機
モジュラーケーブル（市販品）
通信端末用アース端子
（本アース端子は、電気通信事業法に基づくものです）

ADSL接続の場合

スプリッター
TEL端子
モジュラー分配器
ADSL端子
パソコンへ
本機へ
電話機へ
ADSLモデム

接続後、「電話設定」を行ってください。（➜131）

お知らせ

- ●モジュラーケーブルを本機の LAN（10BASE-T/100BASE-TX）端子に誤って挿入しないでください。故障の原因になります。
- ●モジュラー分配器を本機の電話回線端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
- ● 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、3分配用モジュラー分配器をご使用ください。
- ●電話コンセントから機器までの長さに合わせて、市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。設置場所によっては壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮してください。
- ●ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続している場合や、当社製デジタルコードレス電話機でワイヤレスリンク接続している場合は、**放送設定**「電話設定」の「回線設定」で「プッシュ」を選んでください。**（➜131）**
- ●FAX と電話を並列接続した場合、セットトップボックスからの信号で FAX が誤動作することがあります。
- ●IP 電話回線に接続すると、つながらない場合があります。NTT の電話回線に切り換えると接続できる場合があります。切り換えの方法については IP 電話回線業者にお問い合わせください。
- ●以下の電話回線には接続できません。
  - ・ターミナルアダプターにアナログポートがない ISDN 回線
  - ・デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線
  - ・内線設定が 9 けた以上必要な構内交換機の電話回線
  - ・ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線（主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターが接続）

お知らせ

ご家庭の電話回線コンセントがモジュラー型（➜ 上記）でない場合、ご加入のケーブルテレビ局または NTT 営業所にご相談ください。

電話回線に関する工事は、資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。

接続4 ネットワーク接続をする

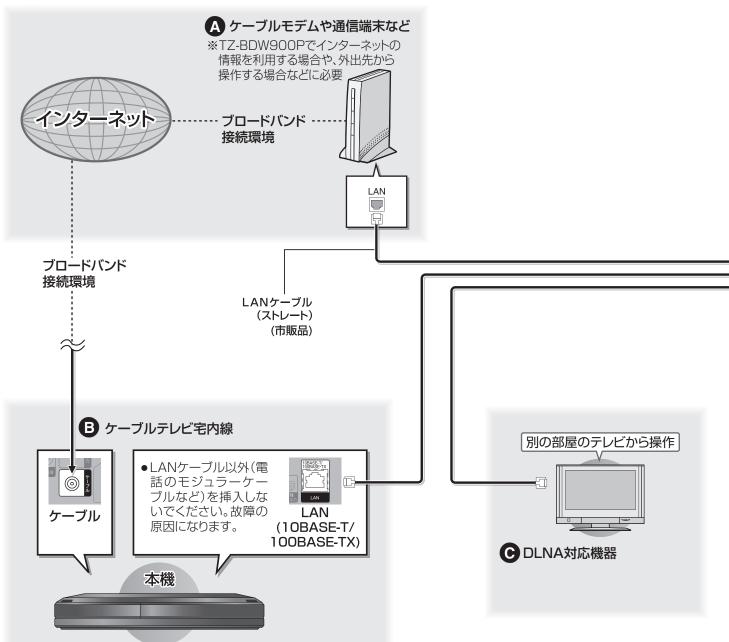
本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや、機能を利用することができます。(本書では、ブロードバンド環境をすでにお持ちであることを前提に説明しています。以下のサービスや機能を利用しない場合は、この接続は不要です。)

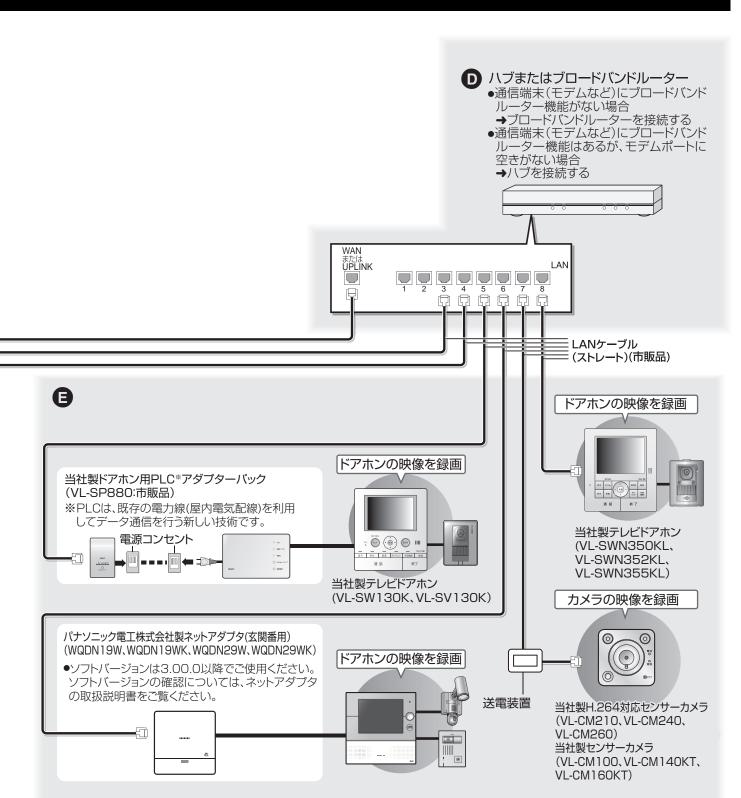
	1ヵ月の番組表を受信する (➜133)	BD-Live対応のディスクを楽しむ (➜53)	インターネットの情報を利用する (➜94)
TZ-BDW900M	ケーブルテレビ宅内線の接続が必要 (B) (本体表示窓にモデム接続ランプが点灯)		
TZ-BDW900F			
TZ-BDW900P	LAN 端子にブロードバンド環境の接続が必要 (A D)		

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりご利用いただけない場合があります。

必要な機器を接続する

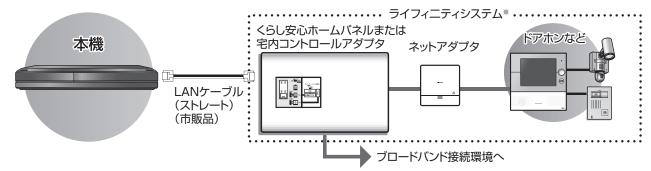
本機のネットワーク接続方法は、ご加入のケーブルテレビ局により異なりますので設置、設定、変更などは必ずご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のケーブルテレビ局ではなくご加入のプロバイダーにご相談ください。

●市販品の品番は 2009 年 10 月現在のものです。

接続後、ネットワークの設定と、連携する機器の設定を行ってください。(➜139〜144)

別の部屋のテレビから操作する(➜110)	外出先から操作する（➜142） （ブロードバンドレシーバー機能）	ドアホンやセンサーカメラの映像を録画する(➜103)
LAN 端子に宅内 LAN 環境の 接続が必要（C D）	非対応 LAN 端子にブロードバンド環境の接続が必要（A D）	LAN 端子に宅内 LAN 環境の 接続が必要（D E）

接続4 ネットワーク接続をする（つづき）

くらし安心ホームパネルまたは宅内コントロールアダプタ（パナソニック電工株式会社製）を経由してドアホンやセンサーカメラを接続する

本機はくらし安心ホームパネルまたは宅内コントロールアダプタと連携したドアホンやセンサーカメラの映像を録画できます。接続について詳しくは、くらし安心ホームパネルまたは宅内コントロールアダプタの取扱説明書をご覧ください。

- くらし安心ホームパネル（ホーム情報ブレーカ）のソフトバージョンは、2.00A 以降でご使用ください。ソフトバージョンの確認については、くらし安心ホームパネルの取扱説明書をご覧ください。

※「ライフィニティ（くらし安心ホームシステム）」は、住戸内の各設備機器がLANで連携することで実現する、便利なくらしの形です。

ネットワーク機能を快適に利用するために

ブロードバンドレシーバー機能は TZ-BDW900P のみ対応しています。

■ブロードバンドレシーバー機能について

個人情報の取り扱いについて

- 本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティー環境のもと、安全に保管・管理します。あらかじめご了承ください。
- 利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
  - ·他人に見られたり、教えたりしないでください。
  - ·第三者が本機の設置·設定を行った場合は、必ず変更してください。
  - ·修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し(➔155)、再設定してください。
  - ·機器を返却する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社およびご加入のケーブルテレビ局では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話を紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。

対応サービスについて

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器 (ADSL モデム、ルーターやハブなど) や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- サービスは対応サービス提供者が提供します。
- ブロードバンドレシーバー機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

■インターネットとの接続について

数年間インターネットに接続していない場合、インターネットに接続できないことがあります。

■免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社およびご加入のケーブルテレビ局では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。
- ブロードバンドレシーバー機能は、インターネットを介して遠隔操作を行うため、本機から離れた場所から当社およびご加入のケーブルテレビ局に問い合わせを受けた場合、本機自体の接続や現象など、目視確認が必要な内容についての回答および対応はできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社およびご加入のケーブルテレビ局ではお答えできません。

接続5 IC カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機への IC カードの常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

地上 /BS デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるために IC カードが必要です。

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、B-CAS カードのみの場合があります。
- IC カードに記載されている番号は、有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。便利メモ(➜ **裏表紙**)に記入しておいてください。

カードの取り扱い

- 折り曲げたり変形させない。
- 重い物を置いたり、踏みつけない。
- 水をかけたり、ぬれた手で触らない。
- IC 部には、手を触れない。
- 分解や加工をしない。

IC カードのテストをするには (➜130)

IC カードを抜くときは

① 電源コードをコンセントから抜く
② ゆっくりと IC カードを抜く

- IC カードには、IC (集積回路) が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- IC カードを抜き差ししたときは、3 秒以上経ってから、IC カードテストを行ってください。

IC カードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき指示に従って操作してください。

電源コードがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。

1 前面のとびらを開ける

2 IC カード挿入口に、B-CAS カードを奥まで差し込む

ICカード挿入口
(上段：C-CAS、下段：B-CAS)

絵柄表示面を上に

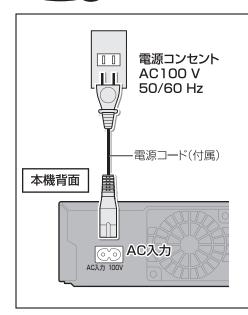
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

3 前面のとびらを閉じる

お知らせ

- 本機専用の IC カード以外は絶対に挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うと IC カードは機能しません。

接続6 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

電源を切っていても、デジタル放送からの情報受信や視聴記録の送信を自動的に行っていますので、IC カードの抜き差し時や異常時以外は抜かないでください。

電源「切」時の消費電力

クイックスタート(➜ 下記)	ケーブルモデム電源※	時計表示	消費電力
「入」時	「切」時	点灯時	7 W
「切」時	「切」時	消灯時	0.2 W

※ この設定は変更できない場合があります。
TZ-BDW900P にはこの設定はありません。

クイックスタートとは(設定方法は ➜149)
電源「切」状態からの起動を高速化します。(映像端子または S 端子接続時)
●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。

ただし「クイックスタート」が「入」の場合、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。
●待機時消費電力が増えます。
●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、[電源]以外のボタン操作が数分間できません。また、ドライブやHDDから動作音がしますが、故障ではありません。)
「クイックスタート」を「切」にすると、待機時消費電力は減りますが、起動に時間がかかるようになります。

設置設定をする

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

チャンネル設定をする

1 **を押す**

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼] で「放送設定」を選び、決定を押す

4 [▲][▼] で「設置設定」を選び、決定を押す

5 [▲][▼] で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

6 [▲][▼] で修正したい放送を選び、決定を押す(BS、CS1、CS2、CATV の場合 ➜ 130 ページへ)

7 (地上デジタルのみ)
[◀][▶] で修正する方法を選び、決定を押す (➜ 下記へ)

受信チャンネルを修正する

地上デジタル

初期スキャン

受信できる局を自動で探します。

8 TZ-BDW900F TZ-BDW900P

青を押し、方式切換の画面が表示されたら、
[◀][▶] で「パススルー」または
「トランスモジュレーション」を選び、決定を押す

●TZ-BDW900M をお使いの場合は選択画面は表示されません。手順9へお進みください。

9 [◀][▶] でお住まいの地域を選び、決定を押す

10 設定が終了したら、戻るを押す

再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

8 設定が終了したら、戻るを押す

マニュアル

チャンネル割り当てを使いやすく修正するなど、チャンネルを個別に設定するときに行います。

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHK教育・東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po：チャンネルポジション(変更できません)
「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。
●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。
●「1」～「36」は「設定チャンネル」(**➜28「表示対象」、148「選局対象」**)を選んだときに選局されるチャンネルです。

CH：表示チャンネル
テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーーー」の場合チャンネル設定されていません。

8 [▲][▼] で修正したい行 (Po) を選び、決定を押す

9 [◀][▶] で修正し、戻るを押す

10 修正が終わったら、戻るを押す

チャンネルの順番を入れ換えるには
①[緑] を押す
②[▲][▼] で入れ換えをしたい行 (Po) を選び、[決定] を押す
③[▲][▼] で入れ換え先の行 (Po) を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

設置設定をする(つづき)

受信チャンネルを修正する

BS

CS1

CS2

CATV

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

BS チャンネル設定

Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ
4	141	BS 日テレ	テレビ
5	151	BS 朝日 1	テレビ

Po：チャンネルポジション（変更できません）
「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。
- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、**[▼]** を押してください。
- 「1」～「36」は「設定チャンネル」（**➜28「表示対象」、148「選局対象」**）を選んだときに選局されるチャンネルです。

CH：表示チャンネル
テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「―――」の場合チャンネル設定されていません。

129 ページ手順 **1** ～ **6** のあと

7 [▲][▼] で修正したい行（Po）を選び、決定を押す

8 [◀][▶] で修正し、戻るを押す

9 修正が終わったら、戻るを押す

☞ チャンネルの順番を入れ換えるには
①**[緑]** を押す
②**[▲][▼]** で入れ換えをしたい行（Po）を選び、**[決定]** を押す
③**[▲][▼]** で入れ換え先の行（Po）を選び、**[決定]** を押す
④ 入れ換えが終わったら **[戻る]** を押す

地域設定を修正する

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

1 操作一覧を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼] で「放送設定」を選び、決定を押す

4 [▲][▼] で「設置設定」を選び、決定を押す

5 [▲][▼] で「地域設定」を選び、決定を押す

6 [▲][▼] で「県域設定」を選び、[◀][▶] でお住まいの都道府県を選ぶ
- 伊豆、小笠原諸島地域は ➜「東京都島部」
- 南西諸島鹿児島県地域は ➜「鹿児島県島部」

7 [▲][▼] で「郵便番号」を選び、決定を押す

8 1 ～ 10 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定を押す

☞ 番号を間違えたときは
[黄] を押す

9 [◀][▶] で「はい」を選び、決定を押す

☞ 設定を工場出荷時の状態に戻すには
① 上記の手順 **6** で「地域設定削除」を選び、決定を押す
②**[◀][▶]** で「はい」を選び、決定を押す

B-CAS/C-CAS カードの動作を確認する

B-CAS カードテスト

C-CAS カードテスト

カードを挿入して 3 秒以上経ってから行ってください。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、B-CAS カードのみの場合があります。

1 **を押す**

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼] で「放送設定」を選び、決定を押す

4 [▲][▼] で「設置設定」を選び、決定を押す

5 [▲][▼] で「B-CASカードテスト」または「C-CAS カードテスト」を選び、決定を押す
OK：正しく動作しています。
NG：カードの挿入を確認してください。（➜127）

電話を設定する

電話回線の接続を確認してから設定をしてください。(➜123)

電話回線に接続すると視聴者参加番組や双方向のデータ放送を利用できます。

1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] で「放送設定」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼] で「設置設定」を選び、[決定] を押す

5 [▲][▼] で「電話設定」を選び、[決定] を押す

6 [▲][▼] で設定したい項目を選び、[決定] を押す、または [◀][▶] で設定する (➜ 下記へ)

項目	内容
回線設定	以下のように回線の種類を選んでください。 **自動**：回線の種類を自動的に選ぶ 「自動」で設定できない場合 **プッシュ**： ダイヤルボタンを押すと「ピッポッパッ」と音が出るとき、ISDN 回線のとき **ダイヤル 20**（20pps）または**ダイヤル 10**（10pps）：音が出ないとき
トーン検出	「回線設定」を「自動」にしなかった場合のみ設定します。 **する**：通常使用時 **しない**：使用している回線が受話器をあげても「ツー」音が聞こえないとき
内線設定	外線使用時に 0 発信などが必要な電話のときに設定します。 **7 [1] ～ [12] で「0」などの発信番号を入力し、[決定] を押す** ●外線選択のための番号は、ご使用の環境により「0」でない場合があります。 **番号を間違えたときは [黄]** を押す **外線につながるまでの時間を設定するときは [青]** を押す ●画面に「, 」が表示され、3秒間の待ち時間を設定できます。押すごとに3秒ずつ待ち時間が増えます。 **8 [◀][▶] で「はい」を選び、[決定] を押す**
電話テスト	「電話テスト」は使用できません。
発信者番号通知	相手に電話番号を通知するかどうか設定します。 **指定なし**：電話会社との契約に従う **通知する**：相手に常に通知する **通知しない**：相手に常に通知しない
電話会社設定	本機で電話回線を使用するときに、電話会社を切り換えて使用します。 **7 [1] ～ [12] で電話会社の番号を入力し、[決定] を押す** **番号を間違えたときは [黄]** を押す **8 [◀][▶] で「はい」を選び、[決定] を押す**
マイラインプラス	「電話会社設定」を設定した場合で、マイラインプラスを契約のときのみ 「解除する」に設定してください。

番組表を受信する

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

番組表とは？

放送局から送られるテレビ番組の情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。
テレビ画面に表示される番組一覧表から番組を選ぶだけで簡単に予約録画することができます。
(➜24)

1 電源 を押して、本機の電源を切る

●データ受信が始まると"D"が点灯し、消えたら受信完了です。
(設置直後はデータ受信に数時間かかることがありますが、通常数十分で完了して表示が消えます)

2 本体表示窓の"D"が消えたあと

を押して、番組表が表示されるか確認する

●番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。

1 日たっても番組表を受信できていないときは

●データ受信時に本機の電源を「切」にしていますか？

・電源コードは抜かないでください。電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。

お知らせ

●"D"表示中に電源を入れた場合、データ受信できません。
●本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに 1 日程度かかる場合があります。
●番組表データの受信が完了しなくても"D"の表示が消灯する場合があります。この場合、次回以降の受信スケジュールで番組表データを受信します。
●データ受信中は、内部冷却用ファンが回ります。

番組表設定を行う 番組表設定	番組表の受信スケジュールの確認や1ヵ月の番組表の設定を行うことができます。 **1 [操作一覧] を押す** **2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す** **3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、[決定]を押す** **4 [▲][▼]で「設置設定」を選び、[決定]を押す** **5 [▲][▼]で「番組表設定」を選び、[決定]を押す** **6 [▲][▼]で設定する項目を選び、[◀][▶]で設定する、または[決定]を押す**	
	Gガイド地域設定 ●通常は変更しないでください	●番組表の設定地域を確認できます。
	Gガイド受信確認	確認結果の表示には最大6分かかります。
	通信による Gガイド受信	「オン」に設定すると、1ヵ月の番組表を取得することができます。 ●番組表の取得はインターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続・設定が必要です。 ●「オン」にすると、常時接続状態になります。 ●2009年10月現在、番組情報を取得できる放送局はWOWOWのみです。 ●1ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。

番組表に関する質問

Q(質問)	A(回答)
番組表データが正しく受信できないが?	●本機をはじめてご使用のときや、約1週間以上本機の電源コードを抜いていた場合は、番組表が表示できません。 ●番組表は、番組情報を表示させたい局を選んで、[決定]を押すと表示できます。
番組表データの更新は?	●データ受信時刻に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に内容を更新します。("D"表示中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、前回受信されたデータが表示されます)
電源「切」状態中、本体表示窓に"D"が表示されている間は使えないの?	●使えます。ただし、データ受信は中止されます。(前回受信されたデータが表示されます)
"D"の表示がなかなか消えない	●"D"の表示は番組表のデータ受信時以外でも点灯します。(➜164)そのため、番組表のデータ受信が終わっても"D"の表示が消えない場合があります。
1ヵ月の番組表が表示されない	●ネットワークの接続(➜124)と設定(➜139)および「番組表設定」(➜上記)を確認してください。 ●2009年10月現在、WOWOWのみ表示できます。

接続した端子に合わせて設定する

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

1 操作一覧 を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、決定を押す (➜ 下記または 135 ページへ)

HDMI 映像優先モード

●テレビと D 端子で接続し、HDMI 端子でアンプなどに接続しているときに設定

4 [▲][▼] で「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定を押す

5 [▲][▼] で「HDMI 接続」を選び、決定を押す

6 [▲][▼] で「HDMI 映像優先モード」を選び、決定を押す

7 [▲][▼] で「入」または「切」を選び、決定を押す

●テレビと D 端子で接続し、HDMI 端子でアンプなどに接続しているときは、「切」に設定してください。

HDMI 音声出力

●テレビと HDMI 端子で接続し、デジタル音声端子でアンプなどに接続しているときに設定

4 [▲][▼] で「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定を押す

5 [▲][▼] で「HDMI 接続」を選び、決定を押す

6 [▲][▼] で「HDMI 音声出力」を選び、決定を押す

7 [▲][▼] で「入」または「切」を選び、決定を押す

●テレビと HDMI 端子で接続し、デジタル音声端子でアンプなどに接続しているときは、「切」に設定してください。

D 端子出力解像度

●テレビと D 端子またはコンポーネント端子で接続しているときに設定

4 [▲][▼] で「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定を押す

5 [▲][▼] で「D 端子出力解像度」を選び、決定を押す

6 [▲][▼] でテレビの端子に合わせて項目を選び、決定を押す

7 [◀][▶] で「はい」を選び、決定を押す

入力信号にかかわらず設定に応じて下記の解像度に変更して出力します。

設定	出力解像度
D1	480i
D2	480p(プログレッシブ映像)
D3(工場出荷時)	1080i(ハイビジョン映像)
D4	1080i(ハイビジョン映像) 720p※(プログレッシブ映像)

※ 720p の映像のみ 720p で出力します。

●**初期設定**「HDMI映像優先モード」(**➜上記**)を「入」にしてHDMI端子からも映像を出力している場合は、設定にかかわらず 480i で出力します。

●「D3」、「D4」に設定したときの DVD ビデオの映像または DV 入力からの映像について

・はじめの数秒間黒い画面が表示されたり、画面が乱れたりしますが、故障ではありません。

・480p で出力します。
(HDMI 端子と接続していないとき、または、**初期設定**「HDMI 映像優先モード」が「切」に設定されているとき)

コンポーネント(色差)端子と接続しているときの推奨設定

テレビのコンポーネント(色差)端子が対応している信号方式	推奨設定
480i	D1
480i 、480p	D2
480i 、480p 、1080i	D3
480i 、480p 、1080i 、720p 、1080p	D4

ワイドモード	
●S 端子でワイドテレビに接続しているときに設定	テレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を働かせるための設定です。 134 ページ手順 1 〜 3 のあと **4 [▲][▼] で「設置」を選び、決定を押す** **5 [▲][▼] で「ワイドモード」を選ぶ** **6 [◀][▶] でテレビの端子に合わせて項目を選ぶ** S 1 :テレビの S 映像入力端子が「S 1」のとき S 1/S2 :テレビの S 映像入力端子が「S 1」または「S2」のとき 切 :テレビの S 映像入力端子が「S」または、テレビ側で自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき お知らせ テレビや番組によっては、画面が一瞬乱れたり、画質が低下することがあります。このときは、**初期設定**「D 端子出力解像度」(**➜134**)を「D1」に設定してください。

テレビ画面の横縦比を変更する

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

1 操作一覧 を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、決定を押す

4 [▲][▼] で「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定を押す

5 [▲][▼] で「T V アスペクト」を選び、決定を押す

6 [▲][▼] でテレビタイプに合わせて項目を選び、決定を押す

4:3 :4:3 標準テレビに接続しているとき
16:9 :ワイドテレビに接続しているとき
16:9 フル:ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

「TV アスペクト」設定とテレビでの映像の見えかた

オリジナルの映像	TV アスペクトの設定		
	4:3 標準テレビ	16:9 ワイドテレビ	
	4:3	16:9	16:9 フル
16:9 映像	上下に黒帯を付加して表示※	そのまま表示	そのまま表示
左右の黒帯付 16:9 映像	左右の黒帯を除去して表示	そのまま表示	左右の黒帯を除去して、画面いっぱいに拡大して表示
4:3 映像	そのまま表示	左右に黒帯を付加して表示	画面いっぱいに拡大して表示
上下の黒帯付 4:3 映像	そのまま表示	上下の黒帯を除去して、画面いっぱいに拡大して表示	上下の黒帯を除去して、画面いっぱいに拡大して表示

※ **初期設定**「D 端子出力解像度」(**➜134**)を「D3」、「D4」または、**初期設定**「HDMI 出力解像度」(**➜154**)を「1080i」、「720p」、「1080p」に設定しているときは上下に黒帯を付けて出力できません。縦に引き伸ばされて表示します。

お知らせ

●放送やテレビ側の設定、再生する内容によっては、見えかたが変わる場合があります。

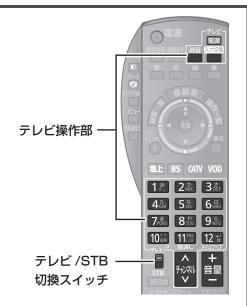
リモコン設定 / ソフトウェア更新

本機のリモコンでテレビを操作する

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。（電源の入切、テレビ / ビデオの切り換え、チャンネル選局、音量調整）
- **再度、セットトップボックスの操作をする場合は、テレビ /STB 切換スイッチを「STB 側」に戻してください。**

1 テレビ /STB 切換スイッチを「テレビ側」に切り換える

2 テレビ電源を押しながら、2 けたの番号(➜ 下記)を 1 ～ 10 を押して入力する

例)01の場合…[10]→[1]　10の場合…[1]→[10]
- リモコンのテレビ操作部のボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
- 工場出荷時はパナソニック（新１）に設定されています。
- 同一メーカーで設定が２種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。

メーカー名	番号	メーカー名	番号	メーカー名	番号	メーカー名	番号
パナソニック（新1）	11	日立（3）	33	シャープ（3）	47	三洋（2）	62
パナソニック（新2）	12	日立（4）	34	シャープ（4）	48	三洋（3）	63
パナソニック（旧）	13	日立（5）	91	三菱（1）	51	三洋（4）	64
パナソニック（地上D1）	14	日立（6）	92	三菱（2）	52	NEC（1）	65
パナソニック（地上D2）	15	SONY（1）	35	三菱（3）	53	NEC（2）	66
ビクター	21	SONY（2）	36	三菱（4）	54	AIWA	71
東芝	25	パイオニア	41	富士通ゼネラル（1）	55	FUNAI	72
日立（1）	31	シャープ（1）	45	富士通ゼネラル（2）	56		
日立（2）	32	シャープ（2）	46	三洋（1）	61		

お知らせ
- 接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
- 電池の交換などで設定が「パナソニック（新１）」に戻った場合は、再設定してください。
- 一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

2 台以上の当社製機器(セットトップボックスなど)を使う

リモコンモード

本機の近くに当社製機器があるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼] で「設置」を選び、[決定]を押す

本機側のモードを変える

5 [▲][▼] で「リモコンモード」を選び、[決定]を押す

6 [▲][▼] で「リモコン 2」または「リモコン 3」を選び、[決定]を押す

リモコン側のモードを変える

7 [決定]を押しながら、[1] のあとに続けて [2] または [3] を押す

8 [決定]を押す

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

本体表示窓に“U30”と表示されたとき

本体とリモコンのリモコンモードが合っていないため、操作できません。[決定] を押しながら、[1] のあとに続けて、表示されたリモコンモード番号の数字ボタンを押してください。

リモコンモード番号

新情報のダウンロード方式を設定する

ソフトウェア更新設定

電源「切」の状態で、ご加入のケーブルテレビ局から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼] で「放送設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼] で「ソフトウェア更新設定」を選び、[決定]を押す

5 [◀][▶] で「自動」(ダウンロード予約) を選ぶ

- 電源「切」時に、自動的にダウンロードします。**情報取得のために、本機を使用しないときは電源を切っておくことをおすすめします。**
- 情報が届いた場合、メールで知らせます。(➜145)

- ダウンロードの実行中は、本体表示窓に“DL 1/5”※と表示します。“DL 5/5”まで表示したあと時計表示に変わるまで本機を操作できません。

※“DL”は“Down Load”を表し、“1/5”は進行状況を示しています。

- ダウンロードの実行中は、故障の原因となりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**

ケーブルモデムの設定を確認する

ケーブルモデムからネットワークに正しく接続できるかの確認とケーブルモデムの情報を確認します。
●TZ-BDW900P はケーブルモデムを内蔵していないため、この設定はありません。

ケーブルモデムとは
CATV の回線を使ってインターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと言います。

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

1 **を押す**

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、決定を押す

4 [▲][▼] で「ケーブルモデム設定」を選び、決定を押す
(➜ 下記へ)

ネットワークの接続状態を確認する
接続テスト

5 [▲][▼] で「IP アドレス /DNS 設定」を選び、決定を押す

6 [▲][▼] で「接続テスト」を選び、決定を押す
テスト中：テスト中
OK：接続完了
NG：ケーブル宅内線の確認を行い、再度テストしてください。

ケーブルモデムの情報を確認する
ケーブルモデム情報

内蔵ケーブルのモデム情報を確認することができます。

5 [▲][▼] で「ケーブルモデム情報表示」を選び、決定を押す

6 ケーブルモデムの情報を確認する

ネットワークの設定をする

本機を LAN ケーブルを接続してお使いになるときのための設定です。
●不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

1 **を押す**

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、決定を押す

4 [▲][▼] で「LAN 通信設定」を選び、決定を押す

5 [▲][▼] で「IP アドレス /DNS 設定」を選び、決定を押す

(➜ 下記へ)

IP アドレス /DNS 設定

接続テスト

●LAN ケーブルで接続したあと、または「IP アドレス /DNS 設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください

ネットワークの接続状態を確認します。

6 [▲][▼] で「接続テスト」を選び、決定を押す

テスト中：テスト中
OK：ネットワーク関連機能が使える状態です。
宅内機器使用可：宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。
NG：接続と設定を確認してください。

IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス

●通常は設定不要です(ルーターが自動で割り当てます)

ルーターに DHCP ※サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。
「IP アドレス自動取得」を「しない」にしたあと設定します。
●通常は「する」を選んでおいてください。

6 [▲][▼] で「IP アドレス」などを選び、決定を押す

7 1～10 で入力し、決定を押す

●ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

8 [◀][▶] で「はい」を選び、決定を押す

お知らせ

●パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。
●LAN通信設定のIPアドレスには、ケーブルモデム設定のIPアドレスと異なる IP アドレスグループの設定が必要です。

プライマリ DNS / セカンダリ DNS

●通常は設定不要です(ルーターが自動で割り当てます)

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。
「DNS-IP 自動取得」を「しない」にしたあと設定します。
●通常は「する」を選んでおいてください。

6 [▲][▼] で「プライマリ DNS」などを選び、決定を押す

7 1～10 で入力し、決定を押す

●プロバイダーから指示された IP アドレスを入力してください。

8 [◀][▶] で「はい」を選び、決定を押す

お知らせ

●パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

※サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

ネットワーク連携する機器の設定をする

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

接続する機器：

DLNA 対応の当社製機器（テレビなど）

●当社製テレビ(PZR900シリーズ)を含む

ビエラリンク(LAN) 設定

1. **[操作一覧] を押す**
2. **[▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す**
3. **[▲][▼] で「初期設定」を選び、[決定]を押す**
4. **[▲][▼] で「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、[決定]を押す**
5. **[▲][▼] で「ビエラリンク設定」を選び、[決定]を押す**
6. **[▲][▼] で「ビエラリンク（LAN）設定」を選び、[決定]を押す**
7. **[▲][▼] で「ビエラリンク（LAN）制御」を選び、[決定]を押す**
8. **[▲][▼] で「入」を選び、[決定]を押す**
9. **[◀][▶] で「実行」を選び、[決定]を押す**
   - 「クイックスタート」(➜128) が「入」に固定され、待機時の消費電力が増えます。
10. （接続した機器側）
   ビエラリンクメニューを表示させ、「ケーブルテレビ」を選び、[決定] を押す
   - 対応機種によっては、操作方法が上記と異なる場合があります。その場合は、登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

登録機器を新たに追加したいときは

手順 **7** で「新規登録」を選び、[決定] を押す（➜ 上記手順 **9** へ）

●最大 4 台まで登録できます。

ビエラリンク（LAN）の機能を使用しないときは

手順 **8** で「切」を選ぶ

●登録している機器からの操作はできなくなります。
もう一度「入」にすると操作できるようになります。

機器の登録を解除するには

① 手順 **7** で「登録機器一覧」から解除したい機器を選び、[決定] を押す
② [◀][▶] で「解除実行」を選び、[決定] を押す

接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

① 手順 **7** で「本機の名称変更」を選び、[決定] を押す
② [▲][▼] で項目を選び、[決定] を押す
- 一覧から選んで変更：あらかじめ登録されている名前から選びます。
- 文字入力して変更：文字入力画面から入力します。(➜116)

●「ビエラリンク(LAN)制御」と「ホームサーバー機能」(➜141)の「入」「切」の設定は連動しているため、どちらか一方を「入」にすると、もう一方も同じように「入」になります。

接続する機器：
DLNA 対応の 他社製機器

ホームサーバー機能設定

1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼] で「LAN 通信設定」を選び、[決定]を押す

5 [▲][▼] で「ホームサーバー機能設定」を選び、[決定]を押す

6 [▲][▼] で「ホームサーバー機能」を選び、[決定]を押す

7 [▲][▼] で「入」を選び、[決定]を押す

●「クイックスタート」(➜128) が「入」に固定され、待機時の消費電力が増えます。

8 [▲][▼] で登録したい機器を選び、[決定]を押す

●登録したい機器の MAC アドレスを選んでください。
●MAC アドレスの確認方法は、登録したい機器の取扱説明書をご覧ください。

9 [◀][▶] で「視聴許可」を選び、[決定]を押す

●登録された機器には「許可」が表示されます。
●最大 4 台まで登録できます。
●視聴許可した機器からしか本機を操作できません。

登録している機器の視聴許可を取り消すには

① 手順 **8** で取り消したい機器の MAC アドレスを選び、**[決定]** を押す
② **[◀][▶]** で「視聴許可取消」を選び、**[決定]** を押す
●取り消した機器から「許可」の表示が消去されます。

ホームサーバー機能を使用しないときは

手順 **7** で「切」を選ぶ
●登録している機器からの操作はできなくなります。
もう一度「入」にすると操作できるようになります。

お知らせ

●「ビエラリンク（LAN）制御」(➜140) と「ホームサーバー機能」の「入」「切」の設定は連動しているため、どちらか一方を「入」にすると、もう一方も同じように「入」になります。

ネットワーク連携する機器の設定をする(つづき)

接続する機器：

携帯電話

ブロードバンド
レシーバー設定※

●TZ-BDW900P のみ

※ TZ-BDW900M、TZ-BDW900F にブロードバンドレシーバー設定はありません。
ブロードバンドレシーバー機能をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。

1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

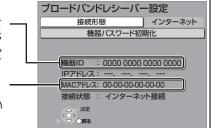
3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼] で「LAN 通信設定」を選び、[決定]を押す

5 [▲][▼] で「ブロードバンドレシーバー設定」を選び、[決定]を押す

機器 ID:
ブロードバンドレシーバー機能を使ってインターネット経由で携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

MAC アドレス：
家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

6 [▲][▼] で「接続形態」を選び、[決定]を押す

7 [▲][▼] で「インターネット」を選び、[決定]を押す

インターネット：本機をインターネットに接続する場合

●「クイックスタート」(➜128) が「入」に固定され、待機時の消費電力が増えます。

8 [◀][▶] で「はい」を選び、[決定]を押す

画面上の「接続状態」が「インターネット接続」であれば接続完了です。

「接続されていません」が表示されているとき

ネットワークの接続 (➜124)、「IP アドレス /DNS 設定」(➜139) を確認してください。

接続する機器：
ドアホン
センサーカメラ

ドアホン・センサーカメラの接続設定

ドアホンやセンサーカメラの映像を、本機で録画するための設定です。
手順 5 から 9 の間で登録する機器を登録モードにしてください。機器によって登録モードにする方法は異なりますので、必ず登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼] で「LAN 通信設定」を選び、[決定] を押す

5 [▲][▼] で「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、[決定] を押す

6 [▲][▼] で「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、[決定] を押す

7 [▲][▼] で「入」を選び、[決定] を押す

- 「ドアホン・センサーカメラ接続」の設定を「入」にすると、HDD にドアホンやセンサーカメラの映像を録画するための領域が確保されます。一度「入」にすると、**初期設定**「HDD のフォーマット」(**➜151**) をしないかぎり、「切」にしても、HDD の領域は確保されたままです。
- メッセージを確認したら、**[戻る]** を押してください。

8 [▲][▼] で「〈新規登録〉」を選び、[決定] を押す

9 [▲][▼] で「する」を選び、[決定] を押す

- 登録が正しく完了したら“登録が完了しました”と表示されます。
- **初期設定**「クイックスタート」(**➜128**) が「入」に固定され、待機時の消費電力が増えます。
- ドアホンやセンサーカメラは最大 5 台まで登録できます。

「ドアホン・センサーカメラ接続」の設定を解除するには
手順 **7** で「切」を選ぶ
- 登録しているすべてのドアホンとセンサーカメラの録画ができなくなります。再び「入」にすると録画できる状態になります。
- 手順 **5** のあと「ドアホン録画」または「センサーカメラ録画」を選び、**[◀][▶]** で「しない」を選ぶと、登録しているドアホン単位またはセンサーカメラ単位で録画設定を解除できます。

登録機器の詳細情報を確認するには
手順 **5** のあと情報を知りたい機器を「機器一覧」から選び、**[決定]** を押す
- 「機器のページ」では、登録している機器の設定画面が表示されます。
詳しい操作方法は各機器の取扱説明書をご覧ください。

機器の登録を削除するには
① 手順 **5** のあと「機器一覧」から削除したい機器を選び、**[決定]** を押す
②**[▲][▼]** で「登録削除」を選び、**[決定]** を押す
③**[▲][▼]** で「する」を選び、**[決定]** を押す

機器の登録ができない場合は
- 本機と各機器の接続を確認し、登録したい機器を再起動してから、再度設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた直後に操作をすると、登録できない場合があります。その場合は、約３分待って、操作を行ってください。（登録する機器が登録モードになったのを確認してから手順 **9** を行ってください）

ブラウザ設定をする

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

1 **を押す**

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、決定を押す

(➜ 下記へ)

例)

ブラウザの設定をする

ブラウザ設定

本機のブラウザ機能でホームページを正しく表示させるための設定です。
ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。

4 [▲][▼] で「ブラウザ設定」を選び、決定を押す

5 [▲][▼] で「プロキシアドレス」を選び、決定を押す

6 プロキシアドレスを入力する

文字入力のしかた (➜117)
●入力できるのは、「英数」と「数字」のみです。

7 決定を押す

8 [◀][▶] で「はい」を選び、決定を押す

9 [▲][▼] で「プロキシポート番号」を選び、決定を押す

10 1 〜 10 でプロキシポート番号を入力し、決定を押す

番号を間違えたときは [黄] を押す

11 [◀][▶] で「はい」を選び、決定を押す

ポータルサイトに接続できるか確認するには
手順 **5** で「接続テスト」を選び、**[決定]** を押す
●接続テスト用サイトにつながり正常に接続したことを示すメッセージが表示されたとき：
正しく設定ができています。
●正しく接続されなかったとき：
画面上にメッセージが表示されます。接続と設定をご確認ください。**(➜124、138、139)**

ホームのアドレスを確認するには
ブラウザメニュー **(➜94)** で「ホーム」を選んだときに表示されるページのアドレスを確認できます。
手順 **4** のあと、「ホームアドレス」で確認してください。

お知らせ

●ブラウザを設定すると、アクトビラの一部のサービスが利用できない場合があります。

前の画面に戻るには
戻る を押す

設定を終了するには
戻る を数回押す

いろいろな情報を見る(メール/情報)

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

メール/情報の基本操作	**1 [操作一覧] を押す** **2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す** **3 [▲][▼]で「メール / 情報」を選び、[決定]を押す** **4 [▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す** 例)メール/情報：放送メール／購入記録／購入記録送信結果／双方向通信一覧／ICカード／ステータス表示／ボード（決定／戻る） **前の画面に戻るには** [戻る] を押す **画面を消すには** [戻る] を数回押す

項目	内容
放送メール	ご加入のケーブルテレビ局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。 **[▲][▼]で確認したいメールを選び、[決定]を押す** ●ダウンロード情報が届いたときは、画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。予約を「する」または「しない」を選んでください。 「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約5分前には、電源を切っておいてください。 ※ ダウンロード予約の設定が「自動」の場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行われます。 **新情報のダウンロード方式を設定するには(➜137)** ●IC カードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。 ●メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。選んで決定すると、関連画面を表示します。 ●インターネットメールではありません。 ●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。 ●放送メールには、ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。
購入記録	購入した有料番組を確認できます。 ●表示される金額は参考金額です。価格改定などにより、請求金額とは異なる場合があります。 **累計金額をリセット(0円に戻す)するには** ① [黄]を押して、リセット画面を表示させる ② [◀]で「はい」を選び、[決定]を押す
ダウンロード履歴 ●TZ-BDW900Pのみ	アクトビラでダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。 **表示される履歴の種別** ●「取得失敗」：ダウンロードに失敗した番組(アクトビラで再度ダウンロードの操作が必要です) ●「未取得」：HDD の番組数がいっぱいでダウンロードできなかった番組 ●「消去済」：録画一覧から消去された番組
購入記録送信結果	有料番組の購入記録、データ放送の送信記録などを確認します。 ●前回の送信結果で再送信が可能であれば、その旨表示します。このときは、[決定]を押すと再送信されます。 ●通常は自動送信されます。 購入記録送信結果（現在の送信状況／送信／前回の送信結果） **送信結果を切り換えるには** [青]:B-CAS の結果を表示します。 [赤]:C-CAS の結果を表示します。
双方向通信一覧	双方向通信の結果一覧を見ることができます。
ICカード	B-CASカードやC-CAS カードの番号などを確認できます。 **その他の情報を見るには** ●[赤]:C-CAS カード情報を表示 ●[緑]:CATV-ID 情報を表示
ステータス表示	本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。 **その他の情報を見るには** ●[青]: 本機のソフト情報を表示 ●[赤]: データ放送時のルート証明書情報を表示
ボード	CSデジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。 ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては、表示されない場合があります。 ① **[▲][▼]で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、[決定]を押す** ② **[▲][▼]で確認したい情報を選び、[決定]を押す** ボード：CS1 ボード／CS2 ボード

放送設定を変える（放送設定）

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

放送設定の基本操作

1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]で放送設定の項目を選び、[決定]を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定]を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [◀][▶]で設定内容を変更する

放送設定
設置設定
システム設定
ソフトウェア更新設定
放送設定リセット
決定
戻る

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

	設定項目	設定内容（下線部は工場出荷時の設定です）
設置設定	チャンネル設定(➜129、130)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	番組表設定(➜133)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Gガイド地域設定	▶札幌～沖縄
	Gガイド受信確認	Gガイド受信スケジュールを確認できます。
	通信によるGガイド受信	▶オン　▶オフ
	地域設定(➜130)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	県域設定	▶東北海道～沖縄県
	郵便番号	――― - ――――(郵便番号)
	地域設定削除	▶はい　▶いいえ
	電話設定(➜131)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	回線設定	▶自動　▶プッシュ　▶ダイヤル 20　▶ダイヤル 10
	トーン検出 「回線設定」(➜上記)が「自動」以外のときに設定できます。	▶する　▶しない
	内線設定	――――――――(内線番号)
	電話テスト	――　　●「電話テスト」は使用できません。
	発信者番号通知	▶指定なし　▶通知する　▶通知しない
	電話会社設定	――――――――(電話会社番号)
	マイラインプラス 「電話会社設定」(➜上記)を設定したときのみ設定できます。	▶解除する　▶解除しない
	C-CASカードテスト(➜130)	――
	B-CASカードテスト(➜130)	――

	設定項目	設定内容(下線部は工場出荷時の設定です)
システム設定	**字幕の設定** デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。 録画モード「DR」以外で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。	→[決定]を押して、さらに設定します。 字幕の設定 / 字幕 オン オフ / 字幕言語 日本語 英語 / 文字スーパー オン オフ / 文字スーパー言語 日本語 英語 ●放送に設定した内容が含まれていない場合は設定通りに表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。
	字幕	▶ オン ▶ オフ
	字幕言語	▶ 日本語 ▶ 英語
	文字スーパー	▶ オン ▶ オフ
	文字スーパー言語	▶ 日本語 ▶ 英語
	制限項目設定 ●視聴制限のある番組の視聴できる年齢や購入金額の上限やブラウザ表示の制限を設定できます。 ●上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。 ●年齢制限を超える番組は、番組表などで「･･･」と表示されます。	→[決定]を押して、さらに設定します。 暗証番号登録 / 視聴制限を利用するには暗証番号登録が必要です。暗証番号を入力してください。 / 青 赤 緑 黄 1文字削除 / 1 ～ 10 番号入力 / 戻る **画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号(4けた)を入力する** ●10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。 ●暗証番号を登録するときは番号を2回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。 ●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。
	視聴可能年齢	▶ 無制限 ▶ 4才～19才(1才刻み)
	一番組限度額	▶ 無制限 ▶ 100円 ▶ 500円 ▶ 1000円 ▶ 1500円 ▶ 2000円 ▶ 2500円 ▶ 3000円
	ブラウザ制限 インターネットを利用するとき([ブラウザ]を押したとき)、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。	▶ する :暗証番号の入力が必要 ▶ しない :暗証番号の入力は不要
	制限解除有効期限 視聴解除の期限を設定できます。	▶ 電源 OFF まで :電源を切るまで視聴可能 ▶ 選局まで :チャンネルを変えるまで視聴可能
	チャンネルスキップ設定 視聴できるチャンネルを制限することができます。	→[▲][▼]で制限するチャンネルを選び、[決定]を押します。 ●スキップ設定したチャンネルは選局できなくなります。(番組表にも表示しません) ●スキップ設定したチャンネルを選び[決定]を押すと、スキップ設定を解除します。 ●[青]を押すと、スキップ設定を一時解除します。(電源切まで) ●[黄]を押すと、スキップチャンネルのみの表示に切り換わります。
	暗証番号変更	●変更した暗証番号は忘れないようにメモをしておいてください。
	暗証番号削除	●「視聴可能年齢」「一番組限度額」「ブラウザ制限」「制限解除有効期限」は工場出荷時の設定に戻ります。 ●再度暗証番号を登録する場合は、「制限項目設定」(➜上記)から登録してください。
	設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。 暗証番号を入力してください。 _ _ _ _	●暗証番号を入力すると、番組が映ります。

放送設定を変える(放送設定)(つづき)

	設定項目	設定内容(下線部は工場出荷時の設定です)
システム設定(つづき)	**選局対象** [チャンネル∧,∨]を押して順送りできるチャンネルを設定できます。	▶**設定チャンネル** :チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネル ▶**テレビ** :テレビ放送(映像+音声) ▶**ラジオ** :ラジオ放送(音声) ▶**データ** :データ放送 ▶**すべて** :受信できるすべてのチャンネル
	二重音声設定 二重音声の設定ができます。 電源を「切」「入」したときに放送が二重音声の場合、設定した音声になります。	▶**主** :音声が日本語 ▶**副** :音声が外国語 ▶**主+副** :日本語と外国語を同時に出力 放送によっては「主」が外国語、「副」が日本語の場合があります。
	選局入力方式 チャンネルを選ぶとき、3 けたのチャンネル番号を入力して選ぶか、数字ボタンに割り当てられたチャンネル番号を選ぶかを設定します。	▶**プリセット** :数字ボタンを 1 度押すと、設置設定で設定したチャンネルに切り換わる ▶**3 桁入力** :数字ボタンを 3 度押して、3 けたのチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルに切り換わる
	チャンネルアップダウン [チャンネル∧,∨]を押して順送りする方法を設定します。	▶**ネットワーク** :地上デジタル放送、BS デジタル放送、CATV デジタル放送などの各放送内で選局する ▶**シームレス** :地上デジタル放送、BS デジタル放送、CATV デジタル放送などの各放送をまたいで選局する
ソフトウェア更新設定	**ダウンロード予約(➜137)** ご加入のケーブルテレビ局からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	▶**自動** :電源「切」時に、自動的にダウンロードします。 ▶**手動** :情報が届いた場合、メールで知らせます。 (➜145「放送メール」)
放送設定リセット	**個人情報リセット** 初期設定と放送設定の項目を工場出荷時の設定に戻します。 また、本機に記録されているお客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や、予約内容も消去します。 ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合以外には、実行しないでください。	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶**はい** ▶**いいえ** お知らせ ●双方向データ放送やブラウザでのサービスをご利用の場合、本機からの操作により、ケーブルテレビ局や放送局、インターネットのホームページに登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。 ●HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、**初期設定**「HDDのフォーマット」(➜151)を行ってください。

リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局(2009年 10 月現在)
- 地上デジタル放送(➜186)
- BSデジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHKハイビジョン
4	141	BS日テレ

番号	チャンネル	放送局名
5	151	BS朝日
6	161	BS-TBS
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ

番号	チャンネル	放送局名
9	191	WOWOW
10	200	スター･チャンネル
11	211	BS11 デジタル
12	222	TwellV

●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。
●地上デジタル放送や CATV デジタル放送の設定内容は、ご加入のケーブルテレビ局により異なります。

本機の設定を変える(初期設定)

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

1 [操作一覧] を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]で初期設定の項目を選び、[決定]を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定]を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [▲][▼][◀][▶]で設定内容を選び、[決定]を押す

例)

初期設定
設置
HDD／ディスク
映像
音声
画面設定
テレビ/機器/ビエラリンクの接続
LAN通信設定
ケーブルモデム設定
ブラウザ設定
決定
戻る

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

	設定項目	設定内容(下線部は工場出荷時の設定です)
設置	**自動電源〔切〕** 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2時間　▶6時間　▶<u>切</u> 時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード(➜137)	▶<u>リモコン1</u>　▶リモコン2　▶リモコン3
	ワイドモード(➜135) テレビのS映像入力端子に合わせて出力を設定します。	▶S1 ▶<u>S1/S2</u>:「S1」または「S2」のとき ▶切　:「S」、またはテレビ側のワイドテレビの画面設定の切り換え機能を作動させたくないとき
	クイックスタート 電源「切」状態からの起動を高速化します。 ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。 以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。 ●「ビエラリンク(LAN)制御」(➜153):「入」 ●「接続形態」(➜155):「インターネット」 ●「ドアホン・センサーカメラ接続」(➜155):「入」 ●「ホームサーバー機能」(➜155):「入」	▶<u>入</u>　▶切 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に"PLEASE WAIT"と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。) 「切」にすると、待機時消費電力は減りますが、起動に時間がかかるようになります。
	初期設定リセット 設定を工場出荷時の設定に戻します。 ただし、以下の設定は戻りません。 ・DVD-Video の視聴制限 ・BD-Video の視聴可能年齢 ・IP アドレス /DNS 設定 ・ブラウザ設定	▶する　▶<u>しない</u> 本体側の「リモコンモード」も工場出荷時の設定(リモコン1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は(本体表示窓に"U30"と表示)、リモコンモードを変更してください。(➜165)
	ソフトウェア更新 (ネットワーク) 本機をネットワーク接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。更新する場合は、画面の指示に従ってください。	▶はい　▶<u>いいえ</u> ●更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。 ・本機の電源を切る ・電源プラグをコンセントから抜く

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

	設定項目	設定内容（下線部は工場出荷時の設定です）
HDD／ディスク	**再生設定（再生専用ディスク）**	→[決定] を押して、さらに設定します。
	DVD-Video の視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号（4けた）を入力してください。※	▶**レベル8 すべて視聴可**：すべての DVD ビデオが視聴可 ▶**レベル7～1**：制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可 ▶**レベル0 すべて視聴不可**：すべての DVD ビデオが視聴不可 ▶**ロック解除** ▶**暗証番号変更** ▶**レベル変更** ▶**一時解除**
	BD-Video の視聴可能年齢 BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号（4けた）を入力してください。※	▶**無制限**：すべての BD ビデオが視聴可 ▶**254 歳～0 歳**：年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可 ▶**ロック解除** ▶**暗証番号変更** ▶ **視聴可能年齢変更** ▶**一時解除**
	BD-Live インターネット接続 BD-V BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10] で「BD-Video の視聴可能年齢」（➜ 上記）で入力した暗証番号（4けた）を入力してください。※	▶ **有効**：すべての BD-Live コンテンツに対してインターネットへの接続を許可する ▶**有効（制限付き）**：BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可する ▶**無効**：すべての BD-Live コンテンツに対してインターネットへの接続を許可しない
	音声言語 再生時の音声を選びます。	▶**日本語** ▶**英語** ▶**オリジナル**（ディスクの最優先言語で再生） ▶**その他＊＊＊＊** **＊には [1]～[10] で言語番号（➜175）を入力** 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。
	字幕言語 再生時の字幕言語を選びます。	▶**オート**： 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶**日本語** ▶**英語** ▶**その他＊＊＊＊**
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶**日本語** ▶**英語** ▶**その他＊＊＊＊**
	AVCHD 優先モード BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ハイビジョン画質の番組と他機器でダビングしたハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。	▶**入**：ハイビジョン動画（AVCHD）を再生 ▶**切**：ハイビジョン画質の番組を再生
	記録設定	→[決定] を押して、さらに設定します。
	EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。	▶**6時間**：4.7 GBディスクに6時間記録 ▶**8時間**：4.7 GBディスクに8時間記録
	高速ダビング用録画 -R(V) -R DL(V) -RW(V) 高速ダビングできるようになります。ただし制限があります。（➜ 右記） 「切」にすると、右記の制限はかかりませんが、上記ディスクへの高速ダビングはできません。 ●以下の場合に有効 ・DV 入力から記録 ・ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングするとき	▶**入**：高速ダビング対応にする ●記録される番組は以下の設定に従い記録されます。 ・画面サイズ：「ビデオ方式の記録アスペクト」（➜下記） ・二重放送の音声：「二重放送音声記録」（➜152） ●コピー制限のある番組は、設定にかかわらず「切」の状態で記録されます。 ▶**切**
	ビデオ方式の記録アスペクト 記録時のアスペクトの設定をします。 以下の記録時に有効 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録時 ●「高速ダビング用録画」（➜上記）が有効なとき	▶**オート**：番組の記録開始時のアスペクトに従って記録します。 ▶**4:3** ▶**16:9** ●録画モード「EP」、「FR（EPモード相当の画質）」での記録時は、設定にかかわらず4:3で記録されます。
	DVDの高速ダビング速度 高速モードでのダビング速度を設定します。（高速記録対応ディスクの場合など）	▶**最高速モード** ▶**高速モード** ▶**静音モード** 「最高速モード」「高速モード」「静音モード」の順でダビング時の動作音は小さくなりますが、ダビングの所要時間は長くなります。
	自動チャプター デジタル放送録画時にCMなどで自動的にチャプターを作成する設定をします。 ●CATV デジタル放送録画時には、番組によっては作成されない場合があります。	▶**入** ▶**切** ●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

※ 暗証番号は共通です。**暗証番号は忘れないでください。**

	設定項目	設定内容(下線部は工場出荷時の設定です)
HDD/ディスク(つづき)	**HDD設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	HDD 管理	→[決定]を 3 秒以上押して、さらに設定します。
	全番組消去 番組をすべて消去します。	▶はい ▶いいえ
	HDD のフォーマット HDD の初期化を行います。	▶はい ▶いいえ
映像	**スチルモード** 一時停止中の画像の表示方法が選べます。	▶オート ▶フィールド:動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき ▶フレーム　:「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 部分消去した部分などの再生する状態が選べます。 (DRモードの番組やAVCHDの動画には、この設定は無効)	▶入:なめらかに再生(早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります。) ▶切:精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	HDノイズフィルター ざらつきが少なく柔らかい画像にします。 「D端子出力解像度」(➜154)が「D3」「D4」のとき、または「HDMI出力解像度」(➜154)が「480p」以外のときに、ハイビジョン信号に対して有効	▶入 ▶切
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶オート(Dolby TrueHD の音声のみ有効。コンテンツ意図に従う) ▶入(Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声に有効) ▶切
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD **DTS/DTS-HD** **AAC** 出力信号 (Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS Digital Surround、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio) を、接続機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream:接続機器が左記の音声方式に対応しているとき ▶PCM　　　:接続機器が左記の音声方式に対応していないとき それぞれの音声方式に対応しているかどうかは、接続した機器の説明書をご覧ください。 ●HDMI端子の音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれると、接続機器の仕様により設定どおり出力されない場合があります。(例:テレビと HDMI 端子で接続した場合、本機の HDMI 音声出力はダウンミックス 2 ch に制限されます) ●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。 **デジタル出力される音声と接続・設定の関係(➜157)**
	BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む BD-V) BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。	▶入:サンプリング周波数は 48 kHz に変換されます。 上記で「Bitstream」を選ぶと、副音声を含むBDビデオ再生時は、Dolby Digital または DTS の Bitstream に変換します。 ●再生するディスクによっては、7.1ch で音声出力できない場合があります(➜157) ▶切:オリジナルの音声方式を出力するとき

本機の設定を変える(初期設定)(つづき)

	設定項目	設定内容(下線部は工場出荷時の設定です)
音声(つづき)	**PCMダウンサンプリング変換** サンプリング周波数96 kHzで収録された音声を48 kHzに変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。	▶入:96 kHzに非対応の機器に接続 ▶切:96 kHzに対応した機器に接続 以下の場合、設定にかかわらず48 kHzに変換されます。 ・「BD ビデオ副音声・操作音」(➜151)が「入」のとき BD-V ・192 kHz 以上の信号 BD-V ・著作権保護処理がされているディスク
	ダウンミックス マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックス(➜179)の方法を切り換えることができます。 ●「デジタル出力」(➜151)が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。	▶ノーマル:サラウンドに対応していない機器(テレビなど)に接続 ▶ドルビーサラウンド: 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能を有する機器に接続 以下の場合は、設定にかかわらず「ノーマル」で出力されます。 ・AVCHD 再生時 ・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時
	二重放送音声記録 以下の場合に記録する音声を選びます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録 ●「高速ダビング用録画」(➜150)が有効なとき ●「XP時の記録音声モード」(➜下記)を「LPCM」にして、録画モード「XP」での記録 ● HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) CATV デジタル放送の番組を「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」モードで記録(番組によっては「主」、「副」を選んでも、両音声が記録される場合があります)	▶主 ▶副 ▶主+副
	XP時の記録音声モード 録画モードが「XP」での記録時、音声を選びます。	▶Dolby Digital ▶LPCM: ・画質は少し下がります。 ・「XP」以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜上記)であらかじめ選んでください。
	DV入力時の音声設定 i.LINK(DV入力 /TS)端子からの録画時、音声の種類を選びます。	▶ステレオ 1:録画時の音声(L1、R1) ▶ステレオ 2:編集などであとから追加した音声(L2、R2:ナレーションなど) ▶MIX:ステレオ1とステレオ2の音声 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(➜上記)で音声をあらかじめ選んでください。
画面設定	**画面表示動作〔オート〕** 操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶入 ▶切
	テレビ画面の焼き付き低減機能 通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。 「入」に設定すると、以下のような動作を行います。 ●10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。 ●黒帯部分を明るくします。 [D 端子または HDMI 端子と接続して、「D端子出力解像度」(➜154)が「D3」「D4」のときや「HDMI出力解像度」(➜154)が「480p」以外のとき]	▶入 ▶切
	本体表示窓の明るさ 本体表示窓の明るさを調節します。	▶常時 明 ▶常時 暗 ▶電源連動:電源「入」時は明るくなり、電源「切」時は暗くなります。 ▶オート:再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 電源「切」時の消費電力の節電になります。 (電源「切」時の消費電力 ➜182)

	設定項目	設定内容（下線部は工場出荷時の設定です）
テレビ／機器／ビエラリンクの接続	**ビエラリンク設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	ビエラリンク(HDMI)設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	ビエラリンク制御 ビエラリンク(HDMI)に対応した機器とHDMI端子と接続時、連動操作の設定をします。	▶入 ▶<u>切</u>：ビエラリンク(HDMI)を使わないとき
	電源オフ連動 ビエラと本機の電源を連動するように設定します。	▶入：本機の電源を「切」にすると、ビエラの電源も「切」にする ▶<u>切</u>
	ビエラリモコンで操作 ビエラのリモコンで本機を操作するかどうかの設定をします。	▶入 ▶<u>切</u>
	オートサウンド連携 ビエラリンク(HDMI)Ver. 3以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えるかどうかの設定をします。	▶入 ▶<u>切</u>
	ECOスタンバイ リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の状態を設定します。 以下の場合に有効 ●ビエラがビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応 ●ビエラのECOスタンバイの設定が有効時 ●「ビエラリンク制御」(➜上記)が「入」時	▶入 ▶<u>切</u> 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に以下の設定時と同じように動作し、待機時消費電力を最小にします。 ●「本体表示窓の明るさ」(➜152)：「オート」 ●「クイックスタート」(➜149)：「切」 ただし、以下の設定時は「クイックスタート」「入」時と同じように動作するため、待機時消費電力は最小になりません。 ・「ビエラリンク(LAN)制御」(➜下記)：「入」 ・「接続形態」(➜155)：「インターネット」 ・「ドアホン・センサーカメラ接続」(➜155)：「入」 ・「ホームサーバー機能」(➜155)：「入」 ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。
	ビエラリンク(LAN)設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	ビエラリンク(LAN)制御 DLNA対応の当社製機器[当社製テレビ(PZR900シリーズ)を含む]との連動操作を設定します。	▶入 ▶<u>切</u>：連動操作を使わないとき ●「入」に設定すると、以下の設定は自動的に「入」になります。 ・「クイックスタート」(➜149) ・「ホームサーバー機能」(➜155)
	登録機器一覧 登録された機器を表示します。 ●登録された機器から本機の再生や録画予約ができます。	→[決定]を押して、さらに設定します。 ●「新規登録」を選んだ場合、連動する機器の登録ができます。 ●すでに登録されている機器を選んだ場合、その機器の情報の確認や登録削除ができます。
	本機の名称変更 連動する機器側で表示される本機の名前を変更することができます。	
	TVアスペクト 接続したテレビに合わせて設定します。	▶4:3　：標準テレビ ▶<u>16:9</u>　：ワイドテレビ ▶16:9フル：ワイドテレビで、左右の黒帯をなくして表示

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

	設定項目	設定内容（下線部は工場出荷時の設定です）
テレビ／機器／ビエラリンクの接続（つづき）	**HDMI接続**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	HDMI映像優先モード	▶ <u>入</u> ▶ 切：アンプなどの機器とHDMI端子と接続し、テレビとD端子と接続するとき（アンプと接続する前に設定してください）
	HDMI出力解像度 ●接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の[■停止]と[▶ 再生]を5秒以上押したままにしてください。「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。	▶ <u>オート</u>：1080p、1080i、480pの順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ▶ 480p ▶ 1080i ▶ 720p：720pの映像以外は、1080iで出力されます。 ▶ 1080p アンプと接続する場合、アンプが設定した解像度に非対応のときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビをHDMI端子と接続し、アンプとはHDMI以外の端子と接続してください。
	24p出力 BD-V DVD-V 映画など24p記録された素材を24p出力します。 ●24pに対応したテレビのHDMI端子に接続したときのみ「入」にできます。 ● DVD-V この設定を「入」にして、再生設定「24p」(➔55)を「入」にすると24p出力します。	▶ 入：24p素材をそのまま24pで出力 [「HDMI出力解像度」(➔上記)が「オート」または「1080i」、「1080p」のときに有効] 24p出力時は、HDMI端子以外の端子からは正しく出力されないことがあります。24p以外の素材は BD-V の場合60iまたは60pで、DVD-V の場合24pで出力されます。 ▶ <u>切</u>
	HDMI RGB出力レンジ RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効	▶ <u>スタンダード</u> ▶ エンハンス：映像の黒白が鮮明でないとき
	HDMI音声出力	▶ <u>入</u> ▶ 切：テレビとHDMI端子と接続し、HDMI非対応のアンプなどとデジタル音声出力端子と接続するとき
	Deep Color出力 HDMI規格のDeep Color出力を設定します。（Deep Color対応のテレビなどに接続する場合のみ有効）	▶ <u>オート</u> ▶ 切：映像が乱れたり、色合いが不自然な場合など
	7.1ch音声リマッピング BD-V 6.1チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に7.1チャンネルに拡張して再生します。 以下の場合に有効 ●接続する機器が7.1チャンネル・サラウンドに対応している場合 ●「デジタル出力」(➔151)が「PCM」の場合 ●音声がDolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、またはLPCMのとき	▶ <u>オート</u> ▶ 切：オリジナルのチャンネル数で再生します。（6.1チャンネルの場合は5.1チャンネルで再生します） ・音声がDTS Digital Surround、DTS-ES、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audioのとき、「切」に設定しても、DTS, Inc.の仕様により7.1チャンネルに拡張して再生します。
	D端子出力解像度	▶ D1　▶ D2　▶ <u>D3</u>　▶ D4 ●「D4」に設定すると、720pの映像以外は、1080iで出力されます。 ●設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の[■停止]と[▶ 再生]を5秒以上押したままにしてください。「D1」に設定されます。
	TVアスペクト(4:3)の設定 4:3テレビに接続時、16:9映像の映しかたを選びます。 **DVD-Videoの16:9映像**	▶ <u>パン＆スキャン</u>：左右の切れた映像で再生（パン＆スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生） ▶ レターボックス：上下に帯のある映像で再生 パン&スキャン
	録画ディスクの16:9映像	▶ スルー：録画された映像のままで再生 ▶ パン＆スキャン：左右の切れた映像で再生 ▶ <u>レターボックス</u>：上下に帯のある映像で再生 HDD DRモードの番組は、レターボックスで再生します。 レターボックス
	i.LINK機器モード設定 i.LINK（DV入力/TS）端子に接続した機器に合わせて設定します。 ●本機の入力が「i.LINK(TS)」のときは、操作一覧を表示できません。操作一覧を表示する場合、[入力切換]（ふた内部）を押して「i.LINK(TS)」以外を選んでから[操作一覧]を押してください。	▶ <u>DVモード</u>：DV機器 ▶ TSモード：i.LINK（TS）に対応するDVDレコーダー、ブルーレイディスクレコーダー、D-VHS ビデオカセットレコーダー、HDDビデオレコーダー

	設定項目	設定内容(下線部は工場出荷時の設定です)
LAN通信設定	IP アドレス /DNS 設定(➜139)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	接続テスト	——
	IPアドレス自動取得	▶する ▶しない
	IPアドレス	———.———.———.———
	サブネットマスク	———.———.———.———
	ゲートウェイアドレス	———.———.———.———
	DNS-IP自動取得	▶する ▶しない
	プライマリDNS	———.———.———.———
	セカンダリDNS	———.———.———.———
	MAC アドレス	
	ブロードバンドレシーバー設定※(➜142)	機器 ID、IP アドレス、MAC アドレス、接続状態が確認できます。 →[決定]を押して、さらに設定します。
	接続形態 ネットワーク機能を使って携帯電話から操作する設定をします。	▶インターネット :本機をインターネットに接続しているとき ▶無効 :携帯電話から操作しないとき 「インターネット」に設定すると、「クイックスタート」(➜149)は自動的に「入」になります。
	機器パスワード初期化 携帯電話から操作するときに使用するパスワードを初期化します。	▶する ▶しない
	ドアホン・センサーカメラの接続設定(➜143)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	ドアホン・センサーカメラ接続 ドアホンやセンサーカメラからの映像を本機で記録するための設定をします。	▶入 ▶切 「入」に設定すると、以下のようになります。 ●「クイックスタート」(➜149)が自動的に「入」になります。 ●HDD にドアホンやセンサーカメラの映像を記録するための領域が確保されます。一度「入」にすると「HDD のフォーマット」(➜151)をしないかぎり、「切」にしても、HDD の領域は確保されたままになります。
	ドアホン録画	▶する
	センサーカメラ録画	▶しない
	機器一覧 ドアホンやセンサーカメラの登録や機器情報の確認をします。	→[決定]を押して、さらに設定します。 ●「<新規登録>」を選んだ場合、接続するドアホンやセンサーカメラの登録ができます。 ●すでに登録されているドアホンやセンサーカメラを選んだ場合、その機器の情報の確認や登録削除ができます。 さらに「機器のページ」を開くと機器の設定などができます。詳しい操作方法は各機器の取扱説明書をご覧ください。
	ホームサーバー機能設定 (➜141) DLNA 対応の他社製機器から操作するための設定をします。	→[決定]を押して、さらに設定します。
	ホームサーバー機能 ホームサーバー機能の設定をします。	▶入 ▶切:ホームサーバー機能を使わないとき ●「入」に設定すると、以下の設定は自動的に「入」になります。 ・「クイックスタート」(➜149) ・「ビエラリンク(LAN)制御」(➜153)
	(MAC アドレス) 本機を操作できる DLNA 対応機器を登録します。	→[決定]を押して、さらに設定します。 ●登録された機器には「許可」が表示されます。 ●すでに登録されている機器を選んだ場合、その機器の視聴許可の取り消しができます。

※ TZ-BDW900M、TZ-BDW900F にブロードバンドレシーバー設定はありません。

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

	設定項目	設定内容（下線部は工場出荷時の設定です）
ケーブルモデム設定（※）	IP アドレス /DNS 設定	→[決定] を押して、さらに設定します。
	接続テスト	——
	IPアドレス自動取得	▶ する　▶ しない
	IPアドレス	———.———.———.———
	サブネットマスク	———.———.———.———
	ゲートウェイアドレス	———.———.———.———
	DNS-IP自動取得	▶ する　▶ しない
	プライマリDNS	———.———.———.———
	セカンダリDNS	———.———.———.———
	MAC アドレス	
	ケーブルモデム情報表示（➜138）	→[決定] を押して、確認することができます。
	MAC アドレス	
	ソフトウェアバージョン	
	ダウンストリーム周波数	
	ダウンストリーム受信レベル	
	ダウンストリーム SNR	
	アップストリーム周波数	
	アップストリーム送信レベル	
	ケーブルモデム電源連動 本機と内蔵ケーブルモデムの電源オン･オフを連動させるかどうかの設定をします。 この設定は、変更できない場合があります。	▶ する　:本機の電源「切」時に内蔵のケーブルモデムも電源「切」になる ▶ しない　:本機の電源「切」時に内蔵のケーブルモデムは電源「入」のままになる 消費電力は増えますが、電源「入」時にブラウザの起動が早くなります。
ブラウザ設定	プロキシアドレス	（初期値は空欄）
	プロキシポート番号	（初期値は 0）
	ホームアドレス	https://t-navi.tv/
	接続テスト（➜144）	——

※ TZ-BDW900P はケーブルモデムを内蔵していないため、ケーブルモデム設定はありません。

デジタル出力される音声と接続・設定の関係 [表内の ch(チャンネル数)は最大チャンネル数を表示]

接続端子	HDMI 端子				デジタル音声出力端子			
「デジタル出力」の設定	Bitstream ※1		PCM ※3		Bitstream		PCM	
「BD ビデオ副音声・操作音」の設定	入※2	切	入	切	入	切	入	切
Dolby Digital Dolby Digital EX ※7	Dolby Digital Dolby Digital EX ※8	オリジナルの音声で出力	DVD-V 5.1ch BD-V 7.1ch ※4		Dolby Digital Dolby Digital EX ※8		ダウンミックス 2 ch	
Dolby Digital Plus	Dolby Digital		7.1ch ※2※4	7.1ch	Dolby Digital			
Dolby TrueHD								
DTS Digital Surround DTS-ES ※7	DTS Digital Surround DTS-ES ※8		DVD-V 5.1ch BD-V 7.1ch ※6		DTS Digital Surround DTS-ES ※8			
DTS-HD High Resolution Audio	DTS Digital Surround		7.1ch ※6		DTS Digital Surround			
DTS-HD Master Audio								
7.1ch LPCM	ダウンミックス 5.1ch PCM		7.1ch ※2※5	7.1ch	ダウンミックス2 ch PCM			

※ 1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※ 2 BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」(**➜151**) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 3 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※ 4 BD-V **初期設定**「7.1ch 音声リマッピング」(**➜154**)が「切」時は 5.1ch になります。

※ 5 BD-V **初期設定**「7.1ch 音声リマッピング」(**➜154**)が「切」時はダウンミックス 5.1ch になります。

※ 6 BD-V **初期設定**「7.1ch 音声リマッピング」(**➜154**)の設定にかかわらず、DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

※ 7 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※ 8 BD-V **初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」(**➜151**) を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

再生のみできるディスク/使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ※ 	**映画や音楽など、ハイビジョン画質・最大 7.1ch 音声に対応する市販ソフト** ●デジタル出力される音声については(➜157) ●本機では右記のマーク(リージョンコード)が表示されたディスクを再生できます。 ●本機では BONUSVIEW™ 対応のディスクや BD-Live 対応のディスクを再生できます。(➜53)	「A」または「A」を含むもの 例) ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ 	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。	「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) ●番号は国により違います。
CD	●**音楽や音声が記録された市販ソフト**(CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) ●**写真(JPEG)が記録された CD-R や CD-RW**	
+R +R DL(片面2層) +RW	**他の DVD レコーダーで録画されたディスク** ●録画した機器でファイナライズ(➜179)を行ったディスクのみ再生できます。	
他機器で記録されたハイビジョン動画(AVCHD) のディスク	**以下のディスクが再生できます。** ●**BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW** BD-RE、BD-R、DVD-RAM 以外は、録画した機器でファイナライズ(➜179)を行ったディスクのみ再生できます。 ●**ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクについて** 本機では、再生のみできます。再生前に、**初期設定**「AVCHD 優先モード」(➜150)を「入」にしてください。	

※ ●ソフトのすべての機能をお楽しみいただくために、SD カードを必要とする場合があります。
●BD-J アプリケーション(➜179)が実行されている場合、本機の操作が遅くなる場合があります。故障ではありません。
●2 枚組の BD-V を再生している場合、1 枚目の再生が終わっても、再生画面が表示され続けることがあります。

記録状態によって再生できない場合があります。
- ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどをご覧ください。
- CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

8 cm ディスクについて
- 本機では、BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW の 8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
- CD は再生のみできます。

「RAM 2」マークのついた DVD-RAM ディスク(6X 以上の 高速記録対応)**について**
本機では、記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- カートリッジ付きの DVD-RAM(TYPE1)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➜179)されていないDVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、DVD-RW(ビデオ方式)
- PAL方式で記録されたディスク
- リージョンコード**「A」を含まない**BDビデオ
- リージョン番号**「2」「ALL」以外**のDVDビデオ
- BD-RE(Ver.1.0)
- HD DVD
- DVD-ROM
- CD-ROM
- CDV
- DVDオーディオ
- CD-G
- Photo-CD
- CVD
- SVCD
- ビデオCD
- SACD
- MV-Disc
- PD
- DVD-RW(片面 2 層) など

SD カードについて

本機で使えるカードは？	SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB） SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB） miniSD メモリーカード microSD メモリーカード microSDHC メモリーカード ●本書では上記カードのことを「SDカード」と記載しています。 ●miniSDカード、microSDカード、microSDHC カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。	
何ができるか？	**動画** MPEG2 AVCHD	●当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画を HDD RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビングできます。(➜71) MPEG2 動画を直接再生することはできません。 ●当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）の再生(➜46)や HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) への取り込み(➜82)ができます。
	録画番組 持ち出し番組	●本機で作成した持ち出し番組の転送(➜100)ができます。
	写真 JPEG	●デジタルカメラなどで撮影した写真の再生(➜83)やダビング(➜90)ができます。

使用可能なSDカードについて

- 4 GB以上のメモリーカードは、SDHCロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
- 使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。（2009 年 10 月現在）**
  http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html
- SDカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
  また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
  このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜112)
- 本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。
- **本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。**

■ カードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、カードの内容を誤って消去することを防げます。

同時操作について

番組の録画中・ダビング中にできる操作

（○：できる　×：できない）

	放送中の番組の視聴	HDD の再生	ディスクの再生	SD カードの再生	ダビング・AVCHD の取り込み	編集	写真の再生・取り込み	ドアホン・センサーカメラ録画	持ち出し番組の転送
DR モードで HDD に録画中	○	○	○	○※2	×	○	×	○	○
HG、HX、HE、HL、HM モードで HDD に録画中	○	○	○※1	×	×	○	×	○	○
XP、SP、LP、EP、FR モードで HDD に録画中	○	○	○※1	×	×	○	×	○	○
BD ディスクに予約録画中	○	○	×	○※2	×	○※3	×	○	×
DVD ディスクに予約録画中	○	○	×	×	×	○※3	×	○	×
i.LINK(TS) 入力から録画中	○	○	○※1	○※2	×	○	×	○	×
DV 入力から録画中	×	×	×	×	×	×	×	○	×
1 倍速でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	○	×
高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	×	×	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズなし）	○	○	×※4	×	×	○※3	×	○	×

●2 番組同時録画中は、録画中の番組以外は放送中の番組を視聴できません。
●「DV おまかせ取込」中は同時操作はできません。
※1　DR モード以外で録画中は、市販の映画などが記録された BD ビデオや AVCHD のディスクは再生できません。
※2　DR モードで録画中は、AVCHD の動画のみ再生できます。（写真は再生できません）
※3　ディスクに録画中やダビング中にディスクの編集はできません。
※4　HDD の番組を複製中は、再生できます。

他の操作を実行中の予約録画の動作

（○：実行する　×：実行しない）

他の操作	予約録画の実行	他の操作	予約録画の実行
録画中	○※1	写真おまかせ取込中	×
再生中（番組・写真）	○※2	写真のダビング中	×
番組の編集の処理を実行中	○	ドアホン・センサーカメラ録画中	○※1
写真の編集の処理を実行中	×	ドアホン・センサーカメラ再生中	○
番組を高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	ドアホン・センサーカメラ映像のバックアップ・復元中	×
番組を高速でダビング中（ファイナライズなし）	○（1 番組のみ）	フォーマット中	×
番組を 1 倍速でダビング中	×	ファイナライズ中	×
i.LINK(TS) ダビング中	×	ブラウザを表示中・ダウンロード中	○※1
DV おまかせ取込中	○※3	別の部屋のテレビなどで再生中	○※1
AVCHD 取込中	×	VOD を表示中	○※1
持ち出し番組を転送中	○※4	ソフトウェア更新中 (ネットワーク)	×

※1　2 番組同時録画ができない状態のときは、予約録画が優先され、実行中の操作は終了します。
※2　ディスク再生中に、ディスクへの予約録画が始まったときや、BD ビデオや AVCHD ディスクを再生中に DR モード以外の予約録画が始まると、再生は終了します。
※3　実行中の操作は終了します。
※4　ディスクへの予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。
●予約録画が実行されなかった場合、それぞれの操作終了時点から予約録画が始まります。

受信できるテレビ放送について

ICカードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。

放送の種類 本書での表示	特徴	本機で利用できるサービス
地上デジタル 地上デジタル	地上波のUHF放送（13～62ch）の周波数帯を使って行うデジタル放送で、高画質な映像や多チャンネルの番組以外に地域密着型のデータ放送なども行われています。 また、本機ではワンセグ放送を録画できます。(➔98) ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、2006 年 4 月 1 日より、NHKおよび民放各社からサービスが開始されています。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります） 放送内容は基本的に地上デジタル放送の通常の番組と同じですが、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらに独自のデータ放送を楽しめるのが特徴です（2009 年 10 月現在）	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
BSデジタル BS デジタル	放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 ●BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。 ●WOWOWなどの有料放送は、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
CATV デジタル CATVデジタル	ニュースや映画、スポーツ、音楽など幅広いジャンルの専門チャンネルから、見たい番組を選択できます。ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。 ●ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス

本機では、地上アナログ放送を受信することはできません。

デジタル放送には、3種類の放送があります。

テレビ放送

従来からのテレビ放送です。

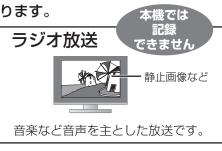
ラジオ放送

本機では記録できません

音楽など音声を主とした放送です。

データ放送

本機では記録できません

お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送です。（天気予報やニュースなど）

取り扱いについて

■ 録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画·編集ができなかった場合の内容の補償、録画·編集した内容（データ）の損失、および直接·間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD 以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

<table>
<tr><td rowspan="2">本機の設置場所</td><td colspan="2">設置場所にはお気をつけください。故障の原因になることがあります。
●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
●不安定な場所に設置しない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●重いものを上に載せない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
また、たばこの煙なども故障の原因になります。

</td></tr>
<tr><td>つゆつきについて</td><td>冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。
●「つゆつき」が発生しやすい状況
·急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
·湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
·梅雨の時期
●「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで（約２～３時間）、電源を切ったまま放置してください。
</td></tr>
<tr><td>本機の移動</td><td colspan="2">① 電源を切る（本体表示窓から “BYE” が消えるまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDDの回転が完全に止まってから（3分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）</td></tr>
<tr><td>お手入れ</td><td colspan="2">本体
電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
●ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをおすすめします。
録画/再生用レンズ
長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画·再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約１年に一度、当社指定のレンズクリーナー（市販品）でほこりなどの除去をおすすめします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。
●当社指定のレンズクリーナーについては、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html
●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。</td></tr>
<tr><td>本機の温度上昇について</td><td colspan="2">本機を使用中は温度が高くなりますが、性能·品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。
●本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>本機を返却するとき</td><td colspan="2">本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）が記録されています。
ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、放送設定「個人情報リセット」を実行し、記録された情報を必ず消去してください。（➜148）
●本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。</td></tr>
</table>

本機が操作を受けつけなくなったときは…	●各種安全装置が働いていることがあります。 ① **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る** ●切れない場合は、約３秒間押し続けると強制的に切れます。（または、電源コードをコンセントから抜き、約１分後再びコンセントに差し込む） ② **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる** 上記の操作を行っても操作できないときは、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

HDD（ハードディスク）

HDD は振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画･再生中の内容が損なわれる可能性があります。

HDD は一時的な保管場所です

HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

HDD に異常を感じた場合はすぐにダビング（バックアップ）を…

HDD内に不具合個所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD 全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- **HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。**

本機から HDD の動作音が聞こえますが故障ではありません

HDD の品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

- 電源切 / 入時
- 番組表データを受信中
- ソフトウェアのダウンロード中またはアクトビラのダウンロード中
- 予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）の、本機全体の自動再起動時
- 録画モード変換時または持ち出し番組作成時

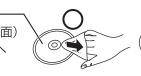
ディスク カード

持ちかた

信号面や
端子面には
手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

信号面
（光っている面）
内側から外へ

レコードクリーナーや
シンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- 当社指定のディスククリーナー（市販品）のご使用をおすすめします。
  当社指定のディスククリーナーについては、下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html

破損や機器の故障防止のために

次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ･シールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - ･印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ･傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ･以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク

- **カード**
  - ･カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気･電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後はケースに収めてください。

こんな表示が出たら

	表示文字（数字は例）	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	-- -- --	●インターネットに接続中です。	—
	D	●番組データなど放送情報を受信中もしくは、録画モード変換の処理中、持ち出し番組作成中、アクトビラからダウンロード中です。	—
	TEL	●電話回線使用中です。 ●自動的に視聴記録の送信を行うため、“TEL”が一時的に点灯する場合があります。（通常、深夜から早朝）	— —
	61PCT	●高速ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。（例：61 パーセント）	—
	BS 101	●現在選んでいる BS デジタル放送のチャンネルです。（例：101 チャンネル）	—
	C 200	●現在選んでいる CATV デジタル放送のチャンネルです。（例：200 チャンネル）	—
	D 011	●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルです。（例：011 チャンネル）	—
	DL 1/5	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。 （1/5などはダウンロードの進行状況です）	—
	DV	●現在、DV 入力が選ばれています。	—
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。	—
	HDMI ONLY	● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ディスクによっては、著作権保護の規定により、アナログでの出力を禁止している場合があります。その場合は、HDMI 端子のみ映像出力が可能です。	—
	MENU	●操作一覧表示中です。	—
	NoFINALIZE	● -R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V) （未ファイナライズのディスクのみ） HDDの録画や再生中などに、**[開/閉▲]**（ふた内部）を押したときに表示されます。ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。	—
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●当社指定のレンズクリーナー（例：RP-CL720）の作業が終了したときに、表示されることがあります。**[開/閉▲]**（ふた内部）を押してクリーナーを取り出してください。	— —
	NoREC	●以下の場合、**[録画●]**（ふた内部）を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中 ・i.LINK(TS) 入力に接続した機器でコピー禁止のディスクなどを再生中	—
	PHOTO	●写真一覧表示中です。	—
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— —
	PROG FULL	●「新番組おまかせ録画」以外の予約が 128件登録されています。不要な予約を消してください。	36
	SLIDE	●写真のスライドショー再生中です。	—
	TRANS	●持ち出せる番組一覧表示中です。	—
	TS	●現在、i.LINK（TS）入力が選ばれています。	—
	T-WARP	●タイムワープ中です。	51

表示文字		調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	UPD 1/5	●ソフトウェアの更新中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5などは更新の進行状況です）	149
	U30 2 1～3のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2 ─[決定]を押しながら、[1]のあとに続けて、表示されたこの番号の数字ボタンを押してください。	―
	U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	―
	U61	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。	―
	U72 U73	●HDMI接続時に異常が発生しました。 ・接続機器がHDMIに対応していません。 ・HDMIケーブルが破損しています。 ・HDMIロゴの付いたケーブルをお使いください。	―
	U76	●HDMI端子と接続した機器が、著作権保護に対応していないため、著作権保護された BD-RE BD-R BD-V DVD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) は再生できません。	―
	U77	●お使いの BD-RE BD-R BD-V DVD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) は著作権情報が不正なため映像は出力されません。	―
	U88	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。	―
	F99	●本機が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。	―
	F00 H00 （数字の 00は例です）	●異常が発生しました。（“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります） 電源を一度、切 / 入してください。	―
	UNFORMAT	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	112
	UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。本機に対応したディスクをお使いください。	10、12、158
	VIDEO	●録画一覧またはドアホン･センサーカメラ映像一覧表示中です。	―

上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
上記に紹介している操作をしても表示が消えない場合は、ご加入のケーブルテレビ局へ修理を依頼してください。

ディスクの取り出し時 -R(AVCREC) -R(V) -R DL(AVCREC) -R DL(V) -RW(V) （未ファイナライズのディスクのみ）

[開/閉▲]（ふた内部）を押して記録済みディスクを取り出そうとすると、ファイナライズの誘導画面を表示します。ファイナライズを行うと、他のDVD機器で再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

他のDVD機器再生（ファイナライズ）

このディスクは他のDVD機器で再生できる処理を行うことができます。処理を行うと記録や編集はできなくなります。処理には約○分かかります。処理を開始してもよろしいですか？

● 録画ボタンを押すと処理を開始します。

▲ 開/閉ボタンを押すと処理を終了します。

この動作を行わないで終了した場合、本機以外で再生できません。

ファイナライズを行う場合
[録画●]（ふた内部）を押す
●ファイナライズが実行されます。

ファイナライズを行わない場合
[開/閉▲]（ふた内部）を押す
●ディスクトレイが開きます。

HDD の録画や再生中などは、ファイナライズを行わずにディスクトレイが開きます。本体表示窓には、下記の表示が出ます。

● -R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後のディスクのトップメニュー画面の背景色や再生方法を設定したい場合は、ファイナライズを実行する前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(➜115)

すべての表示を記載しているわけではありません。

こんな表示が出たら（つづき）

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
ネットワーク設定や接続テスト	接続できませんでした。 (C200)	●ハブをお使いの場合で、ハブの Link ランプが消えているときは、ケーブルの接続、LAN端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。	124～126
	IP アドレスが設定されていません。 (C201)	●**初期設定**「IPアドレス/DNS設定」で「IPアドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。（必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください）	155
	IP アドレスが取得できませんでした。 接続や設定をご確認ください。 (C203)	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブのLinkランプが点灯しているか確認し、消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。 上記で問題がなければ、ルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも 1 つの方法です。	124～126
	IP アドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。 (C204)	●本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われています。 他のパソコンや、本機、ルーターのIPアドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。	―
	接続テストを実行できませんでした。 (C205)	●一度、電源を「切」にし、電源コードを抜き差しし直して、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。	―
	アドレスが正しく設定されませんでした。 (C206)		
	ゲートウェイが応答しません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。 (C207)	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブの UPLINK ポートの Link ランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。 ●**初期設定**「IP アドレス /DNS 設定」で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。 ●無線 LAN をご使用の場合、通信設定をご確認ください。設定について詳しくは無線 LAN の説明書をご覧ください。MAC アドレスが必要な場合は、**初期設定**「IP アドレス /DNS 設定」を表示してご確認ください。 ●IP アドレス自動取得を「しない」に設定している場合、接続テストを行うとこのメッセージが表示されますが異常ではありません。	124～126 155 155 155
通信時	サーバーへの接続に失敗しました。 (B020)	●サーバーが混み合っているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。	―
	サーバーとの通信に失敗しました。 (B021)	●通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われます。しばらく待って再度実行してください。	―
	認証に失敗しました。 (B401)	●接続先の ID やパスワードを正しく設定してください。	―
	接続先サイトの証明書の検証で問題がありました。接続先の安全性が確認できませんが接続しますか？ サイト名:○○○○	●接続先のサイトが安全かどうかの確認ができませんでした。このまま接続することもできますが、接続しないことをおすすめします。しばらく待って再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。	―

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音
  （ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切/入時の音
- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- 早送り･早戻し時の映像の乱れ
- BS/CATV放送の一時的な休止による受信障害

本機が操作を受けつけなくなったときは…	●各種安全装置が働いていることがあります。 ① **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る** ●切れない場合は、約３秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源コードをコンセントから抜き、約１分後再びコンセントに差し込む) ② **本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を入れる** 上記の操作を行っても操作できないときは、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	**電源が入らない**	●予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、**初期設定**「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。 ●停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の **[電源⏻/I]** を押し、電源を入れてください。	— —
	自動的に電源が切れた	●**初期設定**「自動電源〔切〕」が「2時間」または「6 時間」になっていませんか。 ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の **[電源⏻/I]** を押し、電源を入れてください。 ●**初期設定**「ビエラリンク制御」が「入」の場合は、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。自動的に切れないようにするには、設定を「切」にしてください。 ●ビエラリンク(HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続している場合、テレビ側の「こまめにオフ」の設定が有効なとき、テレビの入力を本機を接続した HDMI 入力以外に切り換えると、自動的に本機の電源が切れます。(詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください)	149 — 153 —
表示	**表示が出ない** **表示が暗い**	●**初期設定**「本体表示窓の明るさ」で明るさを変えてください。 ●ビエラリンク(HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続している場合、ECO スタンバイの機能が働くと、本体表示窓は消灯します。	152 153
	“録画 1”または“録画 2”が点滅している	●以下の場合に点滅します。 ･予約録画の開始時刻の約 3 分前から開始時刻までの間 ･デジタル放送録画時、アンテナ抜けや電波が弱くて正常に録画できないとき ･録画や予約録画時に IC カードが抜けているとき ･予約録画時に、HDDの残量がないとき ･「録画禁止」の番組を録画しようとしたとき	—
	残量表示が使用した量と違う	●残量表示は実際より増減することがあります。録画モード「DR」で録画した場合は特にばらつきが大きくなります。 ● -R -R DL 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。	— —
	残量表示が画面によって異なる	●DR モード選択時の残量は、番組表や予約確認画面などでは、放送に合わせて 14 Mbps、17 Mbps または 24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧画面などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。	—

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
テレビ画面や映像	**映像が出ない** **映像が乱れる**	●テレビのD1またはD2映像入力端子に接続した場合は、はじめて本機の電源を入れたあと、本体の[■ 停止]と[▶ 再生]を同時に5秒以上押してください。D1で出力されるようになり、画面に映像が映ります。	—
		●HDMI端子の接続状態に合わせて、**初期設定**「HDMI映像優先モード」を設定してください。 ・HDMI端子でテレビと接続:「入」 ・D端子でテレビと接続し、HDMI端子でアンプなどと接続:「切」	154
		●HDMI ケーブルによっては、接続の向きが決められているものがあります。向きを逆にして接続してみてください。	—
		●接続したテレビに複数のHDMI入力端子がある場合、他のHDMI入力端子に接続してみてください。	—
		●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。	—
		●コンポーネント(色差)ビデオ入力端子が1080iの信号のみに対応しているテレビの場合、D端子ピンケーブルで接続すると、DVDビデオの映像を正常に再生できません。映像(またはS映像)・音声コードで接続してください。	—
		●**初期設定**「D端子出力解像度」を「D3」「D4」に設定した場合、DVDビデオの映像または DV 入力からの映像は、はじめの数秒間黒い画面が表示されたり、画面が乱れたりします。	154
		●HDCP(不正コピー防止技術)に対応したDVIデジタル入力端子付の機器(パソコンのディスプレイなど)に DVI/HDMI 変換ケーブルを使用して接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)	—
		●テレビによっては、再生やダビング開始などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。	—
		●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。	—
		●**初期設定**「24p 出力」が「入」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分では HDMI 認証が起こり、黒画面になります。	154
	表示していた画面が消える	●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。	152
	横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる **画面サイズがおかしい**	●**初期設定**の以下の設定を確認してください。 ・「TV アスペクト」 ・「ワイドモード」 ・「TVアスペクト(4:3)の設定」 ●テレビ側の画面モードなどの設定を確認してください。	 153 149 154 —
	記録した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●4:3映像で記録された可能性があります。 **初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。	153
		●4:3のテレビにD端子またはHDMI端子で接続し、16:9映像を出力する場合、縦に引き伸ばされます。テレビのアスペクト設定で調整してください。また、調整ができない場合、**初期設定**「D端子出力解像度 」を「D2」、「HDMI出力解像度」を「480p」に設定してください。	154
	テレビの左右に黒帯が表示される	●「画面モード切換」で「サイドカット」を選ぶか、**初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」にしてください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。	16、153
	映像の左右の端が切れる、または色が薄い	●表示領域の広いテレビは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	—
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」の「HDオプティマイザー」を「切」にしてください。	55
	ハイビジョン映像で出力されない	●ディスクによっては著作権保護のため、D端子からの出力が480pに制限される場合があります。	—

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ボタン操作	テレビが操作できない 電池を交換したがリモコンが働かない	●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。 ●リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）などがありませんか。 ●本体とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。 [決定] を押しながら、[1] のあとに続けて、表示されたこの番号の数字ボタンを押してください。 ●リモコンの [テレビ /STB 切換スイッチ] を確認してください。 本機を操作するときは「STB 側」、テレビを操作するときは「テレビ側」に切り換えてください。	136 6 — — —
デジタル放送	画質や音質が少し悪くなった	●雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、ケーブルテレビ局で電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。	—
	字幕や文字スーパーが出ない	●字幕や文字スーパーのある番組の場合、**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」にしてください。	147
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	●IC カードが正しく挿入されていますか。 ●有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 ●電話回線が正しく接続されていますか。 ●「電話設定」が正しく設定されていますか。 ●ネットワークの接続は正しくされていますか。	127 — 123 131 124
本体	本機が熱い	●本機使用中は温度が高くなりますが、性能･品質には問題ありません。 移動やお手入れなどをするときは、電源コードを抜いて3分以上待ってから移動させてください。本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。	—
	ディスクが取り出せない	●本機の故障が考えられます。 電源「切」状態で、本体の [■ 停止] と [チャンネル ∧] を同時に約5秒以上押すと、ディスクトレイが開きます。（ディスクトレイが開かない場合は、本体の [電源⏻/I] を3秒以上押したあと、再度同様の操作を行ってください） ディスクを取り出し、ご加入のケーブルテレビ局へご相談ください。	—
	ディスクのトレイが開くのに時間がかかる	●取り出し時にディスクの管理情報を更新する場合、時間がかかります。	—
	起動が遅い 電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる	●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていますか。 ●以下の場合、時間がかかります。 ・RAM 以外のディスクが入っているとき ・停電直後または電源コードを差した直後 ・D端子やHDMI 端子と接続しているとき ●ビエラリンク（HDMI）Ver.4 対応のビエラと接続し、ECO スタンバイの機能が有効なとき、ビエラの電源「切」時に本機の電源のみ「入」にすると起動が遅くなります。	149 — 153
	電源「切」時に動作音がする	●**初期設定**「クイックスタート」が「入」（工場出荷時は「入」）の場合、内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。 ●HDD の品質維持のため、自動的に内部点検を行っている場合、本機から音が聞こえることがありますが、故障ではありません。	149 163

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。	151
		●**[音声切換]**(ふた内部)を押して、適切な音声か確認してください。	—
		●二重放送の番組を再生する場合、**再生設定**「音声」の「音質効果」を「切」にしてください。	55
		●デジタル音声出力端子またはHDMI端子から音声出力時、**初期設定**「デジタル出力」を「Bitstream」にしていると、リ.マスターなどの音質効果が働きません。設定を「PCM」にしてください。(ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2チャンネルの音声になります)	151
		●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。	—
		●HDMI端子の接続状態に合わせて、**初期設定**「HDMI音声出力」を設定してください。 ・HDMI端子でテレビと接続し、テレビから音声を出力:「入」 ・HDMI端子でテレビと接続し、デジタル音声出力端子で接続したアンプなどから音声を出力:「切」	154
		●HDMI端子で接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。	—
		●HDMI端子で接続し、**初期設定**「BDビデオ副音声・操作音」を「入」にしている場合、副音声を含む BD-V では、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDの音声はドルビーデジタルの音声で、DTS-HDの音声はDTSの音声で48 kHzに変換されて出力されます。オリジナルの音声で出力する場合は、「切」にしてください。	151
	片方のスピーカーからしか音声が出ない	●**初期設定**「ダウンミックス」を「ノーマル」にしてください。	152
	音声が切り換えられない	●**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合、DV入力から記録した番組は音声の切り換えができません。	150
		●ディスクや設定により記録される音声には制限があるため、再生時に切り換えができなくなる場合があります。	44
		●アンプと接続している場合、以下の方法で切り換えてください。 ・アンプ側で音声を切り換える ・本機で切り換える場合は、**初期設定**「デジタル出力」を「PCM」に設定する	— 151
		●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。	—
	サラウンドの音声が出ない	●接続するアンプによっては、音声が2チャンネルになる場合があります。**再生設定**「音質効果」の「リ.マスター」を「切」にしてください。	55
ディスク	記録できない	●ディスクをフォーマットしていますか。	112
		●ファイナライズ後のディスクは記録できません。	—
		●誤消去防止(プロテクト)の設定がされていませんか。	114
		●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。(不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください)	41
		●カートリッジ付きのBD-REは、本機では記録できません。	—
		● -R -R DL 記録後、ディスクの出し入れや電源の切/入を約30回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。	—
		●本機以外のDVDレコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。	—
		●録画/再生用レンズが汚れている場合があります。レンズをクリーニングしてください。	162
視聴	放送中の番組の視聴ができない	●1倍速でのダビング中は、視聴できません。	—
		●高速ダビングでも、ファイナライズを行うダビング中は、視聴できません。	—
録画	録画できない	●ディスクは **[録画●]**(ふた内部)を押しても、録画できません。	—
	2番組を同時に録画できない	●以下の場合、2番組同時録画はできません。 ・デジタル放送の2番組を「DR」モード以外で録画 ・高速ダビング中(1番組のみHDDに録画可能) ・DV入力やi.LINK(TS)入力で録画中	—

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
予約録画	**予約録画ができない**	●以下の動作中、予約録画は実行されません。 ・1倍速ダビング、ファイナライズを含むダビング、i.LINK(TS) ダビング ・フォーマット、ソフトウェアのダウンロードなど中断できない動作 ●**[予約確認]**を押して、予約内容を確認してください。 ・「重複」が表示された予約は、番組の一部またはすべてが録画できません。 ・「予約実行切」が表示された予約は、「予約実行入」にしてください。	160 36
予約録画	**ディスクに予約録画ができない**	●以下の場合、ディスクに予約録画できません。 ・カートリッジ付きの BD-RE ・未フォーマットのディスク ・ -R(V) -R DL(V) -RW(V) のディスク ・ RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) に録画モード「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」で予約 ・ RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) に録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で予約 ・CPRM 非対応の DVD にデジタル放送を予約 ・誤消去防止(プロテクト)の設定がされたディスク ・ディスクへの予約がすでにある(ディスクへの予約は 1 番組のみ)	—
予約録画	**番組の検索ができない**	●**初期設定**「G ガイド地域設定」がお住まいの地域に合っていない場合、番組の検索が正しく行われないことがあります。	146
予約録画	**番組追従機能が働かない**	●時間指定予約では働きません。 ●毎週予約をした場合、放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。 ●毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。	— — —
予約録画	**予約録画が終わっても、予約内容が消えない**	●毎日・毎週予約のときは予約内容が残ります。 ●予約が正しく終了しなかった場合は、「一部未実行」などのマークが翌々日の午前4時まで表示されます。予約を取り消す操作で取り消すこともできます。	— 36
予約録画	**録画した番組の一部、またはすべてが消えた**	●録画中に停電になったり、電源コードが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。(当社およびご加入のケーブルテレビ局では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません)	—
再生	**再生できない**	●カートリッジ付きの BD-RE は再生できません。 ●SDカードの MPEG2 動画は直接再生できません。HDDなどにダビングしてから再生してください。	— 71
再生	**再生が始まらない、またはすぐに停止する**	●他の機器(ブルーレイディスクレコーダーやパソコンなど)で録画したコピー制限のある番組は、本機のHDDへダビングしても、著作権保護のため再生できません。 ● RAM(VR) EP(8時間)モードで記録した場合、他の機器で再生できないことがあります。この場合は、EP(6時間)モードで記録してください。	— 150
再生	**再生の映像が乱れたり、正しく再生されない**	●天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。 ●録画モードの異なる番組や、アスペクト比(映像の横縦比)、解像度(480pなど)の異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。 ●i.LINK(TS)ダビングをした番組は、番組の一部が欠けている場合があります。 ●2倍速対応以下のDVDに記録された高画質(転送レート約18Mbps以上)の動画は、正しく再生できません。	— — — —
再生	**番組の先頭から再生が始まらない**	●続き再生メモリー機能が働いています。番組の先頭から見たい場合は、**[I◀◀]**(ふた内部)を数回押して番組の先頭に戻ってください。	—
再生	**映像や音声が一瞬止まる**	●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ● -R DL 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	— —
再生	**BD ビデオや DVDビデオを再生できない**	●視聴制限が設定されている場合、**初期設定**「DVD-Videoの視聴制限」や「BD-Video の視聴可能年齢」を変更してください。	150
再生	**音声言語や字幕言語が切り換えられない 字幕が出ない**	●ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」の「字幕情報」が「入」になっていますか。 ●**再生設定**「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	54 45
再生	**録画一覧に番組が表示されない**	●視聴制限のある番組は、視聴制限一時解除を行うと表示されます。	48

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生	録画した番組の字幕が出ない	●DR モードの番組は、**再生設定**「信号切換」の「字幕」を「オン」にしてください。 ●録画モード「DR」以外で録画する場合、「字幕」を「オン」にして記録しないと、字幕情報は記録されません。	54 17、33
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所のみ切り換わります。	—
	BDビデオやDVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容を工場出荷時の状態に戻してください。**[開/閉▲]**（ふた内部）を押してトレイが開いている状態で BD ドライブを選び、本体の **[▶ 再生]** と **[●録画]** を同時に5秒以上押すと戻ります。（本体表示窓に“INIT”が表示）	—
	自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●DRモードの番組やDV入力/i.LINK(TS)入力から録画した番組では働きません。 ●以下のように働きます。 ・HDD：1番組あたり499回まで ・BD-RE BD-R：1番組あたり49回/ディスク1枚あたり499 回まで ・RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)：1番組あたり49回/ディスク1枚あたり49回まで	54 — —
	スロー再生が戻り方向に働かない コマ戻しが正しく働かない	●BD-V AVCHD では、スロー再生は戻り方向には働きません。 ●BD-V AVCHD コマ戻しはできません。	— —
	続き再生メモリー機能が働かない	●記憶した位置は、以下の場合解除されます。（HDD は解除されません） ・ディスクやSDカードを取り出す ・CD SD 電源を切る	—
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状です。インターレース出力にすれば問題なく再生できます。**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」にしてください。HDMIケーブルでテレビと接続している時は、以下の手順で設定してください。 ① HDMI端子以外の映像端子で接続する ② **初期設定**「HDMI映像優先モード」を「切」にする ③ **初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」にする	154 — 154 154
ダビング	ダビングできない	●録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で録画した番組を RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはダビングできません。 ●HDD から -R(V) -R DL(V) -RW(V) へのダビング時、以下の場合ダビングできません。HDDの不要な番組を消去してください。 ・HDDの残量が少ないとき（使用するディスクによっては、HDDの残量がSPモードで最大４時間必要な場合があります） ・HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が3000を超えるとき ●市販やレンタルの BD ソフトはダビングできません。 ●市販やレンタルのDVDソフトの多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像はダビングできません。 ●管理情報が含まれるなどの理由により、ダビング先に記録される容量がダビングする番組の合計より少し大きくなり、ダビングできない場合があります。また残量が不足していない場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。	— — — — —
	高速モードでダビングできない	●ダビングする番組やディスクなどによって、高速でダビングできない場合があります。	73
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っていませんか。 高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。	— —
	高速ダビング時の動作音が大きい	●高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、**初期設定**「DVDの高速ダビング速度」を「高速モード」または「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。	150
	ダビングした番組の録画時間が短くなる	●本機で編集を行った番組をFRモードでダビングした場合、録画時間が短くなることがあります。	—
編集	番組を消去しても残量が増えない	●BD-R -R -R DL 消去しても増えません。 ●-RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。 途中の番組を消去しても増えません。	— —
	編集できない	●HDD 残量がないと、編集ができなくなることがあります。 不要な番組を消去して残量を増やしてください。 ●ファイナライズ済みのディスクは編集できません。 ●本機では、持ち出し番組の編集はできません。	62 — —
	部分消去の開始点や終了点が設定できない	●開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。	—
	プレイリストが作成できない	●本機ではプレイリストの作成はできません。	—

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
他機器との連携	外部機器からダビングすると、黒い帯状のノイズが録画された	●接続した機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けていることが考えられます。接続した機器をテレビから離してください。	—
	i.LINK(DV入力/TS)に接続して録画やダビングができない	●**初期設定**で以下の設定をしてください。 ・「i.LINK機器モード設定」:接続した機器に合わせる	154
	DVおまかせ取込ができない	●録画できない場合や中断する場合は、接続と接続機器の設定などを確かめてください。 ●DV機器からの映像がテレビ画面に表示されない場合は、録画できません。 ●DV機器側が、再生の一時停止状態になっていますか。 ●テープ上でタイムコードが連続していない場合や、接続した機器によっては、正しく働かない場合があります。	80 — — —
	i.LINK(TS)ダビングができない	●接続した機器が本機で対応している機器か確認してください。 ●接続した機器の電源が「切」になっていませんか。 ●本機や接続した機器側で、i.LINK(TS)が動作する設定になっていますか。	— — 76
	ダビングしたディスクが他の機器で再生できない	●ファイナライズしていますか。 ●AVCREC方式のディスクの場合、そのディスクのAVCREC方式の再生に対応している必要があります。	115 12
番組表	番組表が表示されない 8日分表示されない	●本機を初めてご使用のときや、約1週間以上本機の電源コードを抜いていた場合は、番組表を受信できていないため、表示できません。	—
	番組表に"予"が表示されない	●時間指定予約の場合は、予約した番組の放送時間が、番組表の放送時間を含んでいるときのみ表示されます。	—
	放送局やGガイドのロゴが表示されない 広告が表示されない	●お好み選局では、放送が受信できない場合や設置後すぐには表示されません。 ●番組表では、受信状態によって表示されません。	— —
	1ヵ月の番組表が表示されない	●ネットワークの接続と設定および「番組表設定」を確認してください。 ●2009年10月現在、WOWOWのみ表示できます。	124、133、139 —
写真	写真一覧画面で写真が表示されない	●日付別表示とアルバム表示とを間違っていませんか。**[サブ メニュー]**を押して、切り換えてください。 ●パソコンなどで編集した写真は再生できない場合があります。	— —
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。	159
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れていませんか。(カードの内容が壊れている場合もあります)本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっていませんか。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB～2 GBまでのSDカードと4 GB～32 GBのSDHCカードが使用できます。	— 180 — —
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、または写真の解像度が高い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。 カードやディスクをフォーマットしてください。	— 112
持ち出し番組	持ち出し番組を作成できない	●ダビングができない番組は持ち出し番組を作成できません。 ●HDDの残量が少ない場合や、HDDの番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。 ●録画先が「HDD」以外の場合、持ち出し番組は作成できません。 ●BS·CATV 放送の番組は、予約録画時に設定していても録画後すぐには持ち出し番組は作成されません。通常の番組の録画終了後、本機の電源「切」時に通常の番組から変換して持ち出し番組を作成します。	— — — —
	持ち出し番組を転送できない	●SDカード内のハイビジョン動画(AVCHD)以外の動画の数と持ち出し番組数の合計が99を超える場合、転送できません。 ●SDカードの著作権の管理情報がいっぱいの場合、転送できません。管理情報を消去するためには、SDカードをフォーマットしてください。ただし、記録されている内容もすべて消去されます。	— 112

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ブロードバンドレシーバー／ドアホン・センサーカメラ録画	操作できない	●ネットワーク接続は正しいですか。 ●通信状況（電波の届きにくいところやネットワークの状況）などにより、操作できないときがあります。 ●オンエアーダウンロード中は、操作できません。また、お使いの環境により、ダウンロード終了後も一時的に操作できないことがあります。	124 — 137
	携帯電話で本機を操作できない	●**初期設定**「ブロードバンドレシーバー設定」※が選ばれている状態で、「インターネット接続」と表示されていない場合、接続を確認してください。 ●本機が使用中の場合、操作できないことがあります。 ●加入しているサービスの会員登録や機器登録の内容を確認してください。 ●ルーターの設定（DHCPサーバー機能やセキュリティーなど）を確認してください。詳しくは、ルーターの説明書をご覧ください。 ●回線業者や対応するプロバイダーがルーターの使用を制限している場合があります。加入している回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。	142 — — — —
	機器パスワードを忘れた	●加入しているサービスで機器登録を削除後、**初期設定**「機器パスワード初期化」を行ってください。そのあと、パスワードを再設定してください。	155
	ドアホン・センサーカメラ録画ができない	●**初期設定**「ドアホン・センサーカメラの接続設定」画面を表示し、接続設定を確認してください。 ●ドアホンまたはセンサーカメラ側の設定を確認してください。 ●2 番組同時録画中、高速ダビングと録画の同時実行中はできません。（通知のみ記録します） ●HDD 管理画面表示中、初期設定画面表示中、ファイナライズ中、ドアホン・センサーカメラ映像の編集の処理中、バックアップ・復元中などの動作が優先され、録画ができない場合があります。 ●複数のセンサーカメラを接続していて、ほぼ同時に複数のカメラが反応した場合、3台目以降のカメラからは録画されないときがあります。 ●通信回線に異常が発生した場合、録画ができなくなります。 復旧するまでしばらくお待ちください。	143 — — — — —
	センサーカメラ録画の映像が乱れる	●H.264 対応のセンサーカメラからの映像を録画中に、2番組同時録画が開始されたなどで録画が中断されると、最後の約 1 秒間が乱れた状態で記録される場合があります。	—
ビエラリンク（HDMI）	ビエラリンク（HDMI）が働かない	●本機の電源を「入」にしたときに、本体表示窓に “HDMI” が表示されない場合は、HDMIケーブルの接続を確認してください。 ●**初期設定**「ビエラリンク制御」が「入」になっていますか。 ●接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。 ●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンク（HDMI）が動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。 **1 HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ（ビエラ）の電源を入れ直す** **2 テレビ（ビエラ）のビエラリンク（HDMI）を制御する設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する（詳しくはビエラの取扱説明書をご覧ください）** **3 テレビ（ビエラ）の入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、ビエラリンク（HDMI）が動作するか確認する**	— 153 — —
	「番組ぴったりサウンド」が働かない	●**初期設定**「オートサウンド連携」が「入」になっていますか。 ●接続した機器の電源を入れる順番によっては、正しく働かない場合があります。その場合、テレビ（ビエラ）の入力を HDMI 入力以外に切り換えたあと、再び本機を接続した HDMI 入力に切り換えてください。	153 —

※ TZ-BDW900M、TZ-BDW900F にブロードバンドレシーバー設定はありません。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ビエラリンク(LAN)/ホームサーバー機能	番組の再生ができない	●接続や設定を確認してください。	124、153、155
		●再生する機器の MAC アドレスは正しいですか。	—
		●以下の番組は再生できません。 ・ダウンロードした番組(DLNA 対応の他社製機器で再生時)(2009年10月現在)	96
		・録画中の番組	—
		・i.LINK(TS) 入力から録画した番組	—
		●本機が以下の操作中の場合、再生することはできません。 ・2 番組同時録画中 ・BD ビデオや AVCHD のディスク、SD カードを再生中 ・高速ダビングと録画の同時実行中 ・初期設定画面表示中 ・ブラウザなどのネットワークを利用する機能を使用中　など	—
		●機器によっては、本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)が再生できない場合があります。	—
		●2 台以上の機器で同時に再生することはできません。	—
その他	電話機にノイズ(雑音)が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●モジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリでこの症状が出る場合がありますが、市販の自動転換器(パソコン対応用も含む)または電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で改善される場合があります。 詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	—
	ソフトウェア更新(ネットワーク)ができない	●ネットワークの接続や設定は正しいですか。	124
	ソフトウェアのダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。設定をやり直してください。	129
	操作一覧が表示されない	●本機の入力が「i.LINK(TS)」になっていませんか。 **[入力切換]**(ふた内部)を押して「i.LINK(TS)」以外を選んでから、**[操作一覧]**を押してください。	—

言語番号一覧　「再生設定(再生専用ディスク)」の言語選択時に使用します。(➜150)

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
ヴォラピュック	8679
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国(朝鮮)語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール(スコットランド)	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スペイン	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア(白ロシア)	6669
ベンガル(バングラ)	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ(マレー)	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア(レット)	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

表示マーク一覧

●本機は表示マーク(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組内容画面

マーク	内容
テレビ	テレビ放送(映像+音声)の番組
データ	データ放送の番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
信号	映像や音声などの信号切り換えできる番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
アナログ XCOPY	アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組
アナログ X出力	アナログ(映像端子、S1/S2映像端子、D端子)出力しない番組(音声も出力されません)
ラジオ	ラジオ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
16:9 1080i	番組の映像信号情報 上:画面の横縦比(16:9、4:3) 下:信号方式 (デジタルハイビジョン放送− 1080i、720p) (デジタル標準テレビ放送− 480p、480i)
主+副	二重音声信号で、「主+副」の音声の番組
字幕	字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組
20 才~	視聴年齢制限がある番組 (表示される年齢は4~20才まであります)
制限 COPY	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組
デジタル 1COPY	「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組
有料	有料のデータを含む番組(ペイ·パー·ビュー番組)

予約一覧画面

マーク	説明
可	全編の録画が可能な番組
変更可	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組
重複	予約時間が重なっている番組
FULL中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
不可	HDDの残量が不足していたり、HDDの番組数がいっぱいで録画できない番組
COPY X中断	録画禁止信号により録画が中断された番組（デジタル放送など）
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組や番組視聴の契約がされていなかった番組
予約実行切	予約の実行が「切」になっている番組
代替	予約時にディスクが未挿入などで、HDDに代替録画される番組
月/日迄	毎週予約時の、録画可能な日付（最大1ヵ月先）。（他の番組の録画や消去など、ディスクの残量によって、日付が変更される場合があります）
警告	予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
お知らせ	番組表を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示
番組PPV	番組表を使って予約したペイ・パー・ビュー番組
購入失敗	番組購入できずに予約録画に失敗したペイ・パー・ビュー番組
●	録画中の番組
検索中	時間変更追従を実行中（時間確認中）

マーク	説明
時間指定	時間指定予約で予約した番組
番組予約	番組表を使って予約した番組
まとめ予約	「注目まとめ予約」で予約した番組
注目番組	注目番組一覧から予約した番組
シリーズ終了	毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをおすすめします。
新番組	「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組
毎週 毎日 月~土 月~金	毎日・毎週予約の番組
曜日指定	曜日指定した毎日・毎週予約のときに表示
毎週更新 毎日更新 月~土更新 月~金更新	毎日・毎週予約で自動更新をする番組（前回録画した内容に上書きして録画します）

表示マーク一覧（つづき）

録画一覧、写真一覧、曲一覧画面

マーク	説明
	HDDにダビング中の番組や視聴期限の過ぎたダウンロードした番組（➜96）またはデータが壊れている番組など、再生できない番組
	書き込み禁止（プロテクト）設定した番組や写真
	録画･アクトビラからダウンロード中の番組
（数字は10〜2）	本機で録画したコピー制限のある番組 数字はディスクへダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。
（赤）	本機で録画したコピー制限のある番組 ディスクへダビングするとHDDの番組は消去されます。
（白）	ダウンロードした番組（➜96）でディスクへダビングできる回数が残り１回の番組
	ダビングできない番組
	「新番組おまかせ録画」で録画された番組
	HDDに代替録画された番組
	新しく録画してまだ見ていない番組
	「写真おまかせ取込」で取り込んでまだ見ていない写真
	録画禁止信号により録画できなかった番組（デジタル放送など）
	２つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	プリント枚数（DPOF）が設定された写真
	再生中の曲

ダビング、持ち出せる番組一覧画面

マーク	説明
	-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速でダビングできる番組
	静止画を含むもの （HDD に静止画部分はダビングされません）
	録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」で録画された番組または本機に取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）
	録画モード「DR」で録画された番組 [i.LINK（TS）ダビング時]
	２つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	かんたん転送するように登録されている番組
1 （数字は1〜99）	ダビング登録した番組 数字の小さい番組から順にダビングします。
10 （数字は10〜2）	本機で録画したコピー制限のある番組 数字はダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。
1 （赤）	本機で録画したコピー制限のある番組 ダビングするとHDDの番組は消去されます。
	ダビングすると移動する番組 （詳細ダビング時）
1 （白）	ダウンロードした番組（➜96）でディスクへダビングできる回数が残り１回の番組
×	ダビングできない番組

その他の画面

マーク	説明
	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）（➜145）
	番組表を使って予約された番組の番組表上での表示
	新しく録画してドアホン･センサーカメラ映像一覧でまだ表示していない映像
	メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール（既読メール）
新	「新番組おまかせ録画」で予約された番組の番組表上での表示

用語解説

サ

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

タ

ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差が小さくなり、小音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

ダウンミックス
デジタル放送やディスクに収録されたサラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオなどをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されます。

ダビング 10
デジタル放送のほとんどの番組にかけられていた「1 回だけ録画可能」のコピー制限を緩和するもので、本機は「ダビング 10」に対応しています。HDD に録画した番組は、ディスクに 10 回までダビング(コピー9 回 + 移動 1 回)ができ、10 回目のダビングで消去(移動)されます。(ディスクに録画した場合は、「1 回だけ録画可能」となり従来どおりダビングできません)
すべてのデジタル放送の番組が「ダビング 10」対応になるわけではありません。

デジタルハイビジョン
デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送(SD)とデジタルハイビジョン放送(HD)があります。ハイビジョンの有効走査線数は現行テレビ放送の480本の倍以上の1080本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

ハ

ファイナライズ
番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。
ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDビデオの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDビデオに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画の映像などで使われています)
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。(テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています)

フォーマット
記録前のDVD-RAMなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。
フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

フォルダ
ハードディスクやSDカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真(JPEG)やMPEG2などの保管場所を表します。
(本機で表示されるフォルダ構造例 ➜180)

ブラウザ
ネットワーク上のページを表示するためのソフトウェアです。

プロキシアドレス
ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレス。
ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。(例:proxy. ○○○ .ne.jp)

プロキシポート番号
プロキシアドレスと共に、ご加入のケーブルテレビ局から指定される番号です。(例:8000)

プログレッシブ (p) /インターレース (i)
インターレース(飛び越し走査)は、画面の表示を奇数段と偶数段の 2 回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ(順次走査)は、画面の表示を1回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

マ

マルチビュー放送
1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。
(2009 年 10 月現在、マルチビュー放送は行われていません)

ワ

ワンセグ
ワンセグ(地上デジタルテレビ放送1セグメント部分受信サービス)とは、携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。放送内容は基本的に地上デジタル放送の通常の番組と同じですが、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらに独自のデータ放送を楽しめるのが特長です。(本機は、データ放送サービスには対応していません)

A

エーエーシー　アドバンスド　オーディオ　コーディング
AAC（Advanced Audio Coding）
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド･オーディオ･コーディング」の略で、CD 並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

エーブイシーエイチディー
AVCHD
高精細なハイビジョン映像を 8 cmDVD 記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット(規格)の名称です。

B

ビーディー　ジェイ
BD - J
BD ビデオには、JAVA アプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションは BD-J と呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

ビットストリーム
Bitstream
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

C

キャス
CAS
ケーブルテレビや BS･CS デジタル放送などの有料放送サービスにおいて用いられている、限定視聴制御方式です。ケーブルテレビ加入者が視聴契約に基づいて視聴するチャンネル制御や番組視聴情報を管理します。

シーピーアールエム
CPRM
コンテント　プロテクション　フォー　レコーダブル　メディア
（Content Protection for Recordable Media）
デジタル放送のコピー制御信号が加えられた番組に対する著作権保護技術のことです。コピー制御信号が加えられた番組は、CPRMに対応した機器とディスクに記録できます。

D

D映像端子
コンポーネント(色差)ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

ディープ　カラー
Deep Color
8 bit 以上の色情報を扱える高色域規格の1つです。
Deep Color 対応のテレビに接続することで、映像を 8bit 以上の高階調表示に変換して表示します。

ディーエルエヌエー　デジタル　リビング　ネットワーク　アライアンス
DLNA （Digital Living Network Alliance）
PC 業界と家電業界の企業により、ホームネットワーク環境でデジタル AV 機器同士や、PC を相互に接続することを目的として結成された団体のことです。

ドルビー　デジタル
Dolby Digital
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2 ch)はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビー　デジタル　プラス
Dolby Digital Plus
ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD規格では最大 7.1ch まで対応しています。
※ 本機では最大7.1chのPCM音声にデコードしてHDMI端子から出力できます。また、対応しているAVアンプに「Bitstream」で出力することもできます。

用語解説（つづき）

● **Dolby TrueHD**（ドルビー トゥルーエイチディー）
DVD オーディオで採用されている MLP ロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD規格では最大7.1chまで対応しています。
※ 本機では最大7.1chのPCM音声にデコードしてHDMI端子から出力できます。また、対応している AV アンプに「Bitstream」で出力することもできます。

● **DPOF（Digital Print Order Format）**（ディーポフ デジタル プリント オーダー フォーマット）
デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

● **DTS （Digital Theater Systems）**（ディーティーエス デジタル シアター システムズ）
映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

● **DTS - HD**（ディーティーエス エイチディー）
映画館で採用されている DTS をさらに高音質 / 高機能化した音声方式で、下位互換性により従来の AV アンプでもDTSとして再生できます。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。
※本機では最大7.1chのPCM音声にデコードしてHDMI端子から出力できます。また、対応している AV アンプに「Bitstream」で出力することもできます。

Ⓗ **HDD（ハードディスクドライブ）**
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つです。表面に磁性体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

● **HDMI**（エイチディーエムアイ）
（High-Definition Multimedia Interface）（ハイ デフィニション マルチメディア インターフェイス）
HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

Ⓘ **i.LINK**（アイ リンク）
i.LINK端子を持つ機器間で映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。
本機では、DV 入力と i.LINK(TS) 入出力に対応しています。
DV 入力は、DV カメラ（デジタルビデオカメラ）などからの映像を入力できます。
i.LINK(TS) 入出力では、デジタル放送などで使用している TS 信号（Transport Stream）の映像データのやりとりができます。

Ⓙ **JPEG（Joint Photographic Experts Group）**（ジェイペグ ジョイント フォトグラフィック エキスパーツ グループ）
カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

Ⓛ **LPCM（リニア PCM）**（エルピーシーエム ピーシーエム）
CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

Ⓜ **MAC アドレス**（マック）
ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、イーサーネットアドレスやハードウェアアドレスなどと呼ばれることもあります。

● **MPEG-2、MPEG-4 AVC / H.264**（エムペグツー エムペグフォー エーブイシー エイチ）
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。
MPEG-2は デジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式で、MPEG-4 AVC/H.264 はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

Ⓟ **PCM（Pulse Code Modulation）**（ピーシーエム パルス コード モジュレーション）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

Ⓢ **S映像出力**
映像信号をＣ（色信号）とＹ（輝度信号）に分離してテレビに伝えます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

● **S1映像信号**
映像の横縦比が4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像

画面の映像

● **S2映像信号**
S1の機能に加え、レターボックス（上下に黒帯が入っている映像）のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画面の映像

Ⓥ **VBR（Variable Bit Rate）**（ブイビーアール ヴァリアブル ビット レート）
映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

● **VOD**（ビデオ・オン・デマンド）
お客様が観たいときに観たい番組を配信するサービスです。「ビデオ・オン・デマンド」の略です。

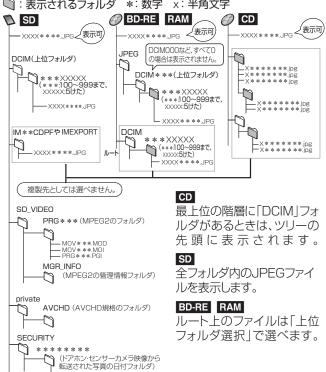
① **1080p、1080i、720p、480p、480i**
映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は 1 コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。
有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i= 飛び越し走査）は、1 行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p= 順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。
また、1080p、1080i、720p、480p、480i の表示は総走査線数にあたる 1125p、1125i、750p、525p、525i と表示されることもあります。

② **24p**
毎秒 24 フレーム（映画フィルムと同じ）で記録したプログレッシブ映像です。

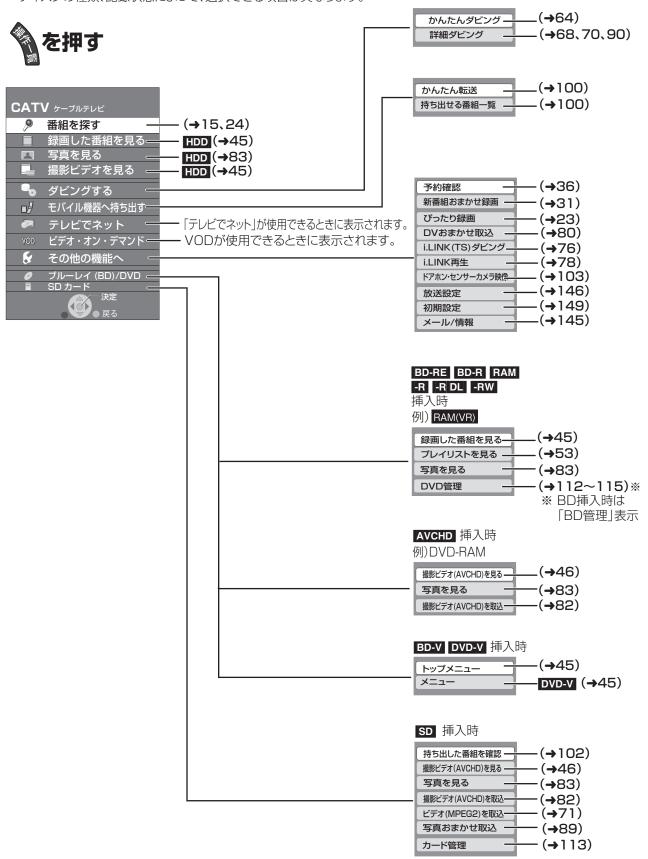
本機で表示されるフォルダ構造例

CD
最上位の階層に「DCIM」フォルダがあるときは、ツリーの先頭に表示されます。

SD
全フォルダ内のJPEGファイルを表示します。

BD-RE **RAM**
ルート上のファイルは「上位フォルダ選択」で選べます。

- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。

操作一覧について

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。
● ディスクの種類、記録状態によって、選択できる項目は異なります。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

TZ-BDW900M TZ-BDW900F

電源　AC 100 V、50/60 Hz

消費電力

・電源入：38 W

・電源切：7 W
（クイックスタート「入」、ケーブルモデム電源「切」、時計表示点灯時）
0.2 W
（クイックスタート「切」、ケーブルモデム電源「切」、時計表示消灯時）

TZ-BDW900P

電源　AC 100 V、50/60 Hz

消費電力

・電源入：32 W

・電源切：7 W
（クイックスタート「入」、時計表示点灯時）
0.2 W
（クイックスタート「切」、時計表示消灯時）

本体

寸法	幅 430 mm×高さ 59 mm×奥行 334 mm（突起部含む）
本体質量	約 4 kg
許容周囲温度	5 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%～80%RH（結露なきこと）
時計	クォーツ制御、24時間、デジタル表示
プログラム数	128 プログラム （予約可能期間：1 年間）

テレビジョン方式

デジタル放送 TZ-BDW900M	受信変調方式 受信周波数帯域 入力レベル	：64QAM（Annex.C） ：90 MHz ～ 770 MHz ：49～81 dBμV（平均値）
デジタル放送 TZ-BDW900F TZ-BDW900P	受信変調方式 受信周波数帯域 入力レベル 受信変調方式 受信周波数帯域 入力レベル	：64QAM（Annex.C） ：90 MHz ～ 770 MHz ：49～81 dBμV（平均値） ：OFDM ：90 MHz ～ 770 MHz ：47～81 dBμV（平均値）
ケーブルモデム TZ-BDW900M TZ-BDW900F	受信変調方式 受信周波数帯域 入力レベル 送信変調方式 送信周波数帯域 出力レベル	：64QAM/256QAM（Annex.B） ：90 MHz ～ 770 MHz ：49～79 dBμV（平均値） ：QPSK/8/16/32/64/128QAM ：10 MHz ～ 55 MHz ：68 ～ 118 dBμV

入出力端子（映像・音声を除く）

ケーブル端子	F 型接栓、75 Ω
分配出力端子	F 型接栓、75 Ω
DV入力/ TS入出力端子	**4ピン：** 前面 1 系統（IEEE1394準拠） **DV入力：** 対応ストリーム：DVCR 転送レート　：S100対応 **TS入出力：** 対応ストリーム：MPEG2-TS 転送レート　：S400対応 出力は、i.LINK（TS）ダビング動作時のみ
SDメモリーカードスロット	1系統
ＬＡＮ端子	1系統（10BASE-T/100BASE-TX）
電話回線（モジュラー）端子	1系統 [V.22bis（2400 bps）、MNP4（着呼機能なし）]

映像

記録圧縮方式	MPEG-2（Hybrid VBR） MPEG-4 AVC/H.264	
映像出力	出力端子 出力レベル	：1系統（ピンジャック） ：1.0 Vp-p　75 Ω
S映像出力	出力端子 Y出力レベル C出力レベル	：1系統 ：1.0 Vp-p　75 Ω ：0.286 Vp-p　75 Ω
D端子映像出力 （D1/D2/D3/D4端子）	出力端子 （480i/480p/1080i/720p） Y出力レベル CB/PB出力レベル CR/PR出力レベル	：1系統 ：1.0 Vp-p　75 Ω ：0.7 Vp-p　75 Ω ：0.7 Vp-p　75 Ω
HDMI 映像・音声出力	出力端子 HDMI [本機はビエラリンク（HDMI）Ver.4 に対応しています] （480p/1080i/720p/1080p）	：1系統（19ピン typeA端子）

音声

記録方式	●Dolby Digital (HG、HX、HE、HL、HM、XP、SP、LP、EP、FR モード): 2 ch記録 ●リニアPCM(XP モード): 2ch記録(XP モードのみ Dolby Digital と切り換え可) ●MPEG-2 AAC (DR、HG、HX、HE、HL、HM モード・デジタル放送記録時): 最大 5.1ch 記録
アナログ出力	**出力端子** :2ch出力 1 系統(ピンジャック) **出力レベル:** 250 mV[rms](標準) [FS − 18 dB 時(ARIB 標準規格)] 出力インピーダンス:2.2 kΩ 以下
チャンネル数	**記録**:2ch(デジタル放送記録時:最大 5.1ch) **再生**:2ch HDMI 出力:最大 7.1ch 光デジタル出力:最大 5.1ch (Bitstream)
デジタル出力	**光デジタル音声出力端子**:1 系統 − 18 dBm 660 nm※1 **(PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応)** **HDMI 映像・音声出力端子**:1 系統 **(PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応)** (Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio 対応、対応アンプに接続時のみ Bitstream 出力可能)

ブラウザ仕様

記述言語	HTML4.0 準拠
スタイルシート規格	CSS 1 /CSS2(Subset)
動作記述言語	JavaScript 1.5/ECMAScript(ECMA-262)
セキュア通信	SSL2.0/SSL3.0/TLS1.0
Cookie	バージョン 0
モノメディア(写真)	JPEG、PNG、GIF
音声(モノラルで再生)	MS-Windows 標準 WAV 形式、MPEG-2 AAC(ARIB STD-B14 第 3 編準拠)、受信機内蔵音
プラグイン	なし
文字入力	携帯電話(リモコン)方式
画面解像度	800 × 450
カラーモデル	フルカラー

HDD/BD部

内蔵HDD容量	500 GB
記録可能なディスク※2	●BD-RE(SL:片面 1 層 /DL:片面 2 層) 1-2X SPEED(Ver.2.1 準拠) (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-R(SL:片面 1 層 /DL:片面 2 層) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 1-6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 1-2X SPEED LTH type[(Ver.1.2 準拠)(SL: 片面 1 層のみ)] ●DVD-RAM※3: 2X SPEED(Ver.2.0 準拠) 2-3X SPEED(Ver.2.1 準拠) 2-5X SPEED(Ver.2.2 準拠) ●DVD-R: 1X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-8X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-16X SPEED(Ver.2.1 準拠) ●DVD-R(DL): 2-4X SPEED(Ver.3.0 準拠) 2-8X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●DVD-RW: 1X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 2-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 2-6X SPEED(Ver.1.2 準拠)
記録方式	●BD-RE: Blu-ray Disc Rewritable Format 準拠 ●BD-R: Blu-ray Disc Recordable Format 準拠 ●DVD-RAM: DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面 2 層): DVDビデオ規格準拠、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠、 DVDビデオレコーディング規格準拠

※1 JEITA CP-1212 準拠

※2 8 cmブルーレイディスク、8 cm DVDディスクへは記録できません。

※3 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。

仕様(つづき)

再生可能なディスク	●BD-RE SL(SL: 片面 1 層): 2X SPEED(Ver.2.1 準拠) 25 GB (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-RE DL(DL: 片面 2 層): 2X SPEED(Ver.2.1 準拠) 50 GB (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-R SL(SL: 片面 1 層): 2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 25 GB 4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 25 GB 2X SPEED LTH type(Ver.1.2 準拠)25 GB 6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 25 GB ●BD-R DL(DL: 片面 2 層): 2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 50 GB 4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 50 GB 6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 50 GB ●BD-Video (BD-Live 対応) ●DVD-RAM※3: DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠、AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面2層): DVDビデオ規格準拠※4、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※4、AVCREC 規格準拠※4 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠※4、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※4 ●+R、+R DL(片面2層)、+RW: DVDビデオ規格準拠※4、AVCHD規格準拠※4 ●DVD-Video:DVDビデオ規格準拠 ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW: CD-DA、JPEG フォーマット記録ディスク

SD部

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※5※6※7※8※9

SDカード機能/静止画(JPEG)

対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32※10
画像ファイル形式	●JPEGベースライン方式 (DCF 準拠) ●DPOF対応
画素数	34×34～8192×8192 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
解凍時間※11	約2秒(1010万画素、JPEG)

SDカード機能/動画(MPEG-2)

ファイル形式	SD VIDEO規格準拠
圧縮方式	MPEG-2 ●SD(SD VIDEO規格)からHDD またはビデオレコーディング規格の DVD-RAM/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW への変換転送後に再生可能

SDカード機能/動画(持ち出し動画)

ファイル形式	SD VIDEO 規格(ISDB-T Mobile Video Profile) 準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264 ●HDD から SD(SD VIDEO規格)へ転送後にワンセグ対応携帯電話などで再生可能

SDカード機能/動画(AVCHD)

ファイル形式	AVCHD規格準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264 ●AVCHD の直接再生。 SD(AVCHD規格)からHDD/BD-RE/BD-RまたはAVCREC規格準拠のDVD-RAM/DVD-R/DVD-R DLへの変換転送後に再生可能

写真(JPEG)

再生可能なメディア	HDD、BD-RE、DVD-RAM、CD-R/CD-RW、SD カード
ファイル方式	JPEGベースライン方式 (DCF 準拠) ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル(半角英数字のみ) ●MOTION JPEG 非対応
画素数	34×34～8192×8192 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
フォルダ数※12	CD-R/CD-RW　:最大 99 HDD、BD-RE、DVD-RAM、SD カード、 :最大 300
ファイル数※13	CD-R/CD-RW　:最大 999 HDD、BD-RE　: 最大 9999 DVD-RAM、SD カード :最大 3000
CD(JPEG)	●ISO9660 level1 と 2(拡張フォーマットは除く)、Joliet 対応 ●マルチセッション対応 ●パケットライト方式非対応

HDD BD-RE RAM SD DCF 準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。

DCF: Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

入力できる文字数

ディスクなど	種類	英数	その他
HDD	番組名	64	32
	写真のアルバム名	36	18
	マイラベル名	32	16
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	番組名	64	32
	写真のアルバム名 (RAM(VR) のみ)	36	18
	ディスク名	64	32
-R(V) -R DL(V) -RW(V)	番組名	44	22
	ディスク名	40	20
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	番組名	252	127
	予約番組の番組名	64	32
	写真のアルバム名 (BD-RE RAM(AVCREC) のみ)	36	18
	ディスク名	252	127

※3　カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。

※4　他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

※5　使用可能容量は少なくなることがあります。

※6　SDHCメモリーカードを含む。

※7　miniSDカードを含む。(miniSDアダプター装着時)

※8　microSDカードを含む。(microSDアダプター装着時)

※9　microSDHCカードを含む。(microSDHCアダプター装着時)

※10 ロングファイル名非対応。

※11 解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

※12 BD-RE RAM CD 最大フォルダ数:ディスク1枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数(ルートもフォルダとして数える)

※13 BD-RE RAM CD 最大ファイル数:ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数(JPEG 以外のファイルとの合計とする)

地上デジタル放送チャンネル一覧表（地域名を用いた設定）

●お住まいの地域別地上デジタル放送のチャンネル一覧です。(2009 年 10 月現在)
ご加入のケーブルテレビ局によりチャンネル数と放送局名が異なる場合があります。
ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

お住まいの地域	北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）		北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（室蘭）	
放送局名	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・函館	3	NHK 総合・旭川	3	NHK 総合・帯広	3	NHK 総合・釧路	3	NHK 総合・北見	3	NHK 総合・室蘭
	2	NHK 教育・札幌	2	NHK 教育・函館	2	NHK 教育・旭川	2	NHK 教育・帯広	2	NHK 教育・釧路	2	NHK 教育・北見	2	NHK 教育・室蘭
	1	HBC 札幌	1	HBC 函館	1	HBC 旭川	1	HBC 帯広	1	HBC 釧路	1	HBC 北見	1	HBC 室蘭
	5	STV 札幌	5	STV 函館	5	STV 旭川	5	STV 帯広	5	STV 釧路	5	STV 北見	5	STV 室蘭
	6	HTB 札幌	6	HTB 函館	6	HTB 旭川	6	HTB 帯広	6	HTB 釧路	6	HTB 北見	6	HTB 室蘭
	8	UHB 札幌	8	UHB 函館	8	UHB 旭川	8	UHB 帯広	8	UHB 釧路	8	UHB 北見	8	UHB 室蘭
	7	TVH 札幌	7	TVH 函館	7	TVH 旭川	7	TVH 帯広	7	TVH 釧路	7	TVH 北見	7	TVH 室蘭

お住まいの地域	宮城		秋田		山形		岩手		福島		青森		東京	
放送局名	3	NHK 総合・仙台	1	NHK 総合・秋田	1	NHK 総合・山形	1	NHK 総合・盛岡	1	NHK 総合・福島	3	NHK 総合・青森	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・仙台	2	NHK 教育・秋田	2	NHK 教育・山形	2	NHK 教育・盛岡	2	NHK 教育・福島	2	NHK 教育・青森	2	NHK 教育・東京
	1	TBC テレビ	4	ABS 秋田放送	4	YBC 山形放送	6	IBC テレビ	8	福島テレビ	1	RAB 青森放送	4	日本テレビ
	8	仙台放送	8	AKT 秋田テレビ	5	YTS 山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	6	ATV 青森テレビ	6	TBS
	4	ミヤギテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	6	テレビユー山形	8	めんこいテレビ	5	KFB 福島放送	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン
	5	KHB 東日本放送			8	さくらんぼテレビ	5	岩手朝日テレビ	6	テレビユー福島			5	テレビ朝日
													7	テレビ東京
													9	TOKYO MX
													12	放送大学

お住まいの地域	神奈川		群馬		茨城		千葉		栃木		埼玉		長野	
放送局名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・水戸	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・長野
	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・長野
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	5	ａｂｎ
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	6	SBC 信越放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	8	NBS 長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京		
	3	ｔｖｋ	3	群馬テレビ	12	放送大学	3	チバテレビ	3	とちぎテレビ	3	テレ玉		
	12	放送大学	12	放送大学			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学		

お住まいの地域	新潟		山梨		大阪		京都		兵庫		和歌山		奈良	
放送局名	1	NHK 総合・新潟	1	NHK 総合・甲府	1	NHK 総合・大阪	1	NHK 総合・京都	1	NHK 総合・神戸	1	NHK 総合・和歌山	1	NHK 総合・奈良
	2	NHK 教育・新潟	2	NHK 教育・甲府	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪
	6	BSN	4	YBS 山梨放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送
	8	NST	6	UTY	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ
	4	TeNY テレビ新潟			8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	5	新潟テレビ 21			10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
					7	テレビ大阪	5	KBS 京都	3	サンテレビ	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀		広島		岡山		香川		島根		鳥取		山口	
放送局名	1	NHK 総合・大津	1	NHK 総合・広島	1	NHK 総合・岡山	1	NHK 総合・高松	3	NHK 総合・松江	3	NHK 総合・鳥取	1	NHK 総合・山口
	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・広島	2	NHK 教育・岡山	2	NHK 教育・高松	2	NHK 教育・松江	2	NHK 教育・鳥取	2	NHK 教育・山口
	4	MBS 毎日放送	3	RCC テレビ	4	RNC 西日本テレビ	4	RNC 西日本テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY 山口放送
	6	ABC テレビ	4	広島テレビ	5	KSB 瀬戸内海放送	5	KSB 瀬戸内海放送	6	BSS テレビ	6	BSS テレビ	3	tysテレビ山口
	8	関西テレビ	5	広島ホームテレビ	6	RSK テレビ	6	RSK テレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	yab山口朝日
	10	読売テレビ	8	TSS	7	TSCテレビせとうち	7	TSCテレビせとうち						
	3	BBC びわ湖放送			8	OHK テレビ	8	OHK テレビ						

（2009 年 10 月現在）

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
放送局名	3	NHK 総合・名古屋	3	NHK 総合・津	3	NHK 総合・岐阜	1	NHK 総合・金沢	1	NHK 総合・静岡	1	NHK 総合・福井	3	NHK 総合・富山
	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・金沢	2	NHK 教育・静岡	2	NHK 教育・福井	2	NHK 教育・富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBC テレビ	1	KNB 北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT 富山テレビ
	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	MRO	4	だいいちテレビ			6	チューリップテレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ								

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
放送局名	1	NHK 総合・松山	3	NHK 総合・徳島	1	NHK 総合・高知	3	NHK 総合・福岡	1	NHK 総合・熊本	1	NHK 総合・長崎	3	NHK 総合・鹿児島
	2	NHK 教育・松山	2	NHK 教育・徳島	2	NHK 教育・高知	3	NHK 総合・北九州	2	NHK 教育・熊本	2	NHK 教育・長崎	2	NHK 教育・鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHK 教育・福岡	3	RKK 熊本放送	3	NBC 長崎放送	1	MBC 南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHK 教育・北九州	8	TKU テレビ熊本	8	KTN テレビ長崎	8	KTS 鹿児島テレビ
	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC 九州朝日放送	4	KKT くまもと県民	5	NCC 長崎文化放送	5	KKB 鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB 毎日放送	5	KAB 熊本朝日放送	4	NIB 長崎国際テレビ	4	KYT 鹿児島読売 TV
							5	FBS 福岡放送						
							7	TVQ 九州放送						
							8	TNC テレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄	
放送局名	1	NHK 総合・宮崎	1	NHK 総合・大分	1	NHK 総合・佐賀	1	NHK 総合・那覇
	2	NHK 教育・宮崎	2	NHK 教育・大分	2	NHK 教育・佐賀	2	NHK 教育・那覇
	6	MRT 宮崎放送	3	OBS 大分放送	3	STS サガテレビ	3	RBC テレビ
	3	UMK テレビ宮崎	4	TOS テレビ大分			5	QAB 琉球朝日放送
			5	OAB 大分朝日放送			8	沖縄テレビ（OTV）

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止してください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

■ 故障や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く!

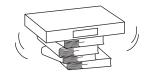
電源プラグを抜く

煙が出なくなるのを確認して修理をご加入のケーブルテレビ局にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■ 内部に異物や水などの液体が入ったり、落としたり、カバーが破損したら、電源プラグを抜く!

電源プラグを抜く

■ 不安定な場所に置かないでください

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと倒れたり、落ちたりしてけがの原因となります。

■ 水などの液体が入った容器を置かないでください

水ぬれ禁止

水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器）

■ ぬらしたりしないようにしてください

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

■ 雷が鳴りだしたら、機器やケーブルには触れないでください

接触禁止

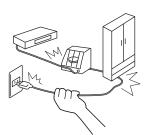
感電の原因となります。

⚠ 警告

電源コードについて

■ **電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください**

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、重いものを載せる、無理に曲げる、ねじる、引っぱる、束ねる、加熱する　など）

禁止

芯線の露出、ショート、断線により火災･感電の原因となります。

● 電源コードやプラグの修理は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

■ **電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください**

湿気などで絶縁不良になり火災･感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ **電源プラグは根元まで確実に差し込んでください**

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

● 傷んだプラグ･ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100 V以外では使用しないでください**

禁止

たこ足配線などで、定格を超えると発熱により火災の原因となります。

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください**

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■ **カバーを外したり、改造したりしないでください**

分解禁止

内部に触れないでください。火災･感電の原因となります。

● 内部の点検･調整･修理はご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

■ **電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください**

禁止

火災や感電の原因になります。

■ **異物を入れないでください**

禁止

通風孔やICカード挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災･感電の原因となります。

● 特にお子様にはご注意ください。

■ **メモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かないでください**

禁止

誤って飲み込む恐れがあります。

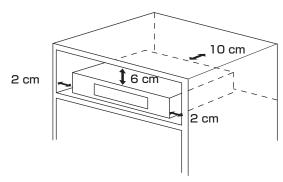
● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

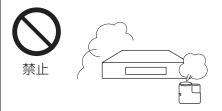
安全上のご注意(必ずお守りください)(つづき)

⚠注意

■ 本機の通風孔をふさがないでください

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- テレビ台などに設置した場合、上側が6 cm以上、左右が2cm以上、後側が10 cm以上の間隔をあけて据えつけてください。

- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所に置かないでください

調理台や加湿器のそばなどに置くと火災·感電の原因となることがあります。

■ 上に物を置かないでください

バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

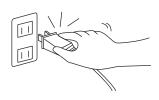
■ 機器に乗らないでください

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

■ 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグにほこりがたまり火災·感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください

コードを引っぱると、コードが破損し、感電·ショート·火災の原因となることがあります。

⚠注意

リモコンについて

■ 電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください

機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

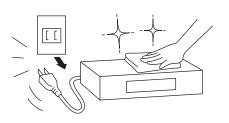
■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れについて

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

■ 移動されるときは、必ず接続線を外してから行ってください

コードや接続している機器が傷つき、火災･感電の原因となることがあります。

● 電源プラグやケーブルテレビ宅内線、機器間の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。

■ 機器の前にものを置かないでください

禁止

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

● ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
● リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
● 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

■ ディスクトレイに指をはさまないように注意してください

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

● 特にお子様にはご注意ください。

さくいん

英数字

あ 行

か 行

さ 行

ページ

た 行

ページ

な 行

ページ

さくいん(つづき)

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社およびご加入のケーブルテレビ局は責任を負いません。
- ブラウザのサービス
- 番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- ブロードバンドレシーバー機能
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- Gガイド、G-GUIDE、および Gガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
  Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
  米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。DTS は、DTS, Inc. の登録商標です。DTS のロゴ、シンボルマーク、DTS-HD、及び、DTS-HD Master Audio ｜ Essential は、DTS, Inc. の商標です。
  著作権 1996-2008 DTS, Inc.
  不許複製。
- SDHCロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- DLNA ®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラの商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- CP8 PATENT
- “BD-LIVE”ロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- “BONUSVIEW”は Blu-ray Disc Association の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC規格及びVC-1規格に準拠する動画(以下、AVC/VC-1ビデオ)を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1ビデオを再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC/VC-1ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[操作一覧]ボタンを押し、“その他の機能へ”→“メール／情報”→“ステータス表示”→“ソフト情報表示”をご参照ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機はARIB(電波産業会)規格、日本CATV技術協会標準規格および日本ケーブルラボ仕様に基いた商品仕様になっております。将来規格および仕様に変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア
上記(3)、(4)に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示されるGNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
また、上記(3)、(4)に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://www.am-linux.jp/dl/dch8000

これらGPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア(GPL/LGPL ソフトウェア)は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest@am-linux.jp

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://www.am-linux.jp/dl/dch8000

This product incorporates the following software:
(1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
(2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
(3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2 (GPL v2),
(4) the software licensed under the GNU LESSER General Public License, Version 2.1 (LGPL v2.1) and/or,
(5) open sourced software other than the software licensed under the GPL v2 and/or LGPL v2.1
For the software categorized as (3) and (4), please refer to the terms and conditions of GPL v2 and LGPL v2.1, as the case may be at
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html and
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html.
In addition, the software categorized as (3) and (4) are copyrighted by several individuals. Please refer to the copyright notice of those individuals at
http://www.am-linux.jp/dl/dch8000

The GPL/LGPL software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

At least three (3) years from delivery of products, Panasonic will give to any third party who contact us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL v2/LGPL v2.1.

Contact Information
cdrequest@am-linux.jp

Source code is also freely available to you and any other member of the public via our website below.
http://www.am-linux.jp/dl/dch8000

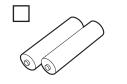
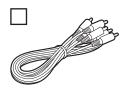
付属品

付属品をご確認ください。☑

- 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

□ リモコン(1 個)

□ 電源コード(1 本)

□ リモコン用乾電池(2本)
単 3 形乾電池

□ 映像・音声コード(1本)

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみで外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This device can only be used inside Japan in areas that are covered by subscription cable TV services. Because of differences in broadcast formats and power supply voltages, it cannot be used in overseas countries.

愛情点検　長年ご使用のデジタルセットトップボックスの点検を!

こんな症状はありませんか	・映像も音も出ない。 ・映像が時々消える。 ・異常な臭いや音がする。 ・水や異物が入った。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご加入のケーブルテレビ局に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	ご加入(契約)日	年　　月　　日	品　番	
	ケーブルテレビ局および お客様相談室	電話 (　　　　) 　　　―		
	ID 番号 (145 ページ「ICカード」画面で確認できる「カードID」と「CATV-IDのSTB-ID」を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。)		ID 番号	C-CAS カード(カード ID)
				B-CAS カード(カード ID)
				CATV-ID(STB-ID)

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT2J04-3
F1009EY3021 (5000 Ⓣ)